

ViewletBuilder7

プロフェッショナル

ユーザガイド

お読みください

このユーザースガイドに記載の情報は変更することがあります。その際、予告のないこともあります。

特に記述のない場合、このユーザースガイドで使用するデータの名称、画像の情報などは解説の便宜上、架空のものを使用している箇所もあります。それらは実在する名称等とは関係ありません。

本ガイドでは、ビューレットビルダー7 プロフェッショナルの実際の画面を使用して図を掲載し、機能を説明しています。（平成 23 年 5 月 11 日現在）

本書のいかなる部分も、その目的や形態（複写や記録、電子的・物理的な全ての手段を含む）がどのようなものであっても、株式会社ウェブデモの書面による許諾を受けることなく複製または譲渡をすることを禁じます。ただし著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

Microsoft®、Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows®の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。

ViewletBuilder®は Qarbon, Inc. の登録商標です。

その他本書に記載の会社名、製品名およびサービス名等は各社の商標または登録商標です。

©2011 Webdemo Inc. All rights reserved.

目次

ガイドの表記について.....	8
システム概要	10
ソフトウェアのダウンロードとインストール	11
ライセンス認証	12
オフライン環境でのライセンス認証	14
オフライン環境でのライセンス認証解除	18
インターフェース.....	22
起動画面.....	22
ビューレットビルダー7の基本設定.....	24
基本設定の保存	27
新規プロジェクトの作成	29
[プロジェクト新規作成]パネル.....	29
スクリーンショットプロジェクト	30
キャプチャモード	37
スクリーンショットの開始 (スマートキャプチャ マニュアルキャプチャ).....	43
ビデオキャプチャ.....	47
画像プロジェクト.....	49
白紙のプロジェクト.....	51
タブツールを使う.....	55
[ブラウザ]タブ.....	57
[サムネイル]タブ	59
[タイムライン]タブ.....	61
レイヤ.....	62
[スタイルシート]タブ	64
スライドの編集	71
スライドプロパティの編集.....	72
スライドの非表示.....	72
スライドの複製.....	73
スライドカラーの変更.....	73
スライドの背景画像.....	74
スライドの移動.....	75
プロジェクトのリサイズ	77
プロジェクトのトリミング	79
新たなスライドの追加	81
空白スライドの追加.....	81
スクリーンショットスライドの追加	81

画像スライドの追加.....	83
印刷.....	84
印刷レイアウト.....	84
色の吸着.....	86
検索と置き換え.....	87
検索.....	87
置換.....	88
拡大表示 縮小表示 スライド表示をフィット.....	89
Viewlet のプレビュー.....	90
オブジェクトの挿入.....	91
メッセージオブジェクト.....	91
吹き出し.....	91
テキストの編集.....	92
プロパティの変更.....	93
テキストの編集.....	95
メモ.....	100
テキストボックス.....	101
メッセージオブジェクトのタイミング.....	102
プロパティからの調整.....	102
[タイムライン]タブ内での調整.....	104
カーソルの挿入.....	105
カーソルスタイル.....	109
サウンド.....	111
スライドのサウンド.....	111
オブジェクトのサウンド.....	113
サウンドの録音.....	114
サウンドファイルの再生.....	115
サウンドファイルの削除.....	116
サウンドのエクスポート.....	116
画像オブジェクト.....	117
画像の挿入.....	117
画像の編集.....	117
プロパティ.....	120
形状オブジェクト.....	121
形状の編集.....	124
矢印ツール.....	127
ラインツール.....	128
カラーハイライト.....	129
マット.....	130

オブジェクトのタイミング	131
プロパティからの調整	131
画像オブジェクトのタイミング	131
形状オブジェクトのタイミング	131
[タイムライン]タブ内での調整	133
複数オブジェクトの調整	134
タイミングリンク	135
タイミングリンクの追加	135
タイミングリンクの解除	136
ムービーの挿入	137
ポップアウト ハイライト	140
ズームの挿入	142
ボタンオブジェクト	145
ボタンの配置	145
ボタンの編集	147
イベントとアクション	148
イベントとアクションの一覧	148
ボタンのイベント	149
スライドのイベント	149
画像・形状オブジェクトのイベント	150
アクション	151
アクション一覧	152
順序の変更	153
アクションの編集	153
アクションの削除	153
ハイパーリンク	154
メッセージのハイパーリンク(テキストリンク)	154
インタラクティブゾーン	156
スライドに含まれるインタラクティブゾーンの数	157
サウンドの付加	157
応答メッセージオブジェクト	158
イベントとアクション	159
スコアリング	160
クリック範囲型クイズゾーン	161
配置	161
クリック範囲のプロパティ	162
クリック範囲の編集	164
クイズオブジェクトの削除	164
テキスト入力型クイズゾーン	165

配置.....	165
クイズゾーンの編集.....	166
クイズオブジェクトの削除.....	167
キー入力型クイズゾーン.....	168
配置.....	168
キーストロークの定義.....	168
選択型クイズゾーン.....	169
配置.....	169
選択肢の追加.....	170
選択肢の削除.....	170
正否の設定.....	170
選択肢のメッセージオブジェクトの編集.....	170
解答確定のボタンオブジェクトの編集.....	171
チェックボックスのスタイルを変更する.....	171
クイズゾーンの削除.....	172
一時停止ゾーン.....	173
一時停止ゾーンの挿入.....	173
一時停止ゾーンの編集.....	174
インポート.....	175
他のプロジェクトからのインポート.....	175
エクスポート.....	177
プロジェクトのプロパティ.....	178
[Viewlet プロフィール].....	179
[音質].....	180
[画質].....	181
[タイミング].....	182
[Viewlet オプション].....	183
[スコアリング オプション].....	184
[言語].....	186
[サウンドトラック].....	187
[Flash].....	188
[ViewletSkin].....	190
[HTML フレーム].....	191
プロジェクトのプロパティを保存する.....	192
Viewlet のパブリッシュ.....	193
パブリッシュとは.....	193
Flash 形式にパブリッシュ.....	195
FLV 形式でパブリッシュ.....	197
YouTube に公開.....	198
ワードに出力する.....	200

PDF に出力する.....	203
画像に出力する.....	204
HTML に出力する.....	205
EXE 形式 hqx 形式で出力する	206
SCORM 形式 AICC 形式で出力する.....	207
Qarbon ViewletCentral とコーポレート ViewletCentral について.....	208
ビューレットビルダー7プロジェクトを構築するファイル.....	209
旧ファイルのデータを読み込む.....	210
ソフトウェアアップデート.....	211
ビューレットビルダー・サポートデスク	212
最新情報	212
動画マニュアル.com	212
各種サービスのご案内	213
セミナー.....	213
トレーニング.....	213
ムービー制作サービス.....	213

ガイドの表記について

名称

[] で囲まれています。

メニュー名、パネルタイトル、ボタン名、フィールド名、ツールチップなど。

例：[プロジェクトのプロパティ] パネル、[OK] ボタン、[新規作成...]

メニューコマンド

メニューバーからのコマンド選択を次のように記述します。

例：メニューバーから [編集] → [基本設定...] を選択します。

メニューバーの [編集] をクリックして表示された項目の中から [基本設定...] を選択する、という操作を表します。

マウス操作

ポイント

マウスカーソルをあてる動作。

クリック (あるいは、シングルクリック)

マウスのボタンを押して、すぐに離す動作。

ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく2回クリックする動作。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま移動する動作。

ドラッグ・アンド・ドロップ

マウスのボタンを押したまま移動し、適所でマウスボタンを離す動作。

キーボード・キー入力

プラスの記号でキー操作の組み合わせを表します。

例：[Shift] + [Ctrl] キー

[Shift] キーを押しながら [Ctrl] キーを押すことを表します。

ガイド

ポイント▶ 操作のポイント、コツなど情報を説明しています。

注意▶ 注意すべき点のあるときに説明しています。

ヒント▶ 操作方法や準備のように便利な情報を説明しています。

その他の表記について

上記以外の表記については、本書内でその都度説明しています。

リンクについて

本書の電子文書（PDF）では、参照語句はリンクが定義されています。クリックすると関連項目のタイトルにジャンプします。

システム概要

ビューレットビルダー7に必要な機能とスペックは次の通りです。

基本スペック

■OS: Windows98/98SE/NT/2000/XP/Vista/Windows7 (32bit_64bit)

■CPU: Intel P4, Intel Centrino, Intel Xeon, or Intel Core Duo (又は同等の CPU)

■メモリ: 512MB 以上 (1GB 以上 推奨)

■解像度: 800×600 以上 1024×768 以上 推奨

ビデオボード: 16bit 色以上

■インターネット接続環境 (ライセンス認証に必要です)

■入力フォーマット

画像フォーマット: PNG/GIF/JPG/BMP/TIFF

音声フォーマット: WAV/MP3/AU/Aif/RAW

■出力フォーマット

動画フォーマット: Flash8 SWF ファイル FLV フォーマット

印刷・画像フォーマット: PDF/JPEG/TIFF/BMP/PNG

ソフトウェアのダウンロードとインストール

ビューレットビルダー7の最新バージョンは、株式会社ウェブデモのサイト内にあります。
ダウンロードしてご利用ください。

ビューレットビルダー7のページ：<http://www.webdemo.co.jp/vb7/>

ダウンロード後 exe ファイルをダブルクリックしてインストールを開始してください。

インストール画面



インストールが終了したら、完了ボタンをクリックします。

ダウンロードしたビューレットビルダー7をインストールすると、それぞれ全ての機能を使用することができます。

注意 ▶ 体験版でコンパイルされたムービーには透かしのロゴマークが貼られます。
透かしマークのない Viewlet を作成するにはライセンスを購入し、認証を行なう必要があります。

ライセンス認証

オンラインでの認証方法

ビューレットビルダー7を起動します。

メニュー画面から「ライセンス認証...」をクリックします。

注意 ▶ この項目が「ライセンス認証解除...」(Licensed)となっている場合はライセンス認証が完了しています。



「ViewletBuilder7 アクティベーション」パネルが表示されます。

ここからはパネルの指示に従って操作します。

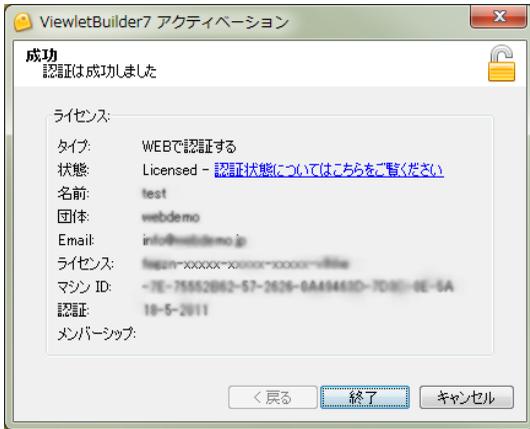


注意 ▶ ライセンスコードは半角英数字になっています。入力は正確に行ないます。

「次へ>」ボタンをクリックして進みます。

インターネット経由で Qarbon 社認証サーバーへ接続されて認証が行なわれます。

認証が正常に完了すると次のようなパネルが表示されます。



注意 ▶ セキュリティの観点から上図では表示されていたデータを伏せるよう加工しています。実際はここに登録者の入力した情報が表示されています。

[終了] ボタンをクリックします。

認証が完了しました。

オフライン環境でのライセンス認証

インターネットに切↑うされていない場合の来 s ねうう認証方法を説明します。

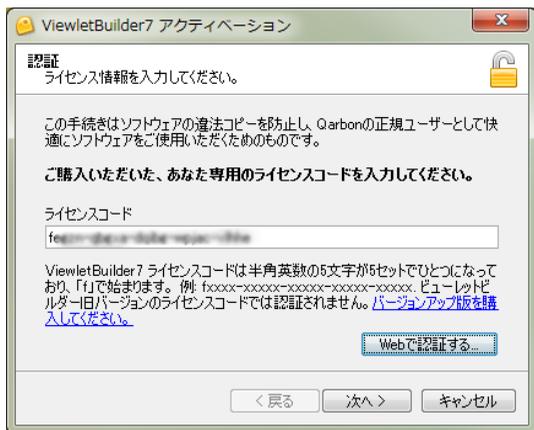
注意 ▶ この操作には、インターネットに接続されている他のコンピュータが必要になります。

ビューレットビルダーを起動します。

メニュー画面の [ライセンス認証...] をクリックします。

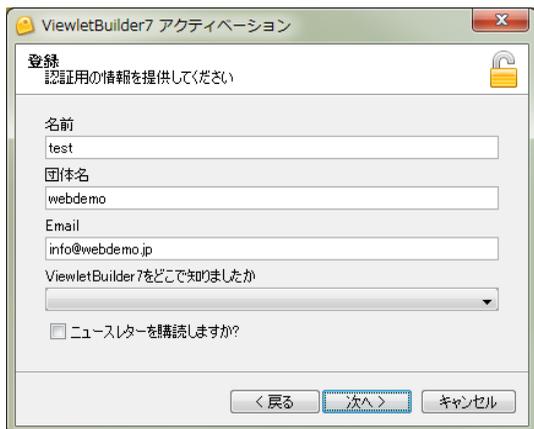
もしくは [ヘルプ] メニューから [ライセンス認証...] をクリックします。

[ViewletBuilder7 認証] パネルが表示されます。



取得されたライセンスコードを入力し、[web で認証する] ボタンをクリックします。

[登録] 項目が表示されますので、[名前][団体名][EMAIL]を入力し、[次へ]をクリックします。



ライセンス認証の Web ページ URL



[web 認証の項目がパネル内に表示されます。

ステップ1： 欄のボックスに URL が表示されていますので、この文字をすべてコピーしてテキストエディタなどに貼りつけます。

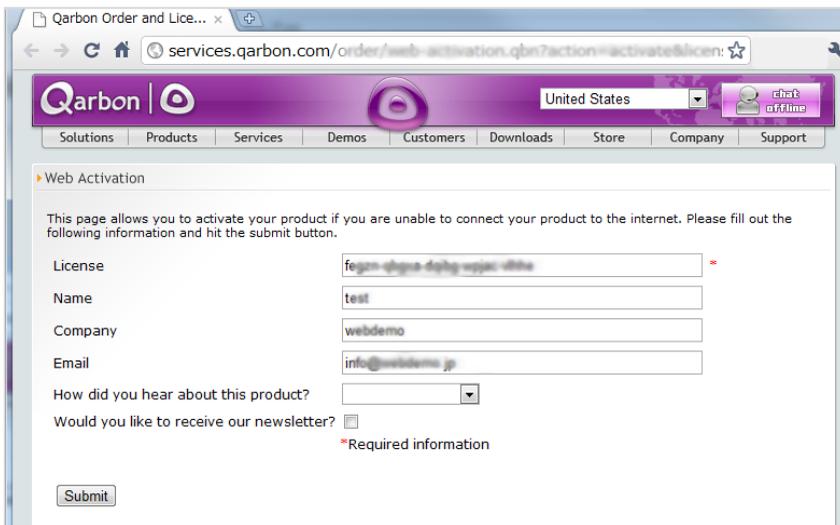
フォルダアイコンをクリックすると WEB ブラウザが起動します。URL アドレスのボックスをクリックし[Ctrl]+[A]キーを押してすべてを選択します。

そのまま[Ctrl]+[C]キーを押してコピーします。

メモ帳、テキストエディタソフトなどを使用して、コピーした内容を保存します。

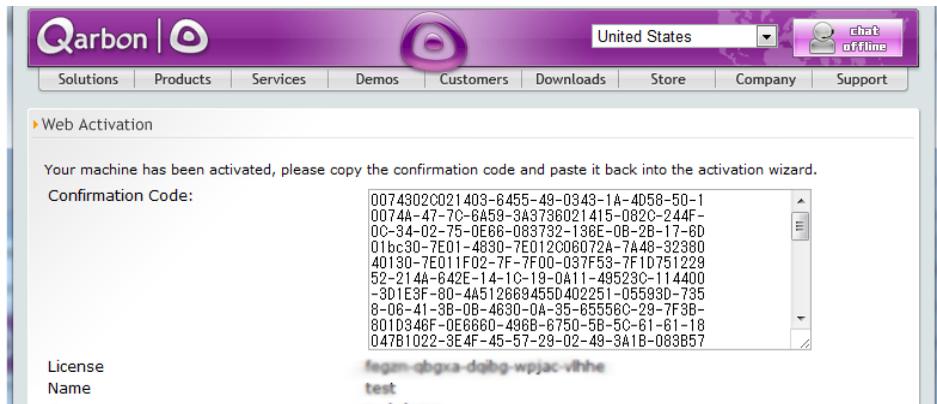
インターネットに接続されているコンピュータで、WEB ブラウザを起動します。

アドレスバーに、コピーした URL を張り付けます。



Web Activation ページが表示されたら、Submit ボタンをクリックします

[Confirmation Code] 欄に認証確認コードが表示されました



この Confirmation code]欄の文字列をすべてコピーします。

ボックスをクリックし[Ctrl]+[A]キーを押してすべてを選択します。

そのまま[Ctrl]+[C]キーを押してコピーします。

メモ帳、テキストエディタソフトなどを使用して、コピーした内容を保存します。

元のコンピュータに戻り、[ViewletBuilder7 アクティベーション]パネルの[ステップ 3:]欄のボックスに認証確認コードを張り付けます。



[次へ]ボタンをクリックします。

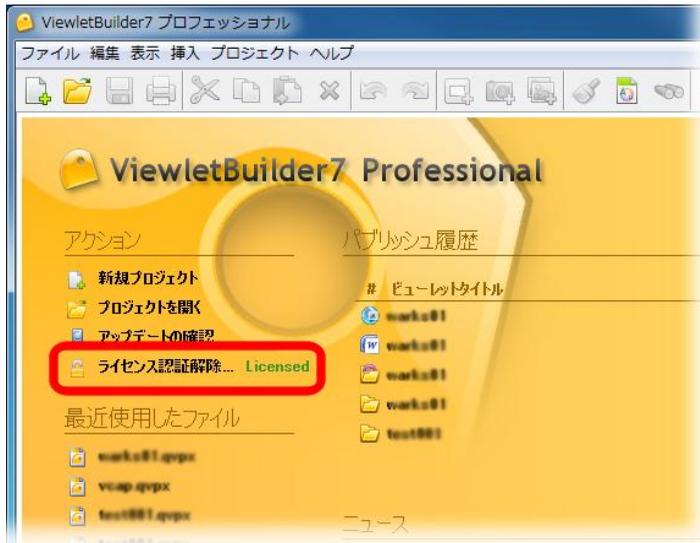
[成功 認証が成功しました]と表示されたら認証完了です。

認証の解除

他の PC にアプリを移動する場合は一度認証解除して他の PC に移動します。

ビューレットビルダー7を起動します。

メニュー画面の [ライセンス認証解除...] をクリックします。



注意 ▶ この項目が [ライセンス認証...] (Unlicensed) となっている場合はライセンスが認証されていません。認証解除操作は必要ありません

[ViewletBuilder7 認証解除] パネルが表示されます。

注意 ▶ セキュリティの観点から上図および次ページの図では表示されていたデータを伏せよう加工しています。実際はここに登録されていた情報が表示されています。
[次へ>] ボタンをクリックします。

Carbon 社認証サーバーへ接続されて認証の解除が行なわれます。

解除手続きが正常に完了後、 [終了] ボタンをクリックします。

オフライン環境でのライセンス認証解除

ビューレットビルダーをインストールしたコンピュータが、インターネットに接続されていない場合のライセンス認証解除方法を説明します。

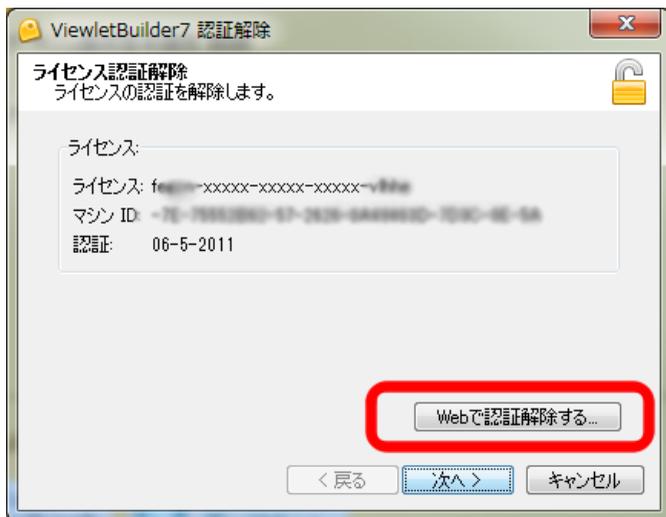
注意 ▶ この操作には、インターネットに接続されている他のコンピュータが必要になります。

ビューレットビルダーを起動します。

メニュー画面の [ライセンス認証解除...] をクリックします。

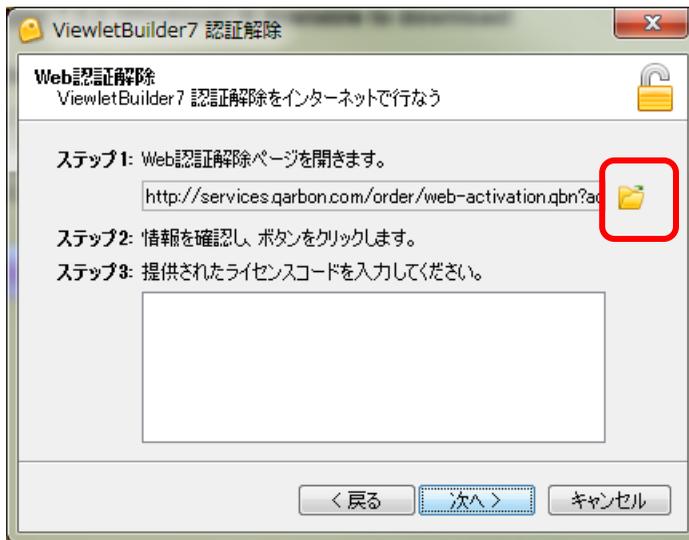
もしくは [ヘルプ] メニューから [ライセンス認証解除...] をクリックします。

[ViewletBuilder7 認証解除] パネルが表示されます。



[web で認証解除する] ボタンをクリックします。

ライセンス認証解除の Web ページ URL



[web 認証解除の項目がパネル内に表示されます。

ステップ1： 欄のボックスに URL が表示されていますので、この文字をすべてコピーしてテキストエディタなどに貼りつけます。

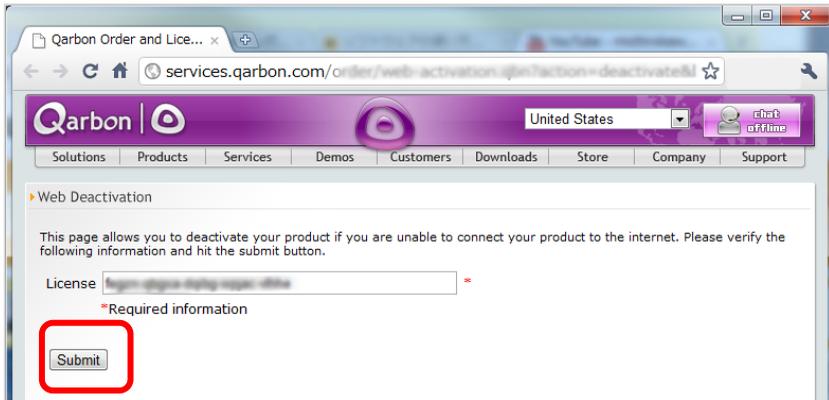
フォルダアイコンをクリックすると WEB ブラウザが起動します。URL アドレスのボックスをクリックし[Ctrl]+[A]キーを押してすべてを選択します。

そのまま[Ctrl]+[C]キーを押してコピーします。

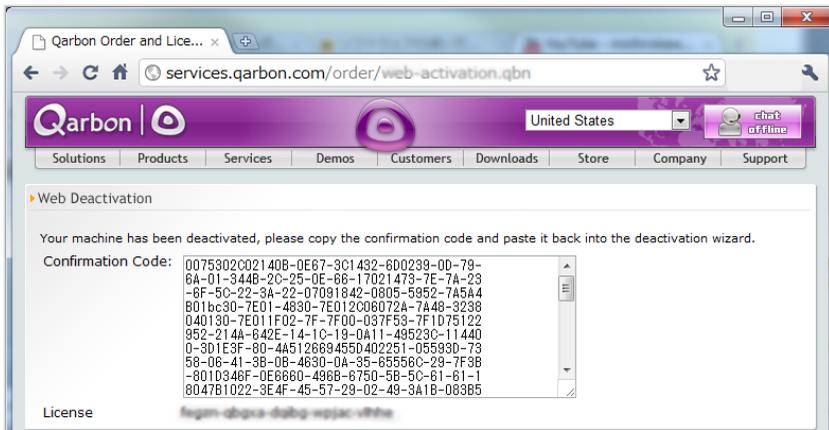
メモ帳、テキストエディタソフトなどを使用して、コピーした内容を保存します。

インターネットに接続されているコンピュータで、WEB ブラウザを起動します。

アドレスバーに、コピーした URL を張り付けます。



Web Deactivation ページが表示されたら、[Submit]ボタンをクリックします
[Confirmation Code] 欄に解除確認コードが表示されました



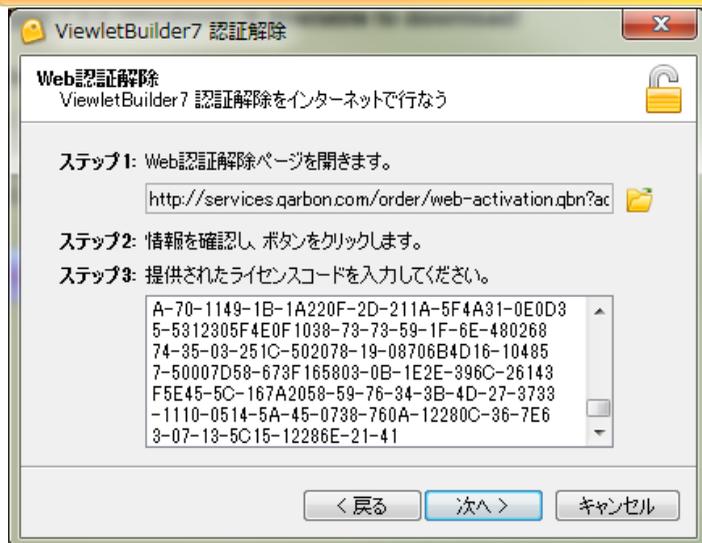
この Confirmaton code]欄の文字列をすべてコピーします。

ボックスをクリックし[Ctrl]+[A]キーを押してすべてを選択します。

そのまま[Ctrl]+[C]キーを押してコピーします。

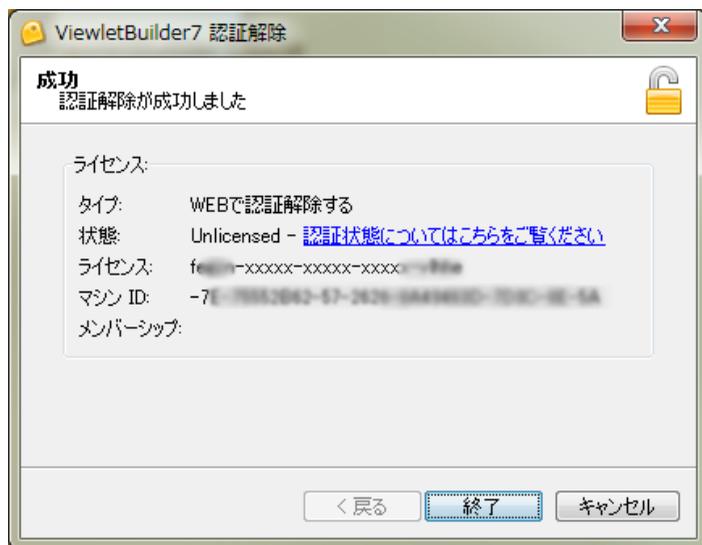
メモ帳、テキストエディタソフトなどを使用して、コピーした内容を保存します。

元のコンピュータに戻り、[ViewletBuilder7 認証解除]パネルの[ステップ 3:]欄のボックスに認証解除の確認コードを張り付けます。



[次へ]ボタンをクリックします。

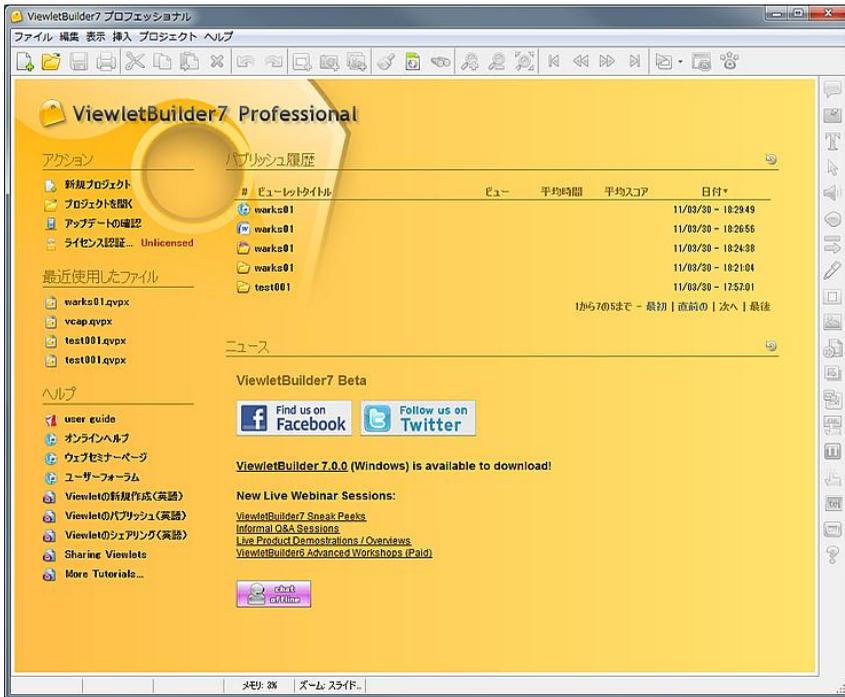
[成功 認証解除が成功しました]と表示されたら認証解除完了です。



インターフェース

起動画面

ビューレットビルダー7 を起動すると、次のような画面が表示されます。

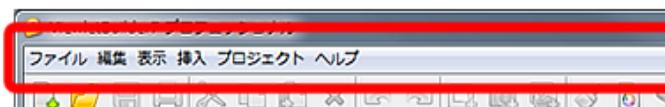


注意 ▶ 上図はライセンス認証が完了している場合の画面となっております。

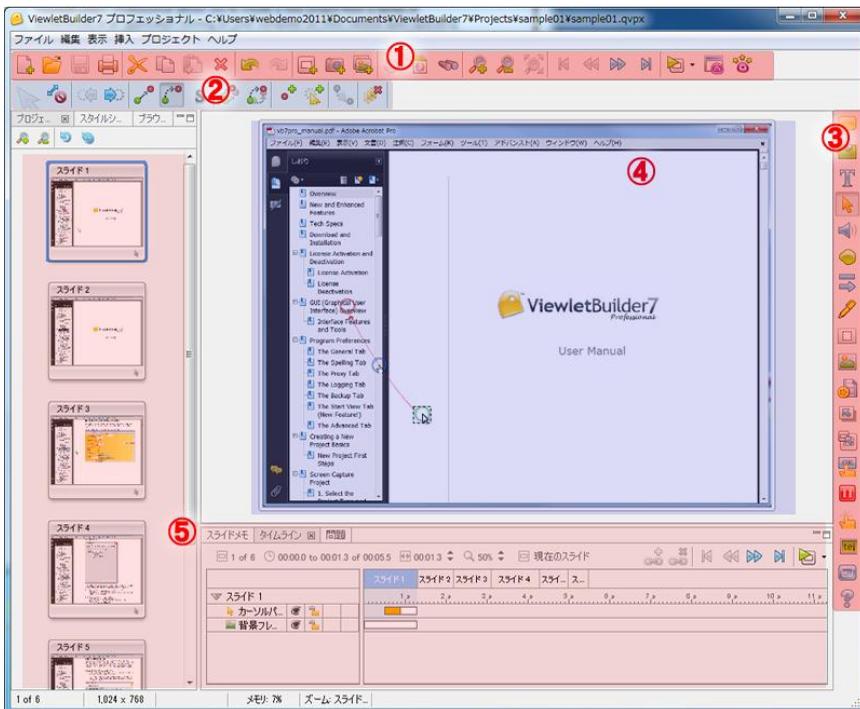
タイトルバー



メニューバー



プロジェクト編集時のインターフェース



① ボタンコマンドツールバー



プロジェクト作成 保存 編集から出力まで基本的な操作を呼び出します

② 連動ツールバー

プロジェクトを開くと表示されるツールバー。コマンドに連動してさまざまなボタンアイコンが表示されます。

③ オブジェクトツールバー

スライド上にオブジェクトを配置するコマンドのボタンアイコンです。

④ スライドビュー

スライドにオブジェクトを追加し、編集する作業 プレビュー領域です。

⑤ タブ表示

スライドビューの左側および下部に表示されています

ビューレットビルダー7の基本設定

言語の選択、録音時のカウントダウン、スペルチェック、プロキシ情報、ログファイル、バックアップ、起動画面の表示項目 Java に関する設定を行ないます。

メニューバーから [編集] → [基本設定...] を選択します。

[基本設定] パネルが表示されます。



[一般]タブ

[基本設定] パネルの [一般] タブを選択します。

[言語] 欄：ドロップダウンリストからビューレットビルダー7で使用する言語オプションを選択します。

デフォルトとして OS と同じ言語が選択されています。

[録音] 欄：ビューレットビルダー7で音声の録音を行なう際、カウントダウンします。

[テキストの編集]欄：吹き出し、メモ テキスト挿入時に直接オブジェクトに入力する場合は[直接編集する]に。[テキストエディタを使用する]にチェックが入っているとエディターが自動的に起動します。

[スペル]タブ

スペルチェック機能の設定です。日本語(2バイト文字)は対応していません。
英語・スペイン語・フランス・イタリア他 9 カ国の言語に対応しています。

[基本設定] パネルの [スペル] タブを選択します。

ドロップダウンリストからスペルチェックに使用する辞書を選択します。

[プロキシ]タブ

ご自分のサーバーにアクセスし、動画を自動的に UP する設定です。

サーバーのアドレス、ポート パスワード、Proxy 情報を予め設定します。

[基本設定] パネルの [proxy] タブを選択します。

プロキシオプションを選択して、プロキシ情報を入力します。

[ロギング]タブ

[基本設定] パネルの [ロギング] タブを選択します。

[レポート:] : ドロップダウンリストからオプションを選択します。

アウトプットウィンドウの内容をいったん消去するには [アウトプットウィンドウをクリアする] ボタンをクリックします。

[ログファイル] 欄: アウトプットウィンドウに表示される内容をファイルに保存するためのオプションです。

[有効] チェックボックスをオンにすると、[ファイル:] で指定したファイルに記録されます。

[バックアップ]タブ

プロジェクト（.qvp）ファイルのバックアップ保存に関するオプション設定です。

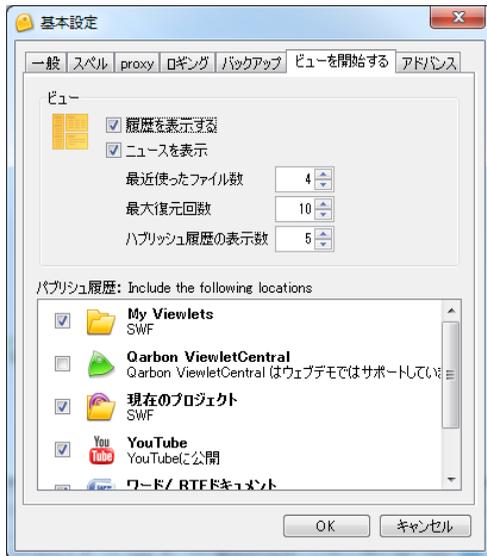
注意 ▶ バックアップファイルの拡張子は”qvp*.BAK “になります

[基本設定] パネルの [バックアップ] タブを選択します。

[バックアップファイルの保存] 欄：自動的にプロジェクトファイルのバックアップ保存を行ないます。

[ビューを開始する]タブ

ビューレットビルダー起動画面で表示する情報を設定できます。



[基本設定] パネルの [ビューを開始する] タブを選択します。

[ビュー] 欄：表示項目とレイアウト 最大復元回数（UNDO 回数）の設定

[パブリッシュ履歴] 欄：パブリッシュ履歴を項目ごとに表示、非表示が選択できます

[アドバンス]タブ

Java に関するオプション設定です。

[基本設定] パネルの [アドバンス] タブを選択します。

[Java の設定を変更する] ボタンをクリックします。



[メモリ] 欄：メモリの使用領域を指定することができます。

基本設定の保存

設定の変更を有効にするには [OK] ボタンをクリックします。

Viewlet の製作手順の基本

シナリオ作成

ムービーのストーリーを決める
必要なデータを揃えておく



ビューレットビルダーはここから
新規プロジェクト

キャプチャ

クイックキャプチャ
マニュアルキャプチャ
ビデオキャプチャ

編集作業

スライド複製 移動
カーソルパス
ズーム ハイライト ポップアウト
吹き出し メモ テキスト
音声
一時停止、スタートボタン インタラクティブ
タイムライン スピード調整

コンパイル設定

製作者情報
プレローダー
プレイヤーバー

パブリッシュ

出力方法
SWF FLV Youtube
ワード PDF

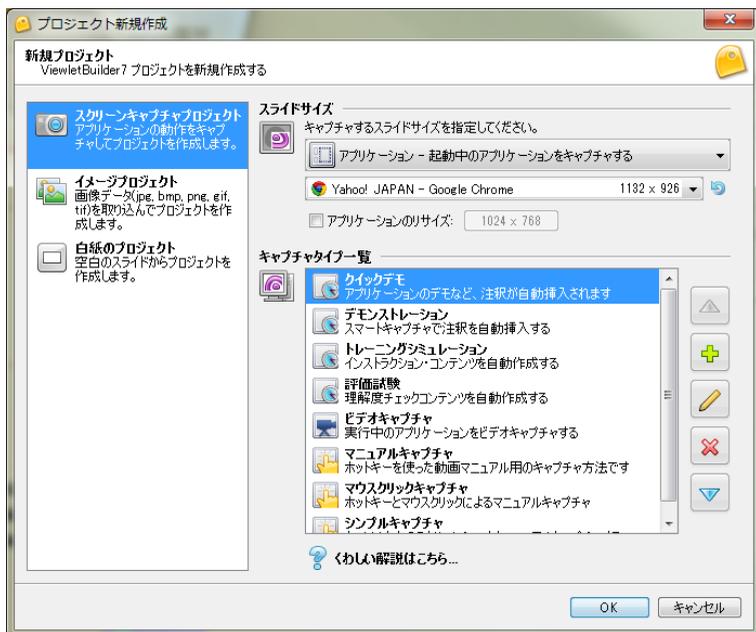
新規プロジェクトの作成

メニュー画面から [新規プロジェクト] をクリックします。

ヒント▶ 他の方：ボタンコマンドツールバーの  [新規作成...] アイコンをクリックします。

[プロジェクト新規作成] パネルが表示されます。（次ページの図を参照）

[プロジェクト新規作成]パネル



ビューレットビルダー7プロフェッショナルでは、3つの方法が準備されています。

[\[スクリーンショットプロジェクト\]](#)

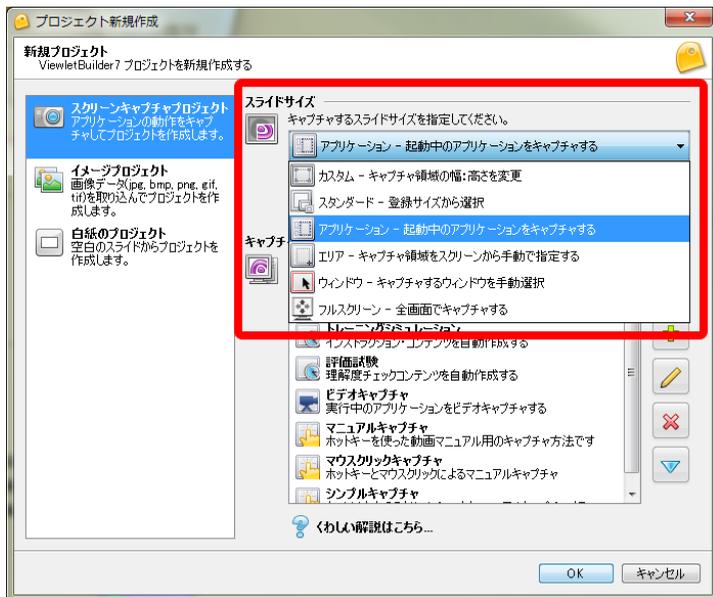
[\[イメージプロジェクト\]](#)

[\[白紙プロジェクト\]](#)

スクリーンショットプロジェクト

他のアプリケーションの動作をキャプチャしてスクリーンショットプロジェクトを作成します。

左側のナビゲーションメニューから「スクリーンショットプロジェクト」を選択します。



[スライドサイズ]欄

キャプチャする範囲を上図ドロップダウンリストの6種類から選択します。

[[カスタム](#)]

[[スタンダード](#)]

[[アプリケーション](#)]

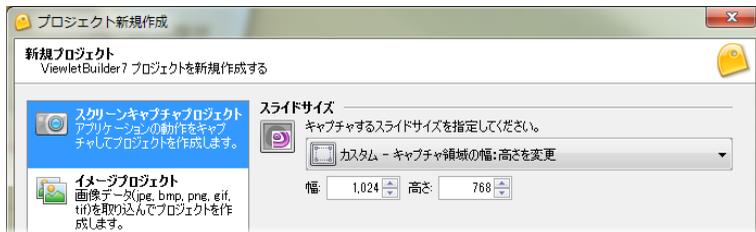
[[エリア](#)]

[[ウィンドウ](#)]

[[フルスクリーン](#)]

[カスタム - キャプチャ領域の幅・高さを変更]

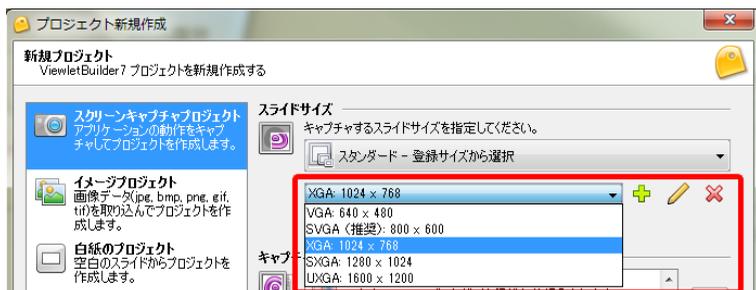
任意のサイズでキャプチャの範囲を指示することができます。



[幅:]、[高さ:]の数値をキーボードから入力するかまたは、スピンボタンで指示します。

[スタンダード - 登録サイズから選択]

[スタンダード]を選択すると、登録されているスライドサイズが下段にドロップダウンリストで表示されます。ここから適当なものを選択します。



必要であれば、緑色の＋マーク [サイズを登録] アイコンをクリックして、新たにサイズを登録することができます。削除するときは選択したあと赤い×マーク [登録サイズの削除] アイコンをクリックします。

[アプリケーション - 起動中のアプリケーションをキャプチャする]

[アプリケーション] を選択すると起動中のアプリケーション一覧から選択してキャプチャを始めることができます。



下段に表示されるドロップダウンリストから該当するアプリケーションを選択します。

右側の回転矢印アイコンでリストのリフレッシュをします

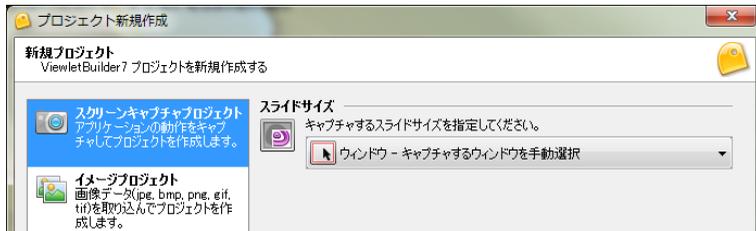
[アプリケーションのリサイズ:] チェックボックスをオンにしてサイズを指示すると、アプリケーションのウィンドウサイズを同時に変更することができます。

[エリア - キャプチャ領域をスクリーンから手動で指定する]



スクリーン上のキャプチャする範囲の対角2点をドラッグ・アンド・ドロップで指示します。

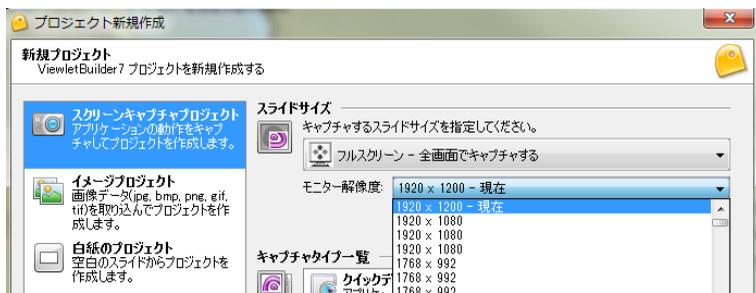
[ウィンドウ - キャプチャするウィンドウを手動選択]



アプリケーションの一部を囲んで赤色の枠が自動表示されます。その領域のひとつをクリックして選択します。

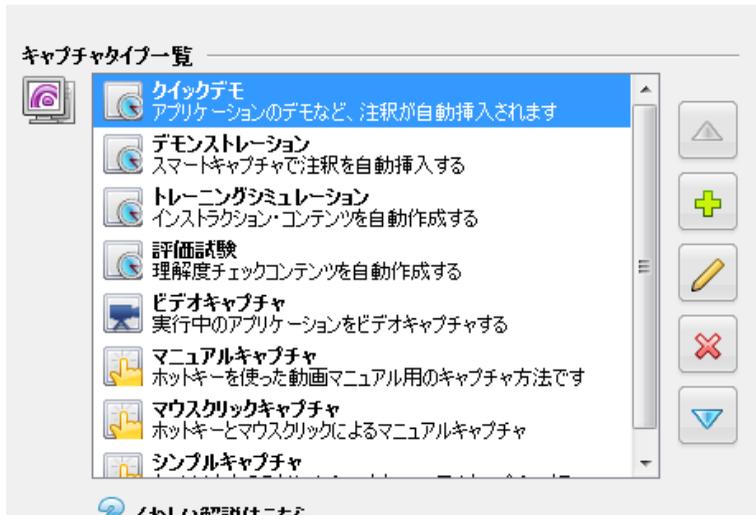
[フルスクリーン - 全画面でキャプチャする]

スクリーン全体をキャプチャします。



下段に表示されるドロップダウンリストからモニターの解像度を選択します。

[キャプチャタイプ]欄



初期設定ではキャプチャボードが3つ（アイコン分類）さらに分類され計7つ用意されています。

[スマートキャプチャ - 全ての変化を自動でキャプチャする]

キャプチャする領域に変化のあるとき、ビューレットビルダー7が自動的にキャプチャを行ないます。アプリケーションの操作に専念してキャプチャを進行することができます。

[クイックデモ]：クリック時に注釈が自動で挿入される簡単でスピーディなキャプチャタイプです。

[デモンストレーション]：クイックデモとほぼ同じ内容です。

[トレーニングシミュレーション]：クリックしたポイントに、クリック型クイズ、入力クイズと解説の吹き出しを自動的に設置します。

[評価試験]：画面キャプチャをしながら、クリック箇所、入力箇所に自動でクイズや問題を組み込むキャプチャタイプです。

[ビデオキャプチャ -実行中のアプリケーションをビデオキャプチャする]

[ビデオキャプチャ]：画面の動きを 1 秒間に指定されたフレーム数で撮影するモードです。動画やマウスクリックを伴わない画面の動きをキャプチャできます。

[マニュアルキャプチャ - ホットキーを使用してキャプチャする]

任意のタイミングで[ホットキー](#)を押してキャプチャします。タイムラインが管理しやすく、編集作業が入ることが多い場合は、このタイプのキャプチャをおすすめします。

[マニュアルキャプチャ]：ホットキーを使ってカーソルの動きに合わせてキャプチャします。吹き出しは自動で入りませんので、編集時に挿入します。

[マウスクリックキャプチャ]：ホットキーとマウスクリックによるキャプチャタイプです。

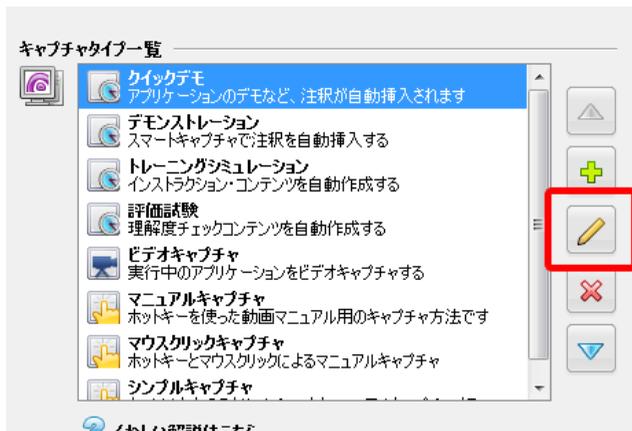
[シンプルキャプチャ]：カーソルなしのスクリーンショットをホットキーで撮影するキャプチャタイプです。

[変更]ボタン キャプチャタイプの編集

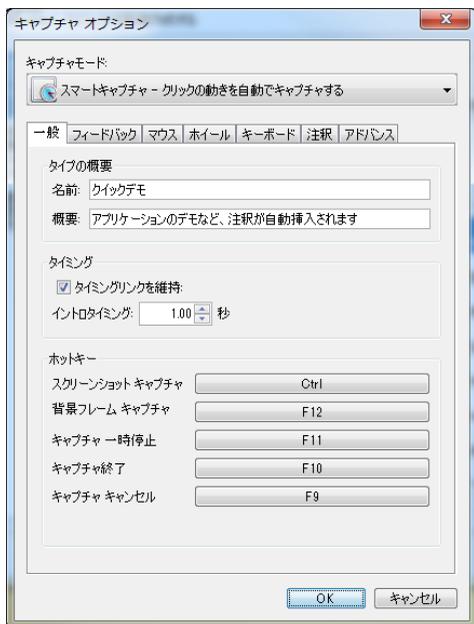
[キャプチャタイプ一覧] 欄の右に[変更][追加][削除][並び替え]があります。

キャプチャタイプの追加やタイプの詳細を変更することができます。

このアイコンから[変更]をクリックします



クリックすると [キャプチャ オプション] パネルが表示されます。(下図参照)



キャプチャモード

キャプチャモードを変更できます。

モードを変更すると設定変更する項目もすべて変わってきます。

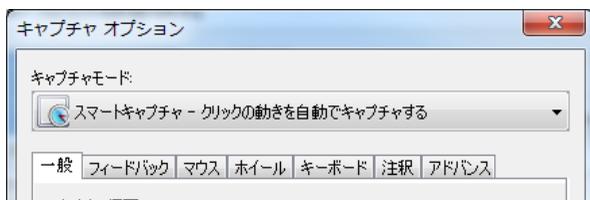
項目タブの内容も変わります。

3つのキャプチャボード

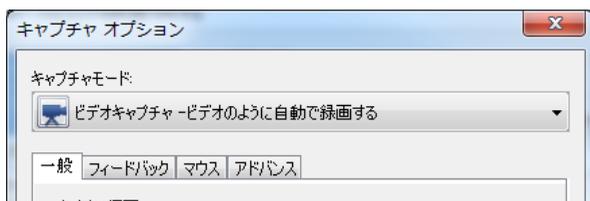
[スマートキャプチャ - 全ての変化を自動でキャプチャする]

[ビデオキャプチャ - 実行中のアプリケーションをビデオキャプチャする]

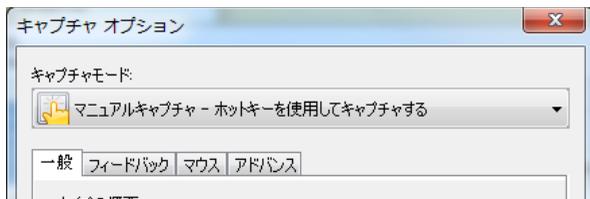
[マニュアルキャプチャ - ホットキーを使用してキャプチャする]



スマートキャプチャのオプションタブ



ビデオキャプチャのオプションタブ



マニュアルキャプチャのオプションタブ

[一般]タブ (スマートキャプチャ)

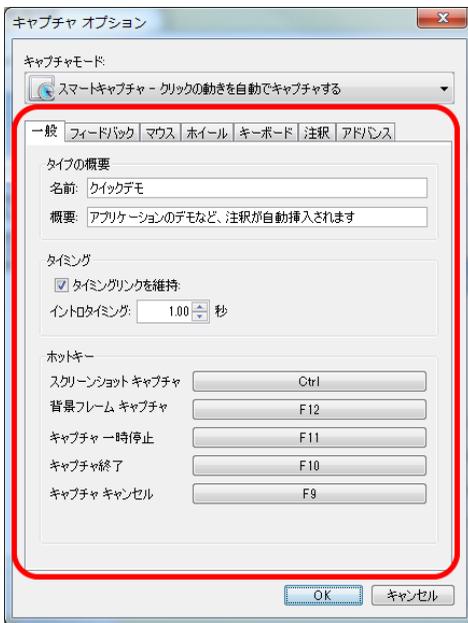
[タイプの概要]欄

キャプチャタイプの名前 概要を入力します。他のタイプと判別できるように分かりやすく記述します。

[タイミング]欄

タイミングリンクを維持：チェックを入れると吹き出し、矩形など作成順に順序を自動で紐付けします。

イントロタイミング：スライドそれぞれの最初の吹き出しの表示をスライド表示後 XX 秒後に設定します。通常 1 秒を推奨しています。。



[ホットキー] 欄 キャプチャに関する指示に使用するホットキーは任意のキーに割り当てることができます。

それぞれの項目のボタンをクリックして新しく割り当てるキーを押します。

注意 ▶ アプリケーションのショートカットキーと重複しないものを選択してください。

背景フレームキャプチャは背景アニメーションを撮影するスマートキャプチャの機能です

[一般]タブ (ビデオキャプチャ)

[キャプチャ中の音声を録音] チェックボックスをオンにすると、キャプチャと同時に録音が可能になります。音声のデバイス等の設定は

録音オプションをクリックして設定します。



[フィードバック]タブ

[トレイアイコンを隠す] チェックボックスをオンにすると、前述のビューレットビルダー7のアイコンが表示されません。

[トレイアイコン点滅] チェックボックスをオンにすると、キャプチャ動作中、タスクバーの通知領域にビューレットビルダー7のアイコンが表示されます。

[サウンド再生] 欄：キャプチャ時のサウンドの有無を指示します。

キャプチャ時に同時録音は行いません



注意 ▶ サウンド再生の設定はスマートキャプチャの設定時のみに表示されます。

[マウス]タブ

スマートキャプチャ時、マウスの動きに合わせて自動付加する項目を選択します。

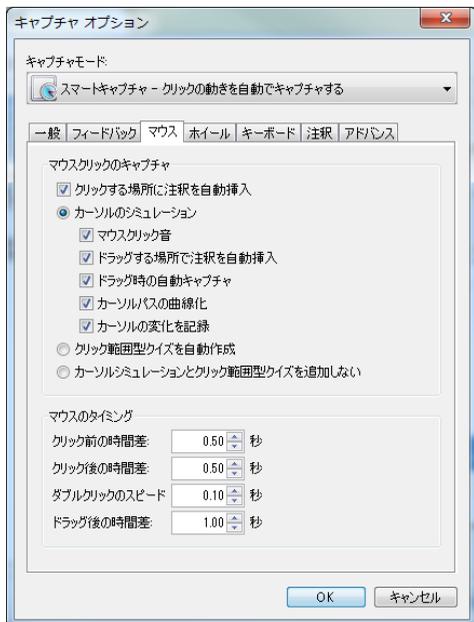
[クリックする場所に注釈を移動挿入] チェックボックスをオンにすると、自動に吹き出しを挿入します。

[カーソルのシミュレーション] カーソルのキャプチャ時の設定です。

[クリック範囲型クイズを自動作成] チェックボックスをオンにすると、自動的にクイズを作成します。

注意 ▶ カーソルシミュレーション クリック範囲型クイズは、どちらかが有効になります。

[カーソルシミュレーションと...] チェックボックスをオンにすると、無効になります



キャプチャタイプの[デモンストレーション]、[トレーニングシミュレーション] [評価試験]のマウスタブを確認してください。

[マウスのタイミング] タイミングを設定しておくことで、キャプチャ時の誤差。個人差がなくなります。

[ホイール]タブ

スマートキャプチャ時、マウスホイールの動きに合わせて自動付加する項目を選択します。

[マウスホイールのキャプチャ] チェックボックスをオンにすると、自動に吹き出しを挿入します。

[ホイールのシミュレーション] ホイールキャプチャ時の設定です。

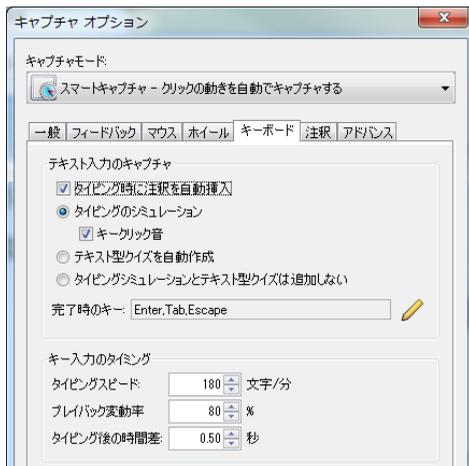
[ホイールのタイミング] キャプチャ時の誤差。個人差がなくなります。

[キーボード]タブ

スマートキャプチャ時、タイピングの動きに合わせて自動付加する項目を選択します。

[タイピング時に注釈を移動挿入] チェックボックスをオンにすると、自動に吹き出しを挿入します。

[タイピングのシミュレーション] キークリック音の挿入も可能です。。



[テキスト型クイズを自動作成] チェックボックスをオンにすると、自動的にクイズを作成します。

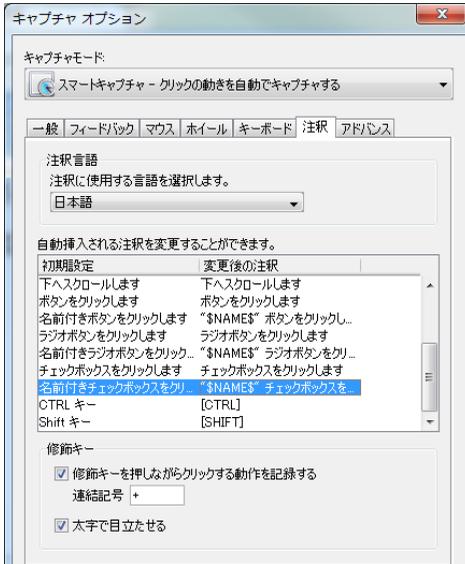
[完了時のキー]クイズ作成時、回答完了時のキーを確定しておき必要があります。

右修正アイコンからキーの追加、削除ができます。

[キー入力のタイミング] キャプチャ時の誤差。個人差がなくなります。

[注釈]タブ

自動挿入される注釈の文章を予め設定しておきます。



[アドバンス]タブ

キャプチャに関わるその他の設定です。。

[フレームレート]マウスドラッグ操作、背景キャプチャ時のフレームレートになります。

スマートキャプチャでは 1～5フレーム/秒

ビデオキャプチャでは 5～10 フレーム/秒で設定します。

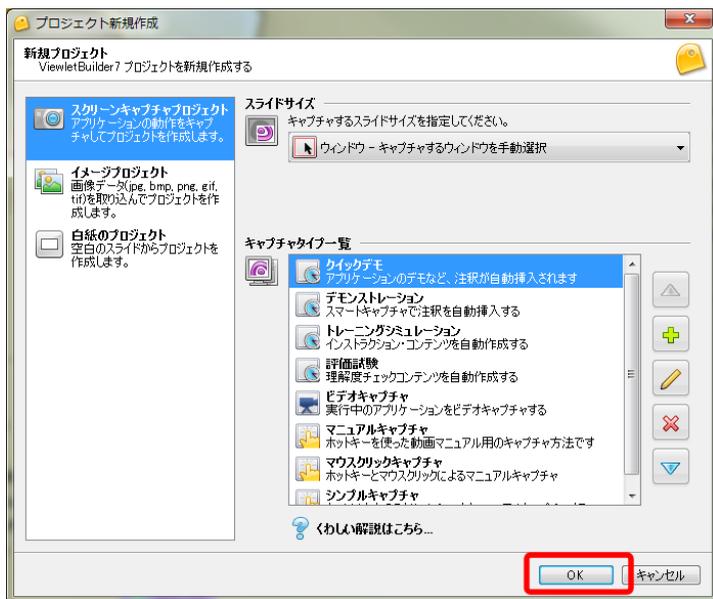
[スクリーンショットの時間差] 画像表示が遅い PC の場合この時間差を調整してください。

[ポップアップのキャプチャ] ポップアップメニューなどアプリケーションによっては、撮影できない場合があります。その場合はこのチェックボックスをオンにしてください。

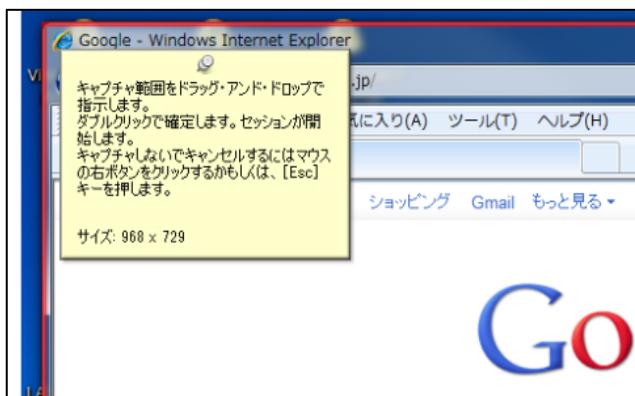
スクリーンショットの開始（スマートキャプチャ マニュアルキャプチャ）

スライドサイズとキャプチャモードを選択して [OK] ボタンをクリックします。

（下図のオプション内容は一例です）



スクリーン上にメモが表示されます。キャプチャする範囲をメモの内容に従って選択あるいは指示します。（下図はスライドサイズ [ウィンドウ] での例です）

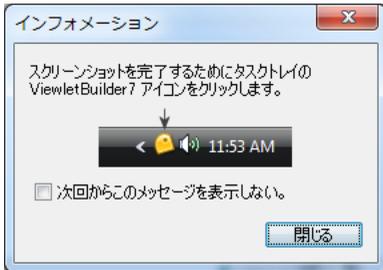


注意 ▶ [スライドサイズ] で [フルスクリーン] を選択しているときは、メモは表示されません。

ポイント▶このとき、範囲の選択をしないで操作をキャンセルするには、右ボタンをクリックするか、キーボードの [ESC] キーを押します。プロジェクトは作成されずビューレットビルダー7の起動画面に戻ります。

インフォメーションが表示されます。

[閉じる]をクリックするとキャプチャを開始します。



ポイント▶[次回からこのメッセージ...]にチェックを入れると次回から表示されません

スクリーンショットが開始します。

スマートキャプチャの場合はクリック、ドラッグしたタイミングでキャプチャされます。

マニュアルキャプチャの場合はホットキーを押したタイミングでキャプチャされます。

通知領域のトレイアイコンにマウスカーソルをあてるとそれまでにキャプチャした回数の情報が表示されます。



キャプチャ中のオプション変更

スクリーンショットの操作中にオプションの変更を行なうことができます。

タスクバーの通知領域に表示されているビューレットビルダー7のアイコンをクリックします。

スクリーンショットが一時停止して「キャプチャ状況」パネルが表示されます。



水色の下向き矢印「最大化」アイコンをクリックします。

「キャプチャ状況」パネルが広がり、「[キャプチャオプション](#)」パネルと同様の内容に「状態」タブが加わって表示されます。



キャプチャの再開とキャンセル

キャプチャを再開するには [キャプチャ状況] パネルの緑色の [続ける] アイコンをクリックします。



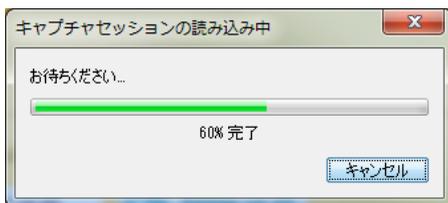
キャプチャを取りやめてスライドの作成も行なわない場合は赤色の×マーク [キャンセル] アイコンをクリックします。

スクリーンショットの終了

スクリーンショットを終了すると、プロジェクトとしてキャプチャされたスライドがスライドビューに表示されます。

赤色の四角 [停止] アイコンをクリックします。

[キャプチャセッションの読み込み中] パネルが表示されます。

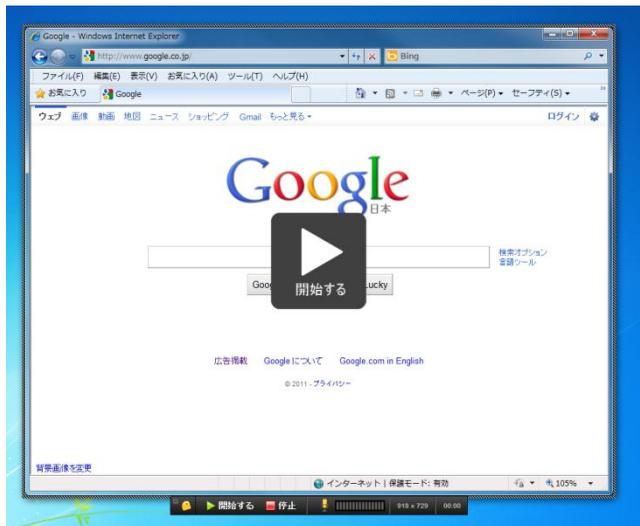


ビデオキャプチャ

画面の動きを 1 秒間に指定されたフレーム数で撮影するモードです。

動画やマウスクリックを伴わない画面の動きをキャプチャできます

キャプチャタイプからビデオキャプチャを選択し[OK]をクリックします



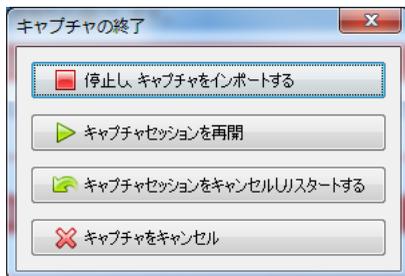
キャプチャを開始するには 中心の[開始する]をクリックするか



画像下のコントロールで[開始する]をクリックします。

マイクアイコンをクリックして同時録音ができます。

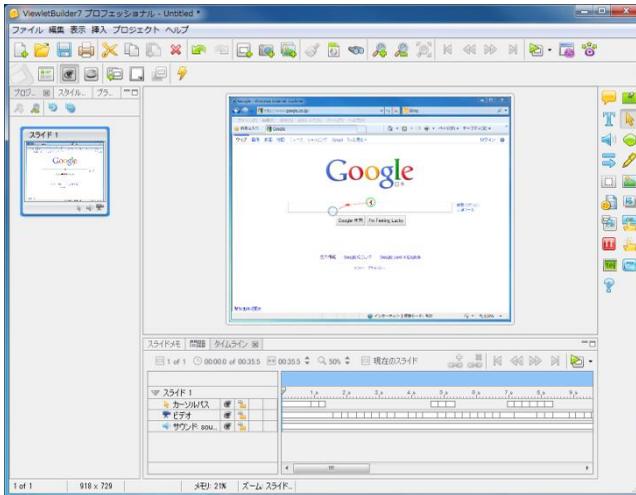
終了するには[停止]をクリックします。ポップアップダイアログから停止をクリックします。



セッション再開、リスタート、キャンセルがこのダイアログから行えます。

ビデオキャプチャの特徴

キャプチャ停止するとスライドが作成されます



キャプチャはカーソルパス、ビデオ サウンドのレイヤで構成され、1 スライド単位で作成されます。

カーソル、ビデオのタイミング調整はできません。

カーソルは位置の調整、削除は可能です。

吹き出しなどのオブジェクトは追加できます。

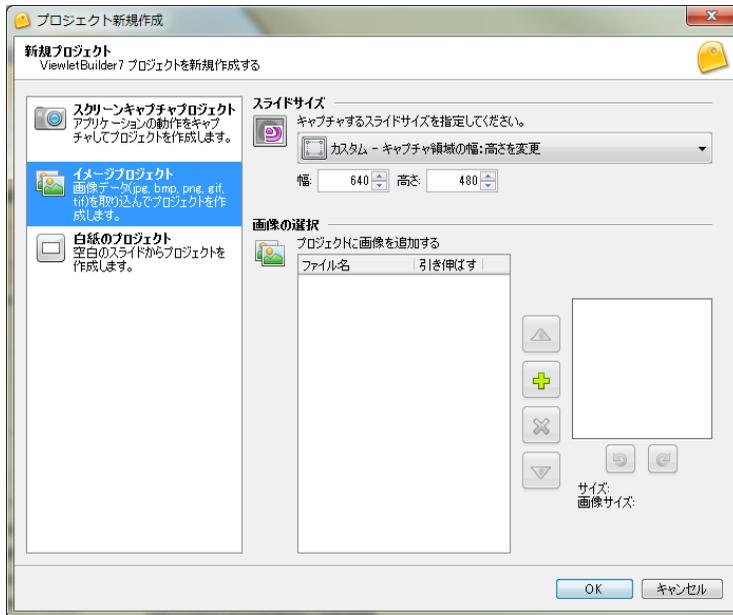
ビデオキャプチャではマウスカーソルの動きではなく、画面の動き、シミュレーションなどをキャプチャする場合に有効なキャプチャ方法です。

画像プロジェクト

既存の画像を利用してプロジェクトを作成します。

サポートされるイメージ形式は jpeg、gif、tiff、jpg、png と bmp です。イメージは背景画像としてスライドに配置されます。

[[プロジェクト新規作成](#)] パネルのナビゲーションメニューから [画像プロジェクト] を選択します。



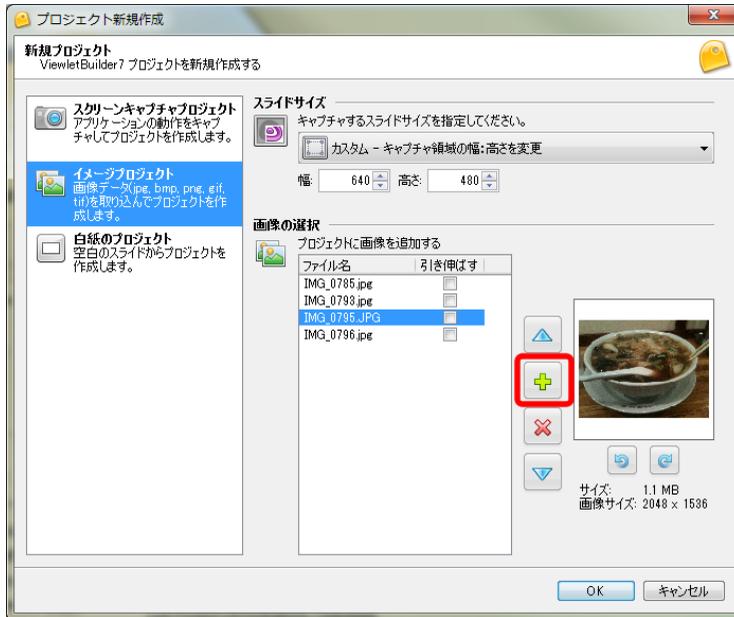
[スライドサイズ]欄

作成するスライドサイズを選択します。

[[カスタム](#)] と [[スタンダード](#)] の2種類があります。

[画像の選択]欄

スライドに取り込む画像を選択します。



緑色の＋マーク [追加] アイコンで画像ファイルを選択します。

右側に画像がプレビューされます。

ポイント ▶ プレビューの下にあるアイコンは画像の回転を行なうためのものです。

順序の変更には、水色の矢印 [上へ] あるいは [下へ] アイコンを使用します。

削除するには、ファイル名を選択して赤い×マーク [削除] アイコンをクリックします。

プロジェクトを開いたあとも、スライドの順序の変更、削除やスライドの追加などは行なうことができます。

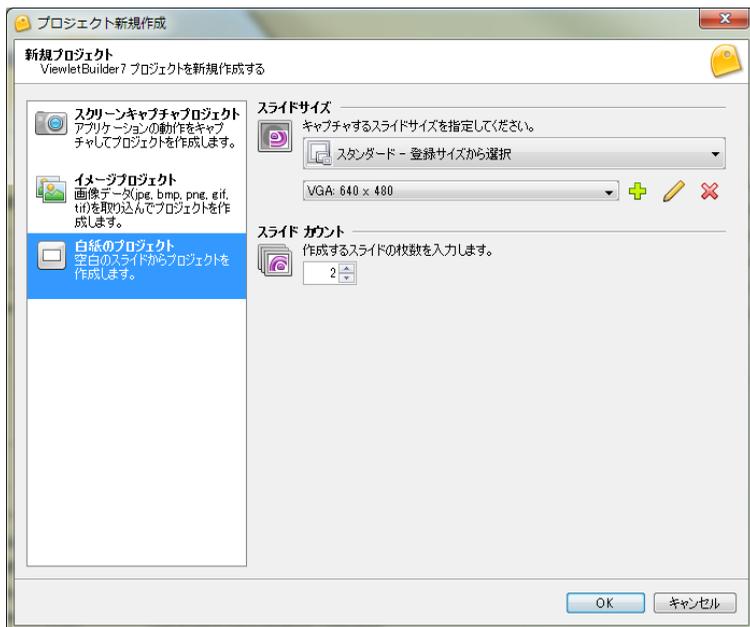
[OK] ボタンをクリックします。

画像を取り込んだスライドが作成されてプロジェクトとして開きます。

白紙のプロジェクト

白紙のスライドからプロジェクトを開始します。

[[プロジェクト新規作成](#)] パネルのナビゲーションメニューから [ブランクプロジェクト] を選択します。



[スライドサイズ] 欄

キャプチャの領域の指定方法を選択します。

[[カスタム](#)] と [[スタンダード](#)] の2種類があります。

[スライドカウント] 欄

プロジェクト開始時の白紙のスライドの枚数を指示します。

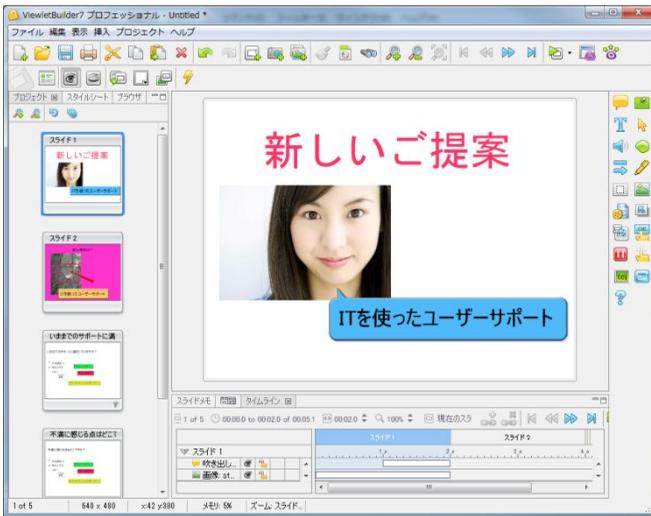
ポイント▶ プロジェクトを開始後もスライドの追加および削除が可能です。

ヒント▶ プロジェクトを開いたときの画面構成は「[インターフェース](#)」の項をご参照ください。

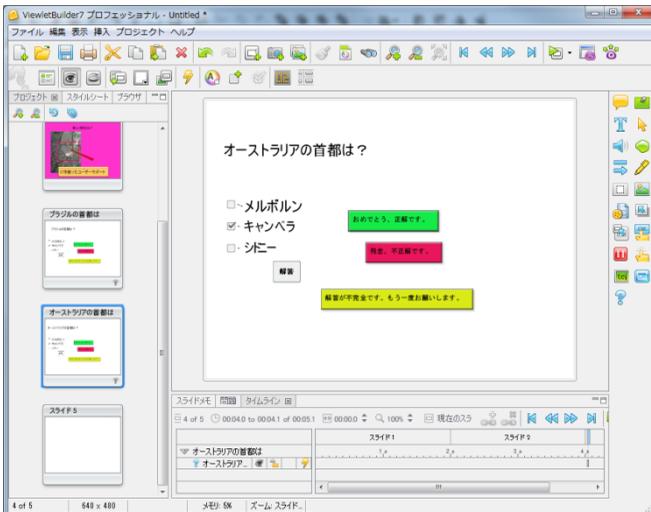
確定したら[OK]をクリックします。

白紙のプロジェクトの用途

白紙プロジェクトではスライドにテキストや画像を入れてプレゼンテーションムービーを作成します。



クイズオブジェクトを追加してeラーニングコンテンツも作成できます。

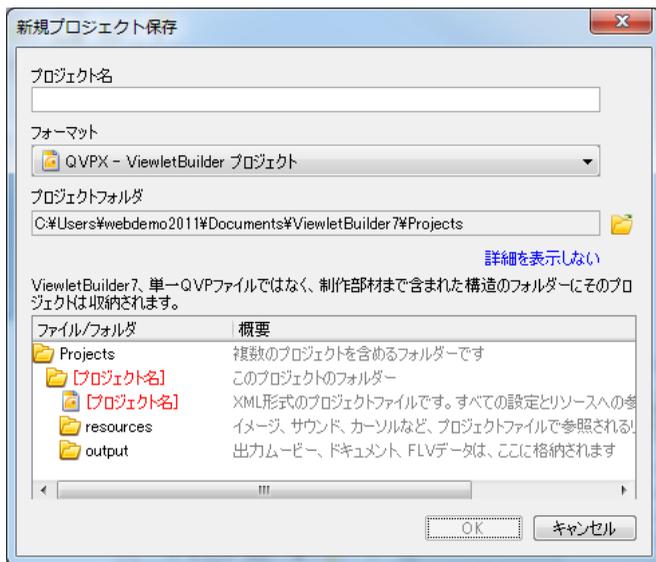


ファイルの保存

保存する

[ファイル]メニューから[保存する]をクリックします。

プロジェクト名を入力します

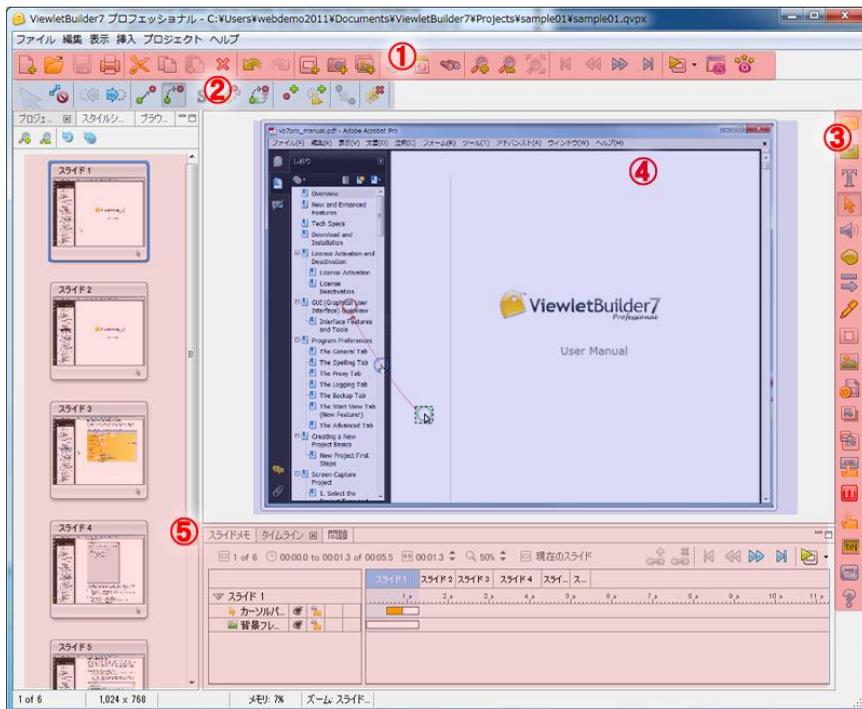


ViewletBuilder 7では ファイル形式はQVPX という名前になります。

フォルダ「プロジェクト名」内に [プロジェクト名.qvpx]とキャプチャ背景画像
と音声 カーソルデータが[resources]フォルダに格納されます。

出力（パブリッシュ）データは[output]フォルダに格納されます。

キャプチャ終了後プロジェクト編集時のインターフェース



⑥ ボタンコマンドツールバー

メニューバーの下にあるボタンアイコンのバーです。

⑦ 連動ツールバー

プロジェクトを開くと表示されるツールバー。コマンドに連動してさまざまなボタンアイコンが表示されます。

⑧ オブジェクトツールバー

スライド上にオブジェクトを配置するコマンドのボタンアイコンです。

⑨ スライドビュー

右側の中段の広いスペースです。スライドにオブジェクトを追加し、編集する領域です。(下図は白紙のスライドです)

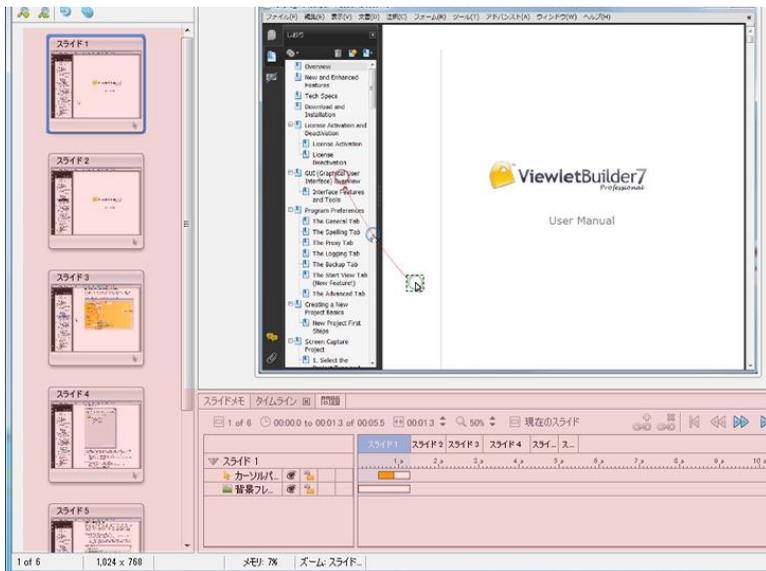
⑩ タブ表示

スライドビューの左側および下部に表示されています

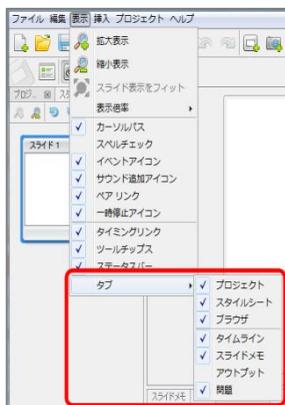
タブツールを使う

タブは、スライドビューの左側および下部に表示されています。

[ブラウザ]、[サムネイル]、[スタイルシート]、[アウトプット]、[タイムライン]、[スライドメモ] の6種類があります。動画の編集に多く関わるツールが表示されています。



表示させるには、メニューバーの「表示」から選択してチェックマークをオンにします。



タブ表示の解除

表示されているタブのタイトルの右端にある×マークをクリックします。

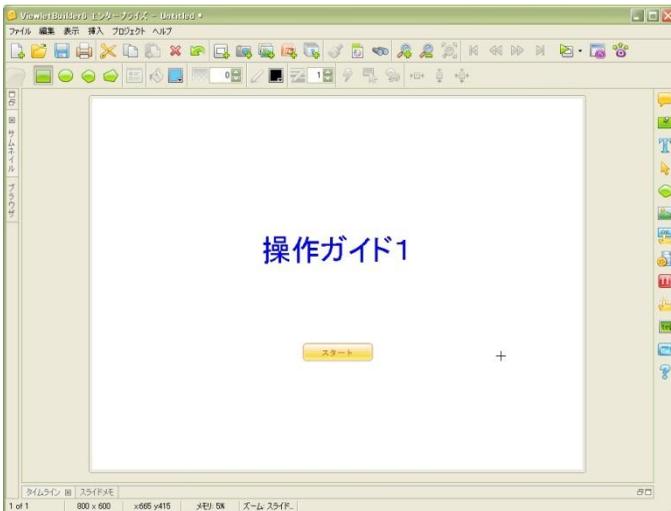


タブ表示の最小化と最大化

タブの右上に配置されている最小化または、最大化ボタンをクリックします。



ヒント▶ 左のタブ表示と下のタブ表示を最小化するとスライドビューがさらに広がります。



[ブラウザ]タブ

Viewlet を作成する上でリソースの管理・組織化に有効な機能です。Viewlet のリストを表示することもできます。ビューレットビルダー7を終了することなくフォルダやファイルの管理を行なうことができます。

メニューバーから [表示] → [ブラウザ] を選択してチェックマークをオンにします。

[ブラウザ] タブが表示されます。タブ名をクリックすると最前面に表示されます。

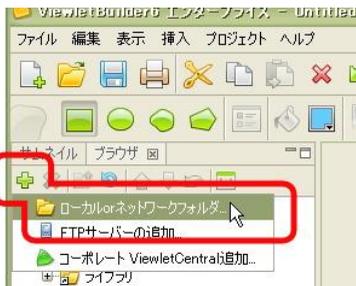


注意 この [ブラウザ] タブに表示されるのはフォルダへのショートカットです。このとき下段に表示されるのは実際のファイルです。ファイルのショートカットではありません。ご注意ください。

参照フォルダの追加

緑色の+マーク [追加...] アイコンをクリックします。

ドロップダウンリストからメニューを選択します。



参照するフォルダを選択します。

フォルダへのショートカットが追加されます。

参照フォルダの解除

参照しているフォルダを選択して赤色の×マーク [削除...] アイコンをクリックします。

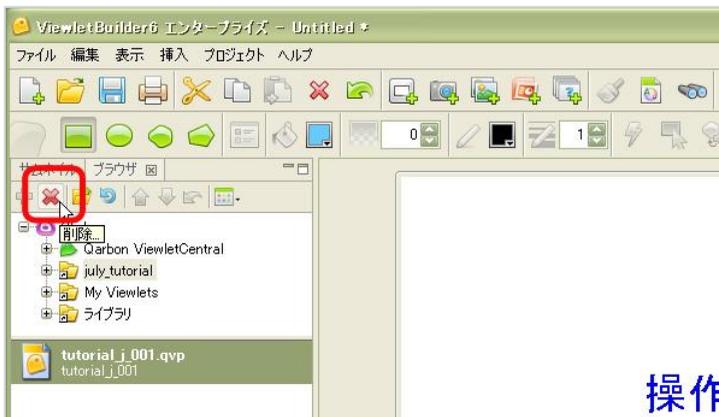


ファイルの削除

下段に表示されているファイルから削除するものを選択します。

注意 ▶ この操作で削除されたファイルはコンピュータから完全に削除されます。
十分に確認したのち、慎重に作業を行なってください。

赤色の×マーク [削除...] アイコンをクリックします。

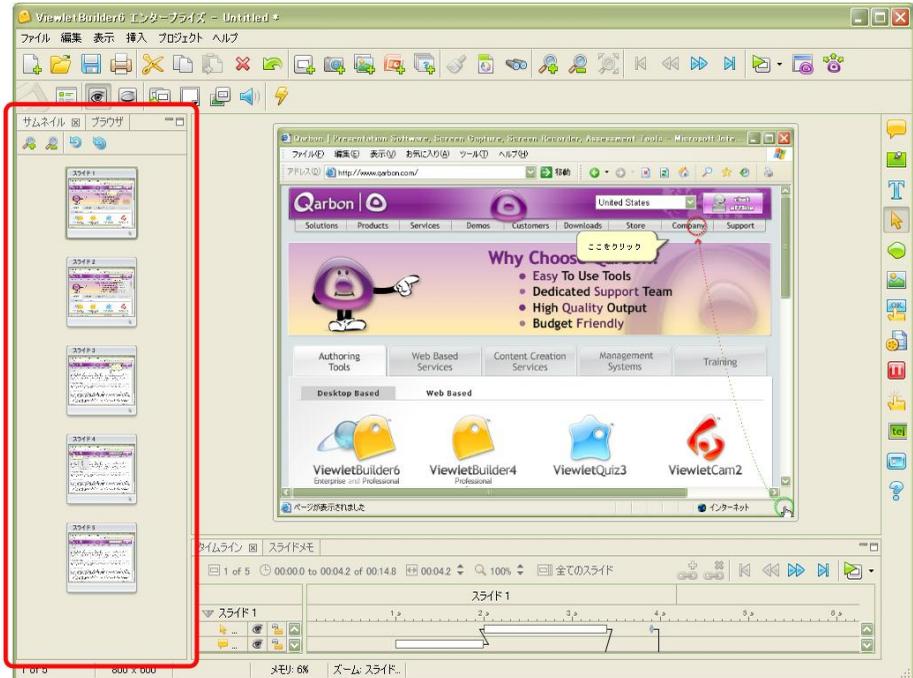


[サムネイル]タブ

開いているプロジェクトの全スライドが一覧として表示されています。

メニューバーから [表示] → [サムネイル] を選択してチェックマークをオンにします。

[サムネイル] タブが表示されます。タブ名をクリックすると最前面に表示されます。



サムネイルの拡大と縮小

タブの上部にあるボタンで、サムネイルの縮小率を変更することができます。また、サムネイルを最新の状態にするための「サムネイルを再表示」、[全てのサムネイルを再表示] ボタンがあります。



スライドの操作

スライドの追加位置を指示したり、削除するスライドを選択したりすることができます。

ドラッグ・アンド・ドロップでスライドの順番を変更することもできます。

また、選択したスライド上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから各種の操作を行なうことができます。

複数のスライドを選択して同時に同じ内容の処理を施すことができます。

スライドの情報アイコン

スライドの下には、含まれるオブジェクトがアイコンで表示されています。カーソルを当てるとツールチップが表示されます。

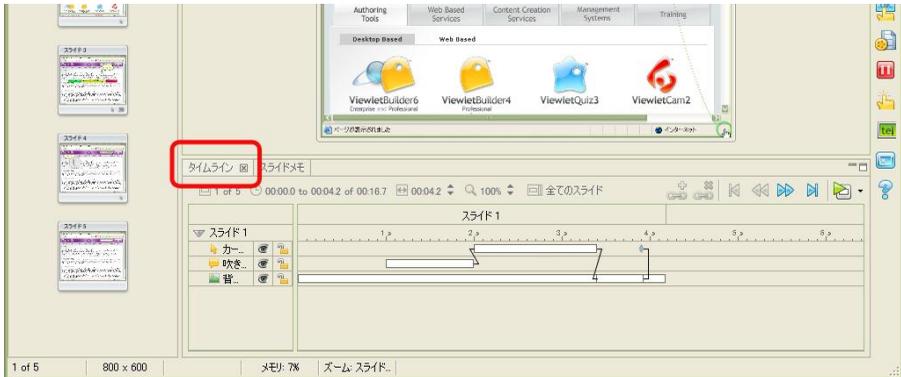


[タイムライン]タブ

タイムラインに沿ってスライドやオブジェクトをデザインすることができます。スライドのプレビューを行なうこともできます。

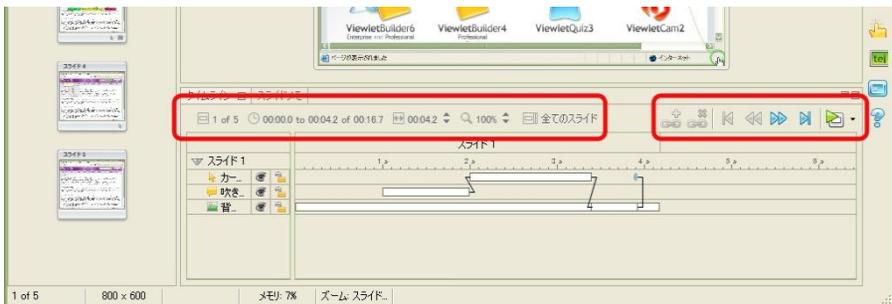
メニューバーから [表示] → [タイムライン] を選択してチェックマークをオンにします。

[タイムライン] タブが表示されます。タブ名をクリックすると最前面に表示されます。



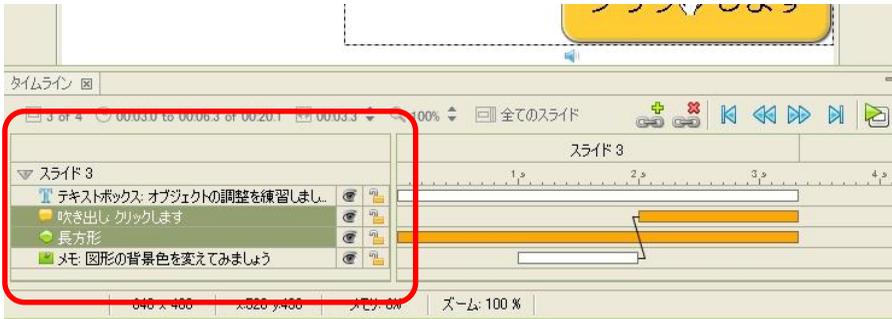
タブの上部左側には、スライド数・スライド全体の再生秒数とスライド毎のタイム・スライドの表示時間の調整スピンドット・タイムラインの縮尺スピンドット・タイムラインの表示切り替えのアイコンが並んでいます。

右側には、スライド間の移動アイコンが4種とプレビューのボタンがあります。



レイヤ

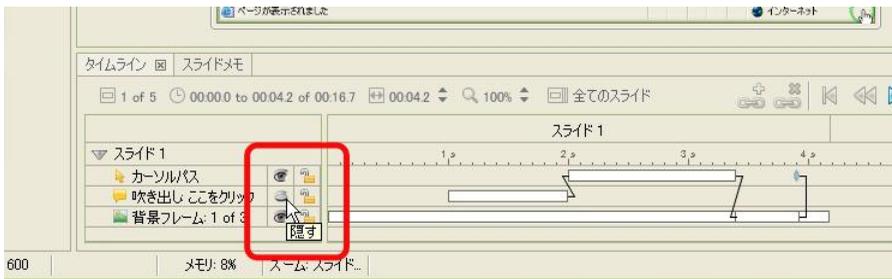
スライドのオブジェクトは [タイムライン] タブにレイヤ表示されています。



ヒント▶ 三角形のマークをクリックしてレイヤ表示の展開と折りたたみを切り替えることができます。

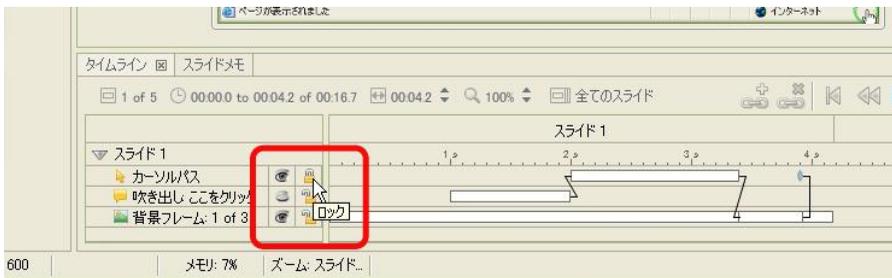
レイヤの表示と非表示

目のマークのアイコンをクリックして表示/非表示を切り替えます。



レイヤのロックと解除

レイヤごとに編集を制限するには鍵マークのアイコンをクリックして閉じた状態にします。制限を解除するときもクリックして鍵マークが開いた状態にします。



オブジェクトの位置

オブジェクトの順番や位置を調整することができます。

変更するオブジェクトを選択します。

マウスの右ボタンをクリックしてショートカットメニューから「重ね順」または「揃える」を選択して配置の場所を指示します。

オブジェクトの動作

レイヤごとにオブジェクトの動作タイミングや表示時間を示す長方形のバーがあります。長方形のエッジにポイントすると両方向矢印のカーソルに変化します。これをドラッグして動作を調整することができます。



タイミングリンク

オブジェクト間の相互関係を定義しておくことができます。ビューレットビルダー7で新しく追加された機能です。

操作方法については、「[タイミングリンク](#)」の項をご参照ください。

レイヤの削除

レイヤを選択します。

キーボードの [Delete] キーを押します。

ポイント▶ 他の方：マウスの右ボタンをクリックしてショートカットメニューから「削除」を選択します。

[スタイルシート]タブ

オブジェクトの特性をスタイルシートと呼ばれるテンプレートとして定義することができます。定義した内容はオブジェクトやスライドなどに反映させることができます。

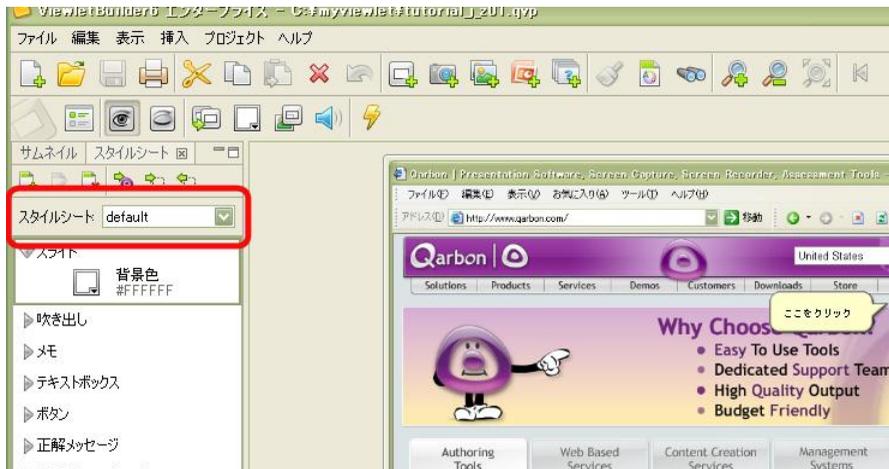
メニューバーから [表示] → [スタイルシート] を選択して、チェックマークをオンにします。

[スタイルシート] タブが表示されます。タブ名をクリックすると最前面に表示されます。



[default]

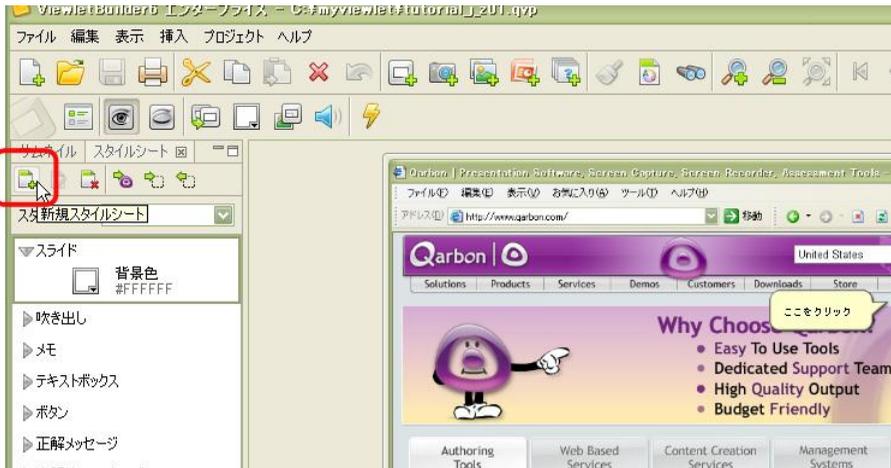
デフォルトのスタイルシートです。ドロップダウンリストから選択します。削除することはできません。



【新規スタイルシート】

ユーザーが任意に登録するスタイルシートです。

タブの上部にある【新規スタイルシート】アイコンをクリックします。



【スタイルシート】パネルが表示されます。



スタイルシートの【名前:】を入力します。

必要であれば【パスワード保護】チェックボックスをオンにしてパスワードを入力します。

注意 ▶ パスワードの管理には十分注意してください。

【OK】ボタンをクリックします。

【スタイルシート名の変更】

スタイルシートの名称およびパスワードを変更することができます。

注意 ▶ デフォルトのスタイルシートは名称を変更できません。

パスワード保護されているスタイルシートの名称を変更するには、パスワードを入力する必要があります。

プロジェクト全体に反映

プロジェクトに含まれる全スライドに選択されているスタイルが適用されます。

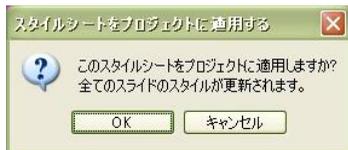
〔スタイルシート〕タブ内のスタイルのリストから基にするオブジェクトの種類を選択します。

必要に応じて、スタイルの内容を編集しておきます。

〔スタイルシート〕タブの〔スタイルシートをプロジェクトに適用する〕アイコンをクリックします。



ポイント ▶ 他の方：右ボタンをクリックしてショートカットメニューから〔スタイルシートをプロジェクトに適用する〕を選択します。



〔OK〕 ボタンをクリックします。

スライドへの反映

選択しているスライドにのみスタイルを適用することができます。

スタイルシートタブ内のスタイルのリストから基にするオブジェクトの種類を選択します。

必要に応じて、スタイルの内容を編集しておきます。

[スタイルシートの設定に変更する] アイコンをクリックします。



スタイルシートへ登録

変更されているオブジェクトのスタイルをスタイルシートへ登録することができます。

スライド上のオブジェクトを選択して [スタイルシート] タブの [選択内容でスタイルシートを上書きする] アイコンをクリックします。



スタイルシートの削除

[スタイルシート] タブの [スタイルシート:] ドロップダウンリストから削除するスタイルシートを選択します。

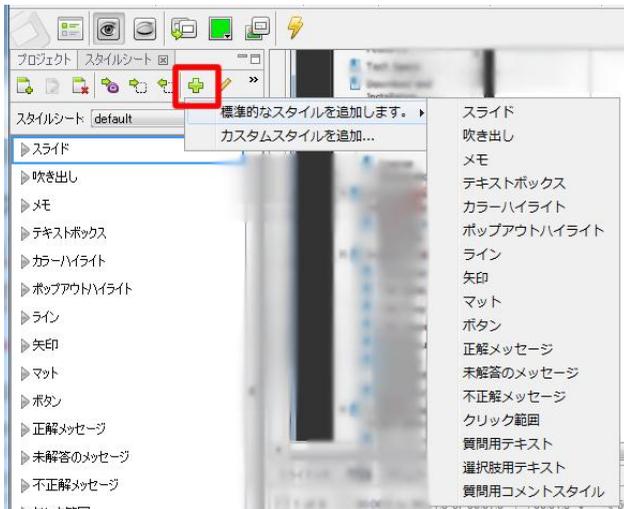
[スタイルシートを削除] アイコンをクリックします。



スタイルとして定義する内容

オブジェクト	プロパティ
スライド	背景色
吹き出し メモ	メッセージタイプ 背景色 影のプロパティ テキストプロパティ（フォント、サイズ、スタイル、 配置、色）
カラーハイライト	背景色 不透明度
ポップアップハイライト	ポップアウト量 影のプロパティ
ライン	ラインスタイル 線幅 枠線 不透明度 影
矢印	スタイル、背景色、幅 枠線 不透明度、 影
マット	背景色 不透明度 境界線 枠線
メッセージ 未解答のメッセージ 不正解メッセージ 質問用テキスト 選択肢用テキスト 列のテキスト 欄のテキスト	メッセージスタイル 背景色 テキストのプロパティ （フォント、サイズ、スタイル、配置、色）
質問用コメント	テキストフィールドスタイル チェックボックス スタイル
テキストボックス	テキストのプロパティ （フォント、サイズ、スタイル、配置、色）
ボタン	ボタンスタイル テキストのプロパティ
クリック範囲	クリック範囲の変更

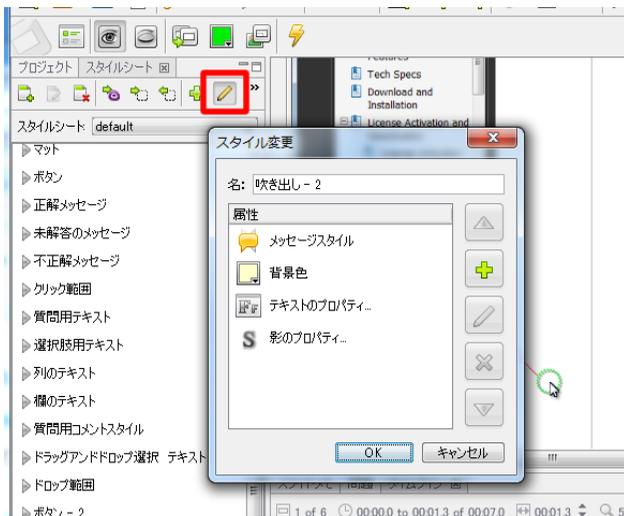
スタイルの追加



タブ[上部スタイル追加]をクリックし、スタイルを追加することができます。

標準的なスタイルを選択し、スライド～コメントスタイルが選択します。

追加したスタイルを選択し[スタイル変更]ボタンをクリックします。



ダイアログから属性を変更します。

[スライドメモ] タブ

スライドメモとは、実際にはスライドに表示させない注釈を書き込んでおくための機能です。複数のスタッフで編集する場合のメモにも便利です。

メニューバーから [表示] → [スライドメモ] を選択して、チェックマークをオンにします。

[スライドメモ] タブが表示されます。タブ名をクリックすると最前面に表示されます。



スライドを選択してメモを入力します。

スライドメモはスライド1枚に対してひとつずつ用意されています。

スライドメモの印刷

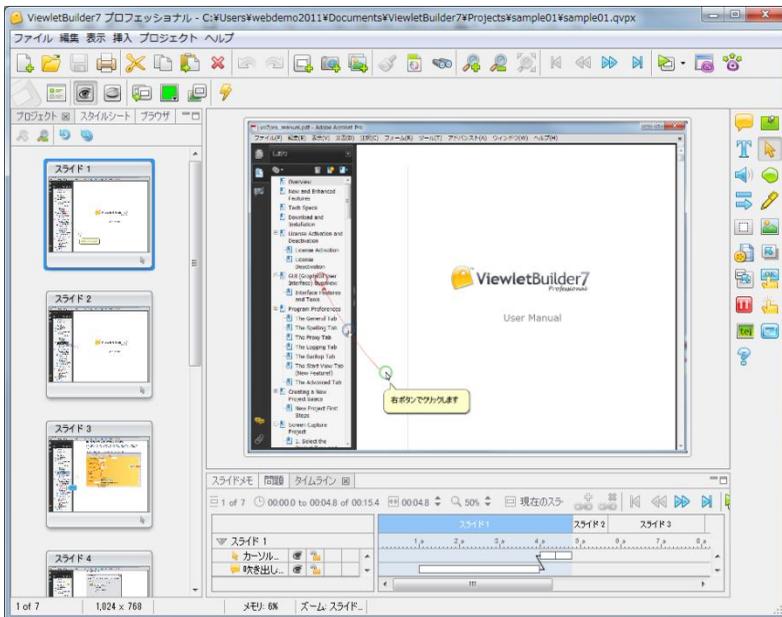
メニューバーから [ファイル] → [印刷のレイアウト...] を選択します。

[印刷レイアウト] タブが表示されます。

[オプション] 欄で [スライドメモ] チェックボックスをオンにすると、印刷時にその内容を加えることができます。

スライドの編集

ビューレットビルダーのスマートキャプチャでは1アクションごと、マニュアルキャプチャでは1ショットごと、イメージプロジェクトでは画像枚数ごと、スライドが作成されます。ムービーの長さ、シナリオの変更、インタラクティブな機能の追加などの編集操作として、スライドの編集操作はかかせません。



スライド編集ではプロジェクトタブに表示されたスライドの複製、並び替え、削除やタイミングの設定、挿入、イベントなどがあります。

スライド編集連動ツールバー



編集画面でオブジェクトなどを選択していない場合、メニューバーにはこのような表示になります。

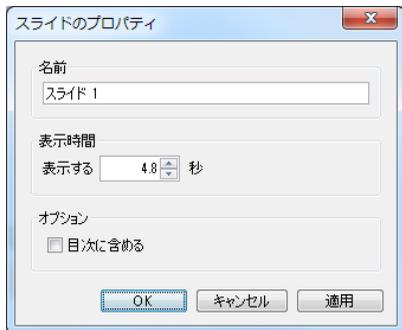
スライドプロパティの編集

サムネイルビューでスライドを選択します。

連動ツールバーの  [スライドのプロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント ▶ 他の方法：スライド上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [スライドのプロパティ...] を選択します。

[スライドのプロパティ] パネルが表示されます。



[名前] 欄：スライドの名前です。

[表示時間] 欄：スライドの表示されている時間を秒単位で指示します。

[オプション] 欄：[目次を含める] チェックボックスをオンにすると、ムービーの目次としてスライドの名前が使用されます。

スライドの非表示

削除するのではなくプレビューやコンパイルなどの際にスライドを含めず表示させない方法です。必要となときに再び表示させる設定に戻すことができ便利です。

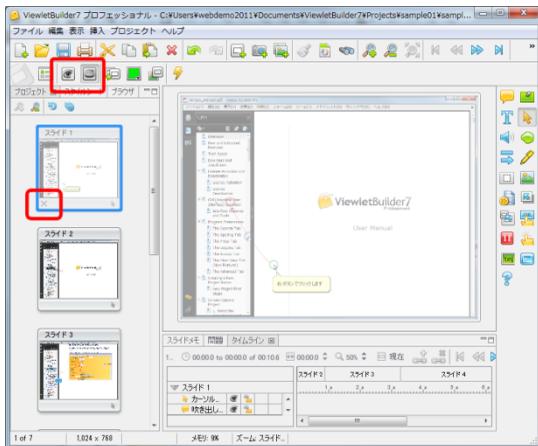
スライドの表示／非表示の切り替え

サムネイルビューでスライドを選択します。

連動ツールバーの  [スライドを表示] アイコンあるいは、 [スライドを隠す] アイコンをクリックします。

隠す設定になっているスライドはサムネイルの左下に×マークが表示されています。また、サムネイルは半透明になっています。

ヒント▶ 隠す設定にされているスライドは、プレビューの際には表示されません。サウンドが含まれている場合も再生されません。コンパイルにも含まれません。スライド数のカウントには含まれます。



スライドの複製

スライドビューに表示されているスライドを簡単に複製することができます。

サムネイルビューで複製するスライドを選択して、連動ツールバーの  [スライドの複製] アイコンをクリックします。複製されたスライドが挿入されます。

ポイント▶ 他方法：サムネイルビューで複製するスライドを選択して、キーボードの [Ctrl] + [D] キーを押します。

スライドカラーの変更

スライドの背景色を変更することができます。画像やオブジェクトの後ろの色です。

サムネイルビューでスライドを選択します。

連動ツールバーの  [背景色] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他方法：右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [背景色] を選択します。

〔背景色〕パネルが表示されます。スウォッチタブとレインボータブでモードを切り替え
てお使いください。



カラーをパレットから選択するかあるいは、RGB の数値などを指示します。

〔OK〕ボタンをクリックすると適用されます。

カスタムカラー

パレットで選択しているカラーあるいは、RGB の数値を調整したカラーをカスタムカラーとして登録しておくことができます。

 [現在のカラーをカスタムカラーに登録] アイコンをクリックします。〔カスタム〕欄にカラーが追加されます。

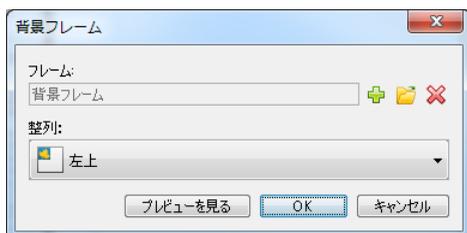
カスタムカラーを削除するには  [一番左のカスタムカラーを削除する] アイコンをクリックします。

スライドの背景画像

スライドの背景に画像を埋め込むことができます。配置のパターンも選択することができます。サムネイルビューでスライドを選択します。

連動ツールバーの  [背景の編集...] アイコンをクリックします。

〔背景フレーム〕パネルが表示されます。



〔フレーム：〕：画像ファイルを選択します。

[整列:] 欄: 画像の配置パターンを選択します。

[OK] ボタンをクリックするとスライドに画像が配置されてパネルが閉じます。

背景フレームの削除

サムネイルビューでスライドを選択します。

ポイント▶ 他の方法: スライドの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [背景の編集...] を選択します。

削除は 赤色の×マーク [背景を取り除く] アイコンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると画像がスライドから取り消されます。

スライドの移動

ドラッグ・アンド・ドロップ

サムネイルタブをクリックします。サムネイルビューが最前面に表示されます。

スライドのサムネイルをドラッグして移動先でドロップします。

切り取りと貼付けのコマンド

サムネイルビューで移動するスライドを選択します。

ボタンコマンドツールバーの  [切り取り] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方法: 移動するスライドを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [切り取り] を選択します。

スライドが切り取られます。

注意▶ 切り取りをすぐに元に戻すには、ボタンコマンドツールバーの  [元に戻す] アイコンをクリックします。切り取りの操作は、十分に確認してから行ってください。

サムネイルビューで移動先のひとつ前のスライドを選択します。

ボタンコマンドツールバーの  [貼付け] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方法: 移動先のひとつ前のスライドを右ボタンでクリックしてショートカットメニューの [貼り付け] を選択します。

スライドの削除

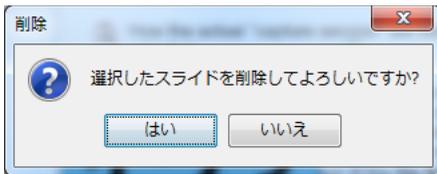
ひとつのスライドの削除

サムネイルビューでスライドを選択します。

ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方法：サムネイルの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。あるいは、キーボードの [Delete] キーを押します。

[削除] パネルが表示されます。



確認して [はい] ボタンをクリックします。

削除を取りやめる場合には [いいえ] ボタンをクリックします。

複数スライドの一括削除

サムネイルタブをクリックします。サムネイルビューが最前面に表示されます。

削除する複数のスライドを選択します。

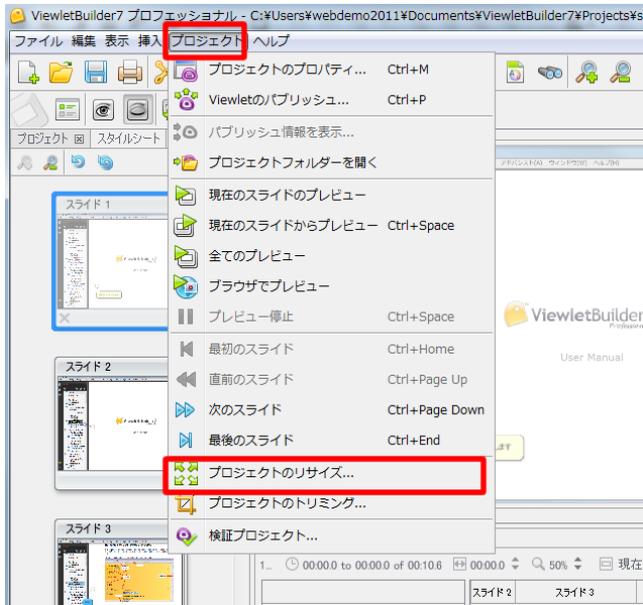
ヒント▶ ドラッグしながら対角を選択して囲まれた複数のスライドを選択します。キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックしてひとつずつ追加選択することもできます。

上記の「ひとつのスライドの削除」と同様の手順で削除します。

プロジェクトのリサイズ

ファイルサイズを小さくする、表示サイズを小さくする、大きくするためにプロジェクト自身のサイズを変更することができます。便利な機能ですが、一度変更すると取消ができませんので、元ファイルのバックアップをとり作業することをお勧めします。

プロジェクトメニューからプロジェクトのリサイズを選択します。



リサイズウィンドウ



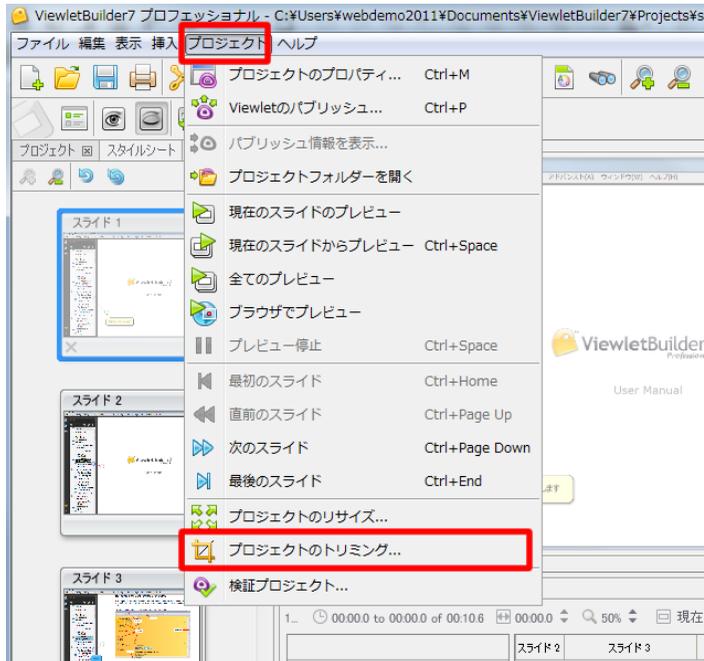
新しいプロジェクトサイズ リサイズしたい幅 高さをピクセル単位で入力します。
縦横比を固定するにチェックを入れると縦横比率が固定されてリサイズされます。

スケール チェックした項目はリサイズ時に同時にスケールが変更されます。
テキスト、吹き出し等は、リサイズ前の大きさ、フォントサイズが維持されます。

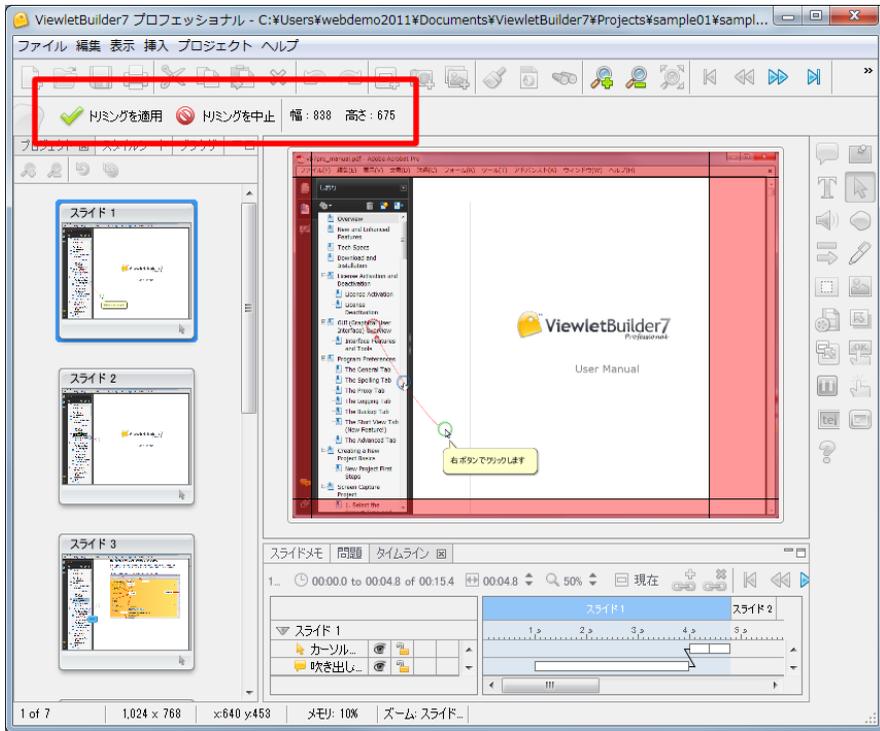
プロジェクトのトリミング

プロジェクトの一部を切り取り、トリミングする機能です。便利な機能ですが、一度変更すると取消ができませんので、元ファイルのバックアップをとり作業することをお勧めします。

プロジェクトメニューから[プロジェクトのトリミング]を選択します。



トリミングの操作



プロジェクトウィンドウに表示された赤枠の境界線をマウスでドラッグして削除したい領域まで移動します。赤く表示された部分がトリミング（削除）されます。

領域が確定したら「トリミングを適用」をクリックします。

中止をする場合は「トリミングを中止」をクリックします。

幅 高さを確認して領域を確定します。

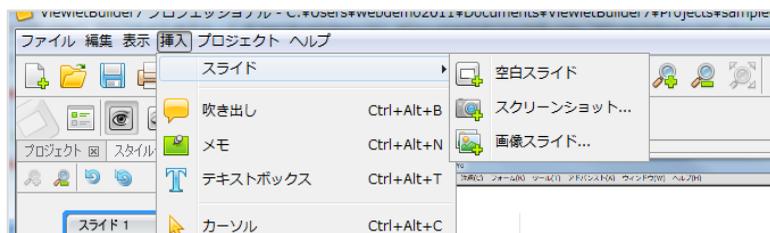
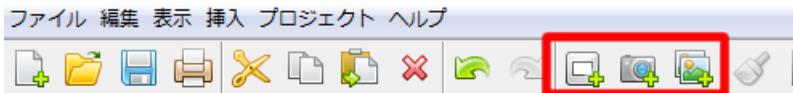
ヒント▶ トリミングはすべてのスライドで一括処理されます。カーソルの位置、吹き出し等がトリミングされる領域に入らないように注意していきましょう。

新たなスライドの追加

既存プロジェクトに対して異なるタイプのスライドを挿入することができます。

スライドの挿入は新規作成と同じ3つの方法のうちいずれでも可能です。

ヒント ▶ いずれの方法でも選択しているスライドのすぐ後に新しいスライドが挿入されます。スライドは挿入後に順番を変更することもできます



空白スライドの追加

既存のスライドを選択します。

メニュー[挿入]の[スライド]から  [空白スライド] アイコンをクリックします。

または、ボタンコマンドツールバーから  [空白スライド] アイコンをクリックします。

白紙のスライドが一枚、挿入されます。

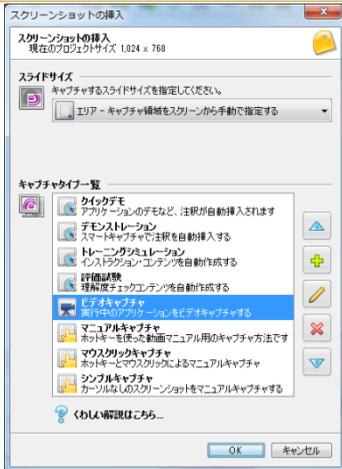
スクリーンショットスライドの追加

既存のスライドを選択します。

メニュー[挿入]の[スライド]から  [スクリーンショット...] アイコンをクリックします。

または、ボタンコマンドツールバーから  [スクリーンショット...] アイコンをクリックします。

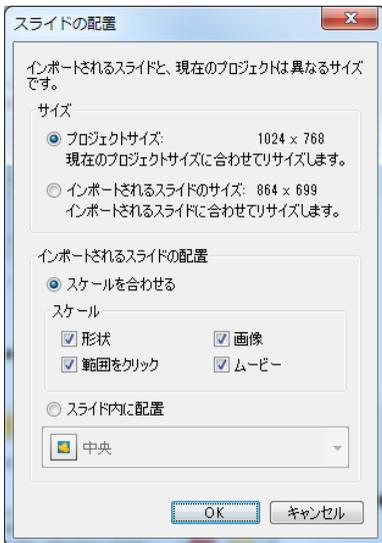
[スクリーンショットの挿入] パネルが表示されます。



ヒント▶ [新規作成のスクリンショット](#)と同様の手順でキャプチャします。

キャプチャを終了すると開いているプロジェクトにスライドとして挿入されます。

キャプチャサイズと既存のスライドサイズが違う場合、以下のダイアログが表示されます。



サイズ欄 基本のサイズを指定します。

インポートされるスライドの配置（プロジェクトスライドの配置）

[スケールを合わせる] 又は [スライドに配置]を選択します。

注意▶ キャンセルをクリックするとキャプチャからやり直しになります。

画像スライドの追加

既存のスライドを選択します。

メニュー[挿入]の[スライド]から  [画像スライド...] アイコンをクリックします。

または、ボタンコマンドツールバーから  [画像スライド...] アイコンをクリックします。

[インポートする画像の選択] パネルが表示されます。

ヒント▶ [新規作成の画像スライド](#)として作成する場合と同様の手順で画像を選択します。

[OK] ボタンをクリックするとスライドが挿入されます。

[タイトル] : ヘッダーに記載するプロジェクトのタイトルになります。

[レイアウト] 欄 : 印刷したときに一枚の用紙上に配置するスライドの向きや枚数を指示します。

プレビューがパネル右側に表示されます。

[非表示スライド] : [スライドを隠す] 設定にされているスライドも印刷します。

[スライドタイトル] : 個々のスライドのタイトルを印刷します。

[スライドメモ] : 個々のスライドに付加されているメモがある場合に印刷します。

[カーソル] : カーソルを印刷します。

[カーソルパス] : スライドに含まれるカーソルの軌跡を印刷します。

[ページ番号] : 用紙にページ番号を印刷します。スライドの枚数ではありません。

[現在のスライド] : スライドビューに表示されている現在のスライドを印刷します。

[から]、[に] : 印刷するスライドの範囲を指定します。

[全てのスライド] : プロジェクトのスライドをすべて印刷します。

[OK] ボタン : 設定を保存してパネルを閉じます。

ヒント▶メニューバーから [ファイル] → [印刷のレイアウト...] を選択します。

ほぼ同じ内容の [印刷レイアウト] パネルが表示されます。

色の吸着

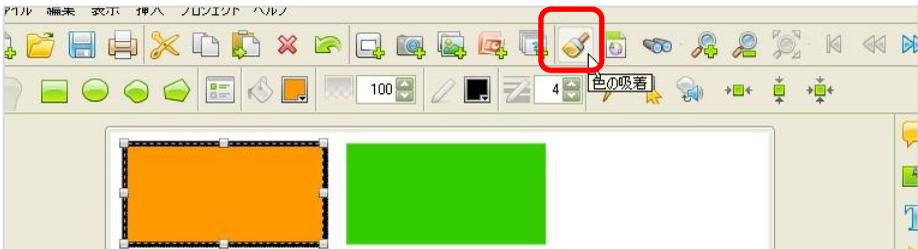
スタイルシートの変更や適用などを行わずに簡単にオブジェクトから他のオブジェクトへ個々のスタイルをコピーする機能です。

元にするオブジェクトを選択します。



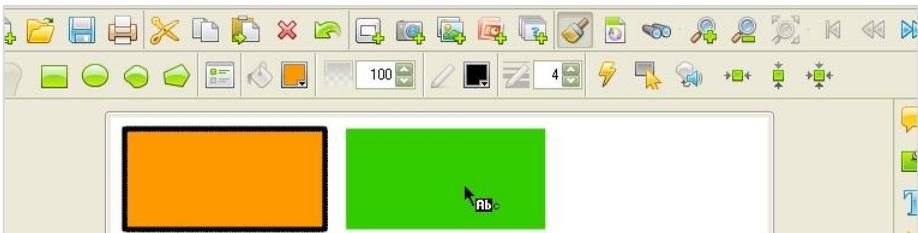
ボタンコマンドツールバーの  [色の吸着] アイコンをクリックしてオンにします。

色の吸着機能はアイコンがオンになっている間有効です。



カーソルが  に変わります。

他のオブジェクトをクリックします。



オブジェクトの色が変更されます。



この作業を終えるには [色の吸着] アイコンをオフにします。

検索と置き換え

ボタンコマンドツールバーの  [検索と置き換え...] ボタンをクリックします。



検索

[検索と置き換え] パネルが表示されます。

[検索] タブをクリックします。

[テキスト] 欄：検索文字列を入力します。

[大文字小文字の区別] オプション：英数字の大文字と小文字を区別して検索するには、このチェックボックスをオンにします。

[ディレクション] 欄：検索をする方向を選択します。

[スライド] 欄：検索の範囲をスライド単位で指定します。

置換

[検索と置き換え] パネルの [置換] タブをクリックします。



[テキスト] 欄：検索文字列を入力します。

[置き換える] 欄：検索した文字列と置き換えるための文字列を入力します。

ヒント▶ [大文字小文字の区別] オプション、[ディレクション] 欄、[スライド] 欄の指定方法は [検索] タブのものと同様です。

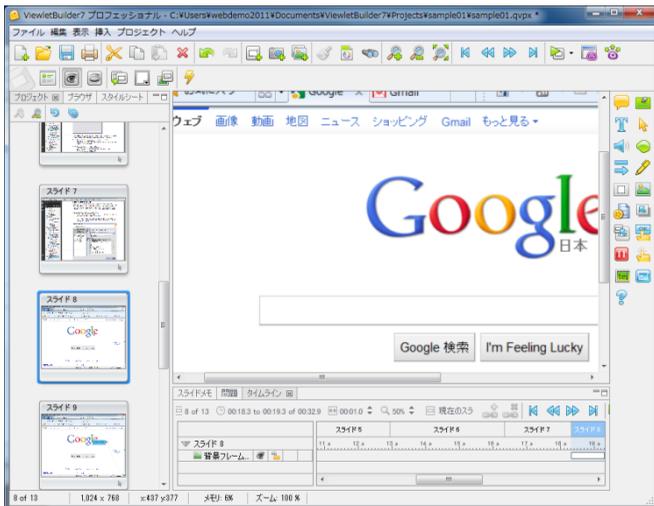
[全て置き換える] ボタン：指定の文字列で検索、一括置換します。

[置き換え] ボタン：検索した文字列を置き換えます。

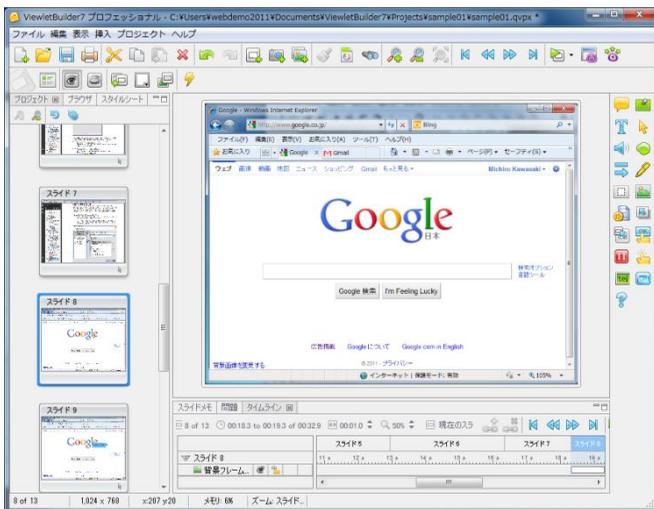
[次を検索] ボタン：置き換えしないで次を検索します。

拡大表示 縮小表示 スライド表示をフィット

スライドの表示を拡大、縮小するボタンです。



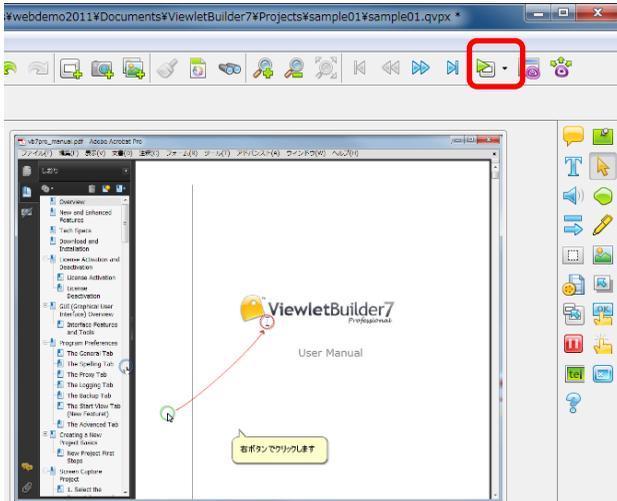
FIT ボタンでいつでもスライドの表示を作業ウィンドウにフィットさせます。



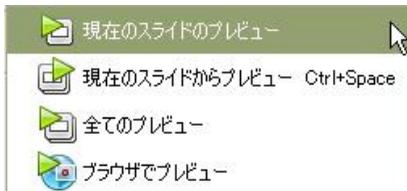
[表示メニュー]から指示することもできます。表示倍率も指定できます。

Viewlet のプレビュー

プレビュー  アイコンの右側の▼をクリックします。



プルダウンメニューが表示されます。



[現在のスライドのプレビュー]

スライドビューに表示されているスライドのみをプレビューします。

[現在のスライドからプレビュー]

スライドビューに表示されているスライドから終りのスライドまでをプレビューします。

[全てのプレビュー]

プロジェクト全体をプレビューします。

[ブラウザでプレビュー]

プロジェクト全体が SWF 形式にコンパイルされブラウザで表示されます。

注意 ▶ パブリッシュは行ないません。

オブジェクトの挿入

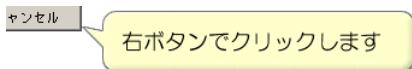
メッセージオブジェクト

メッセージには「[吹き出し](#)」、「[メモ](#)」、「[テキストボックス](#)」があります。

ビューレットビルダー7ではひとつのスライドに複数のメッセージを追加することができます。またそれらのメッセージをどのようなタイミングで表示するのかを個々に制御することもできます。

吹き出し

このタイプのメッセージオブジェクトはスライドの特定の部分を指示するのに便利です。文字を表示することができます。

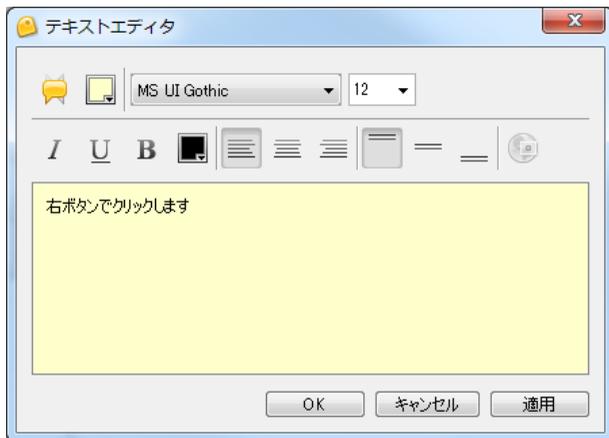


吹き出しの挿入

オブジェクトツールバーの  「吹き出しの挿入」アイコンをクリックします。

配置する場所をクリックします。

エディターが起動するので、テキストを入力します。

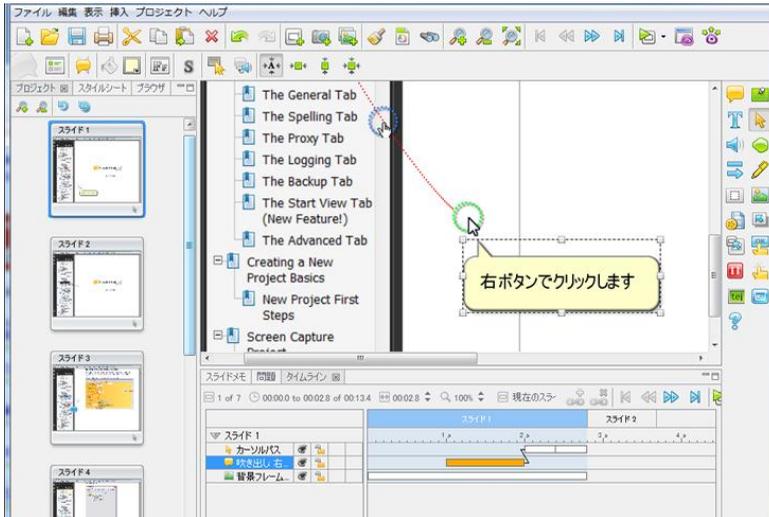


吹き出しの背景色、フォント、サイズ、行揃え、配置位置も設定できます。

完了したら、[OK]をクリックします。

ヒント▶ 基本設定[一般/テキストの編集]項目で[テキストエディタを使用する]とした場合は上記のとおりですが、[直接編集する]を選択すると、スライドに空白の吹き出しが表示されて、テキストを直接入力する手順になります。

吹き出しが表示されます。



ポイント▶ タイムラインを見ると、吹き出しはカーソルの動く前に、スライド表示後 1 秒後に自動的に表示されます。また背景フレームより上のレイヤ、カーソルレイヤの直下になります。

テキストの編集

。移動

メッセージオブジェクトを選択します。

カーソルをあてると手の形状になります。ドラッグ・アンド・ドロップで移動します。

メッセージオブジェクトの削除

メッセージオブジェクトを選択します。

キーボードの [Delete] キーを押します。

ポイント▶ 他の方：ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。あるいは、オブジェクトの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。

プロパティの変更

メッセージオブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [メッセージのプロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方：メッセージオブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [メッセージのプロパティ...] を選択します。

[メッセージのプロパティ] パネルが表示されます。



[名前] 欄：オブジェクトの名前です。

ヒント▶ 複数のオブジェクトを配置するときはわかりやすい名前をつけておくと便利です。

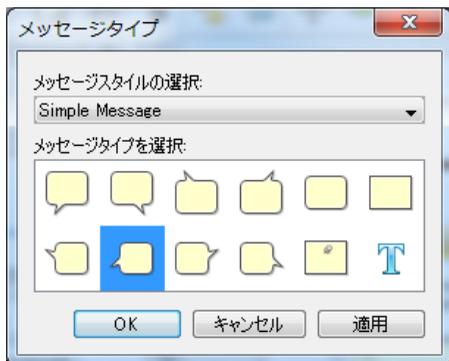
[ロケーションとサイズ] 欄：数値で配置位置を指定できます。

[スタイル] 欄：スタイルシートからスタイルを選択できます。

[タイミング] 欄：表示時間を設定します。詳しくは、メッセージオブジェクトのタイミングを御覧ください

メッセージタイプの変更

メッセージは形状を変更することができます。



メッセージオブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [メッセージタイプ...] アイコンをクリックします。

ポイント ▶ 他の方法：メッセージオブジェクトの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [メッセージタイプ...] を選択します。

[メッセージタイプ] パネルが表示されます。（上図参照）

[メッセージスタイルの選択:] のドロップダウンリストからスタイルを選択します。

[メッセージタイプを選択:] 欄でタイプを選択します。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて形状が適用されます。

スタイルシートのメッセージオブジェクトへの適用

スタイルシートを利用してメッセージオブジェクトのスタイルを簡単に変更することができます。

メッセージオブジェクトを選択します。

「[スライドへの反映](#)」の項をご参照ください。

スタイルシートに登録されている内容がオブジェクトに反映されます。

背景色の変更

吹き出しを選択します。

連動ツールバーの  [背景色] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方：吹き出しの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [背景色...] を選択します。

[背景色] パネルが表示されます。

パレットから任意の色を選択します。

[OK] ボタンをクリックすると吹き出しの背景色に変更されてパネルが閉じます。

テキストの編集

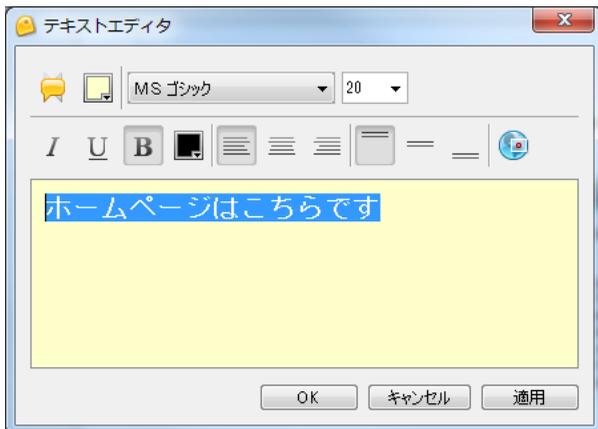
吹き出しをクリックするとメニューバーに編集メニューが表示されます。 [テキストエディターで開く.] ボタンをクリックしてエディターを開きます。



ヒント▶ 右ボタンのショートカットメニューで、フォント、文字色、サイズ、ハイパーリンクなどを指示することができます。

他の方：吹き出しをダブルクリックするとテキストエディターが起動します。

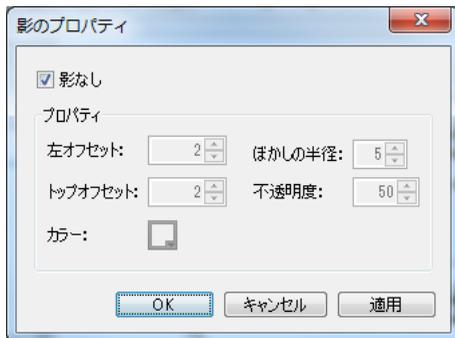
吹き出しの上で右ボタンをクリックし [テキストエディターで開く.] を選択、または [テキストを編集する] をクリックします。カーソルが点滅したら文字を入力します



影をつける



吹き出しを選択後[影のプロパティ]をクリックします。



[影なし]チェックボックスのチェックを外すと吹き出しの輪郭に影が付きます。

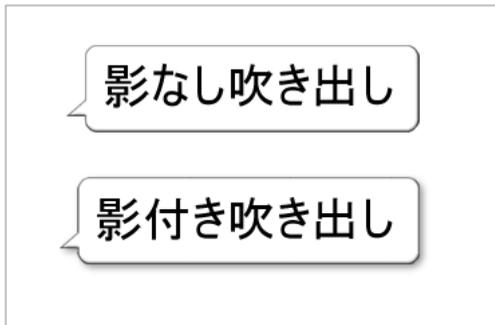


オフセット：影の方向を設定します。

ぼかしの半径：影の大きさを設定します。

不透明度：影の濃さを設定します。

影のサンプル



ロールオーバー領域



ムービーの任意の範囲を指定してカーソルが上に来た時だけメッセージを表示する、というインタラクティブな設定を行う機能です。

ロールオーバーの手順

- 1) 吹き出し オブジェクトを選択します。
- 2) [ロールオーバー領域の作成]をクリック、スライド内に範囲を指定します。
- 3) そのまま イベントアイコンをクリックします。

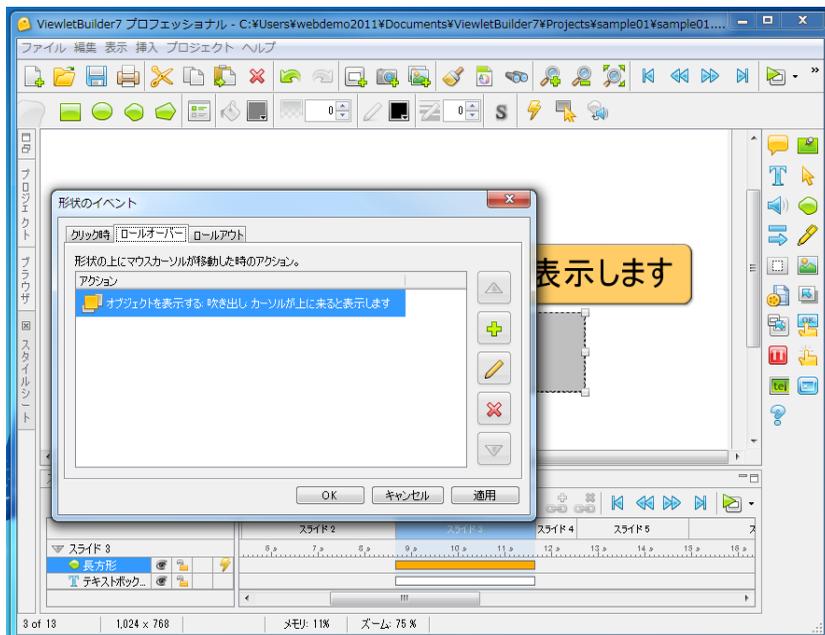
[ロールオーバー] (形状が上に来たときのアクション)

= オブジェクトを表示

[ロールアウト] (形状の上からカーソルが離れた時のアクション)

= オブジェクト非表示

を確認しイベントを設定します。



ポイント ▶ イベントとアクションの項目を御覧ください。

吹き出しにサウンドを設定する。

吹き出しの場合は、 [吹き出しにサウンドを挿入する...] 連動ツールバーのアイコンをクリックします。

ヒント▶ オブジェクトの種類別にアイコンが準備されており、 [メモにサウンドを挿入する...]、 [テキストボックスにサウンドを挿入する...]、 [形状にサウンドを挿入する...] が選択されているオブジェクトに応じて表示されています。

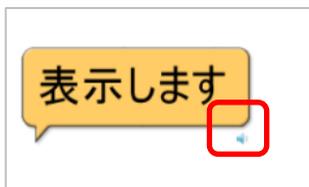
[サウンド] パネルが表示されます。



[サウンドファイル...] フォルダアイコンをクリックして既存のサウンドファイルを選択します。もしくはマイクアイコンから音声を録音します。

[OK] ボタンをクリックします。

オブジェクトの右下にサウンドのマークが表示されます。（コンパイル後の Viewlet では表示されません）



ポイント▶ サウンドの項目を御覧ください。

オブジェクトの位置 サイズ合わせ

 テキストサイズフィット機能

メッセージ型オブジェクトを、テキストの量やサイズによって自動的に大きさを調整してくれます。



表示します

このような吹き出しの大きさを自動調整します。



表示します

 センタリング機能

スライド内で水平、垂直、中心に配置します。

メモ

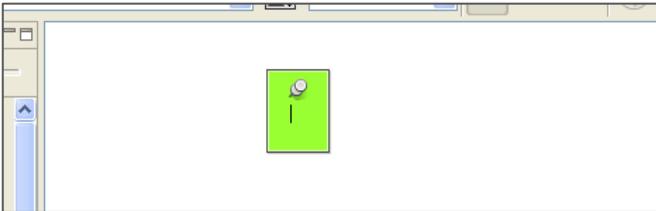
閲覧者に内容を説明する場合や解説などに表示すると便利です。



メモの挿入

オブジェクトツールバーの  [メモの挿入] アイコンをクリックします。

メモが表示されます。

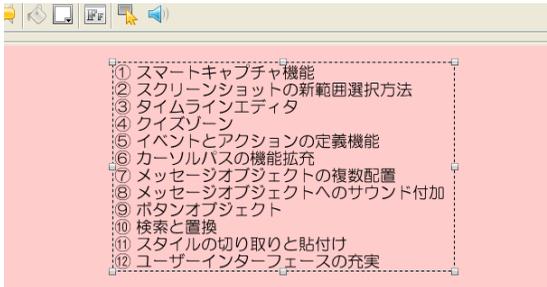


メモ 編集方法は 吹き出しの編集方法と同じです。



テキストボックス

スライド上に文字列を表示するためのオブジェクトです。スライドに対して直接文字を書き込んだような効果のオブジェクトです。



テキストボックスの挿入

オブジェクトツールバーの  [テキストボックスの挿入] アイコンをクリックします。

配置する場所をクリックします。

テキストボックスが表示されます。

テキストボックスの編集

[吹き出し、メモのテキスト入力](#)方法と同様の手順で行いません。



メッセージオブジェクトのタイミング

オブジェクトはそのスライドに表示させる時間を指示することができます。これをタイミングと呼びます。プロパティを設定する方法と [タイムライン] タブ上で設定する方法があります。

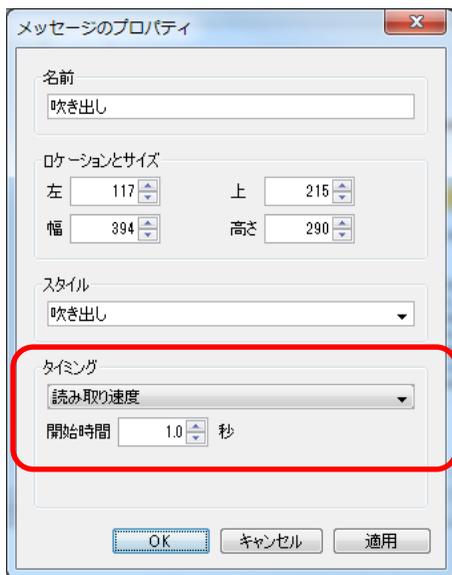
プロパティからの調整

メッセージオブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [メッセージのプロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント ▶ 他の方：メッセージオブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [メッセージのプロパティ...] を選択します。

[メッセージのプロパティ] パネルが表示されます。



[タイミング] 欄でドロップダウンリストからオプションを選択します。

[\[タイミング手動設定\]](#)

[\[スライドの最後まで\]](#)

[\[読み取り速度\]](#)

設定を終えたら [OK] ボタンをクリックします。

[タイミング手動設定]

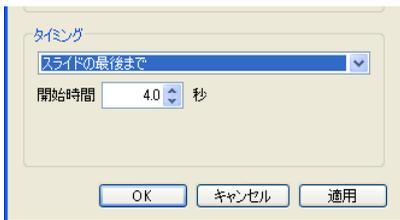
オブジェクトの表示時間を制作者が指示します。



スライド上にオブジェクトを表示する [開始時間] と [表示時間] 秒数をキーボードから入力するかあるいは、スピンドタンで変更します。

ヒント▶ スライドが表示されてからそのオブジェクトが表示されるまでの秒差を [開始時間] とします。

[スライドの最後まで]



スライド上にオブジェクトを表示し始める [開始時間] を指示します。オブジェクトは次のスライドに移行するまでの間表示され続けます。

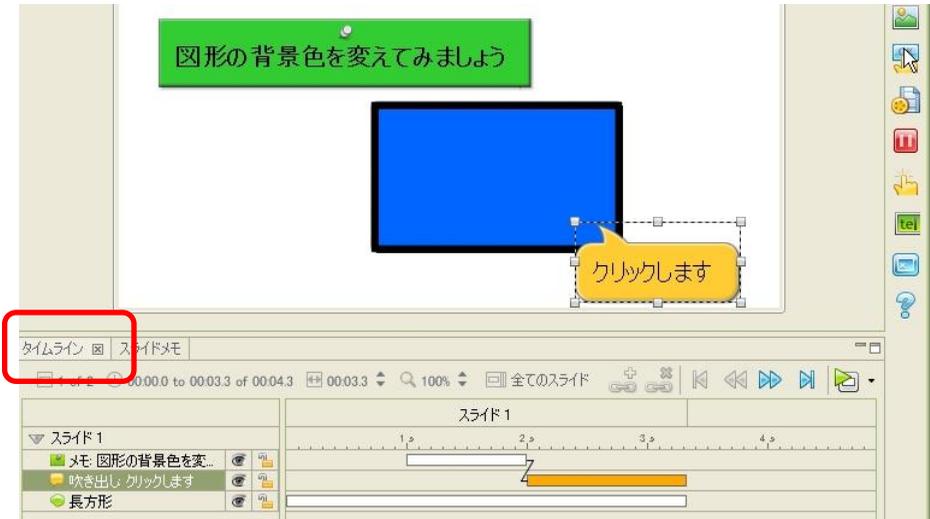
[読み取り速度]



スライド上にオブジェクトを表示し始める [開始時間] を指示します。メッセージオブジェクトに含まれる文字の量に応じて自動的に表示時間が設定されます。

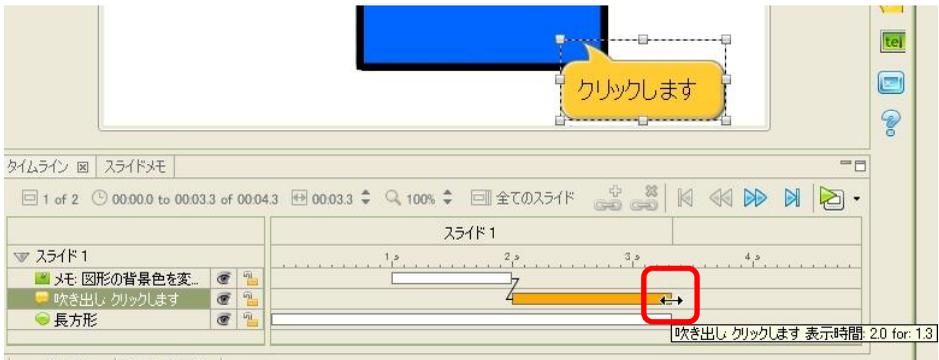
[タイムライン]タブ内での調整

スライドビュー下の [タイムライン] タブのタブ名をクリックして最前面に表示します。



オレンジ色の長方形は選択されているオブジェクトの表示時間を示しています。

ドラッグ・アンド・ドロップで移動してタイミングを変更したり、長方形の長さを調節することで表示時間を変更したりすることができます。



カーソルの挿入

ビューレットビルダーでは、キャプチャすると同時にカーソルの軌跡はスライドに取り込まれます。カーソルの動きにしたがって色分けされています。

これらは、編集可能です。



カーソルの挿入

カーソルの取り込まれていないスライドに新たにカーソルを挿入するには、オブジェクトツールバーの  [カーソルの挿入] アイコンをクリックします。

注意 ▶ カーソルパスが配置されているスライドで [カーソルの挿入] アイコンをクリックすると、既存のカーソルが削除されます。

緑色の円



そのスライドでのカーソルの最初の位置を示しています。

ドラッグ・アンド・ドロップで移動することができます。移動すると前のスライドのカーソルの最終地点（赤色の円）が一致するように自動的に変更されます。

赤色の円



そのスライドでのカーソルの移動先を示しています。

ドラッグ・アンド・ドロップで移動することができます。移動すると次のスライドでのカーソルの開始位置（緑色の円）が一致するように自動的に変更されます。

カーソルのパス(軌跡)

円と円のための点線はカーソルの軌跡を示しています。



パス形状の変更

カーソルのパスは直線または曲線の2種類から選択することができます。

カーソルを選択します。

連動ツールバーの  [カーソルパスを直線にする] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方：カーソルの円の位置で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [カーソルパスを直線にする] あるいは [カーソルパスを曲線にする] を選択します。

ヒント▶ プロジェクト全体のカーソルのパスを一括して変更するには [カーソルパスを直線にする-全てのスライド] あるいは [カーソルパスを曲線にする-全てのスライド] を選択します。

青色の円

緑色と赤色の円のためのカーソルの軌跡上において、カーソル形状が変化する位置を示しています。

ドラッグ・アンド・ドロップで移動することができます。



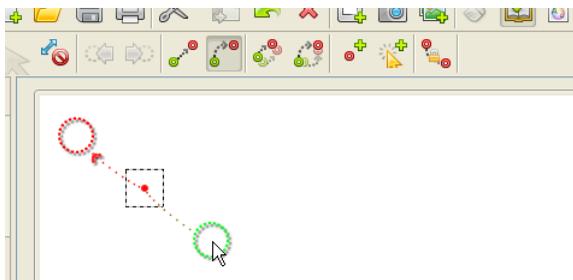
ポイントの追加

カーソルがポイントする位置を追加することができます。

追加する位置の直前のカーソルあるいはカーソルポイントを選択します。

連動ツールバーの  [カーソルパスのポイントを追加] アイコンをクリックします。

次のような赤色のポイントが挿入されます。



ポイント▶他の方法：選択したカーソルあるいはポイントの位置で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [カーソルパスのポイントを追加] を選択します。

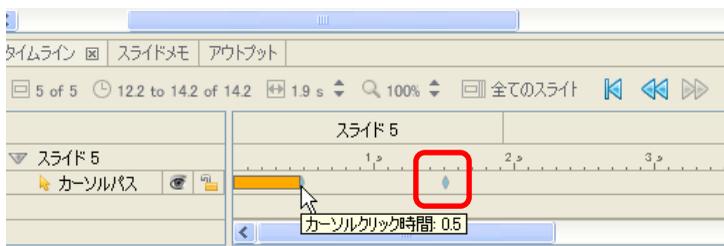
クリックの追加

クリックの動作を追加することができます。

連動ツールバーの  [カーソルパスにクリックを追加] アイコンをクリックします。

タイムラインのカーソルパスのレイヤに、クリックのマークが挿入されます。

クリック音も追加されます。



その他のオブジェクトと同様に移動などの編集を行なうことができます。

カーソルポイントの削除

カーソルのパス上のポイントを削除するには、ポイントを選択して右ボタンのショートカットメニューから [削除] を選択します。

ポイント ▶ 他の方法：ポイントを選択してボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。あるいは、ポイントを選択してキーボードの [Delete] キーを押します。

クリックの削除

タイムライン上にあるクリックのマークの位置で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。

カーソルパスの削除

オブジェクトツールバーの  [カーソルの挿入] アイコンをクリックしてオフにします。カーソルが軌跡とともに削除されます。

カーソルスタイル

ビューレットビルダー7には標準的なカーソル形状がライブラリとして準備されています。ライブラリを参照して簡単にカーソルの形状を変更することができます。

カーソル形状の変更

カーソルを選択します。

連動ツールバーの  [カーソルスタイル...] をクリックします。

ポイント ▶ 他の方：カーソル上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [カーソルスタイル...] を選択します。

[カーソルスタイル] パネルが表示されます。



[カーソルのスタイルを選択] 欄で形状を選択します。

[OK] ボタンをクリックすると、カーソルが変更されてパネルが閉じます。

新しいカーソルスタイルの追加

キャプチャの際に取り込まれた（ライブラリに未登録の）新しいカーソルを保存することができます。

未登録のカーソルを選択します。

連動ツールバーの  [カーソルスタイル...] をクリックします。

ポイント ▶ 他の方：未登録のカーソル上で右ボタンのショートカットメニューから [カーソルスタイル...] を選択します。

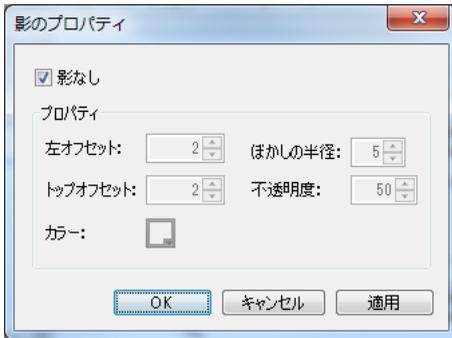
[カーソルスタイル] パネルが表示され、自動的に新しいカーソルが登録されます。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じます。

影をつける



カーソルを選択後[影のプロパティ]をクリックします。



[影なし]チェックボックスのチェックを外すとカーソルの輪郭に影が付きます。



オフセット：影の方向を設定します。

ぼかしの半径：影の大きさを設定します。

不透明度：影の濃さを設定します。

サウンド

ビューレットビルダー7ではスライドやオブジェクトにサウンドを加えることができます。

スライドのサウンド

サムネイルビューからスライドを選択します。

連動ツールバーの  [スライドにサウンドを挿入する...] アイコンをクリックします。

[サウンド] パネルが表示されます。



[サウンドファイル...] フォルダアイコンをクリックして既存のサウンドファイルを選択します。

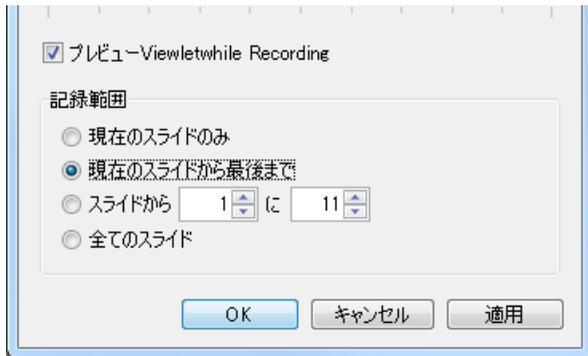
ヒント▶ サポートされているサウンドデータのファイル形式は、MP3、RAW、AIF、WAV および AU になります。

[OK] ボタンをクリックします。

赤色の円 [録音] ボタンをクリックすると録音が始まります。

記録範囲

プレビュー ViewletWhile Recording のチェックボックスにチェックを入れると音声録音を行う範囲を変更することができます。



[現在のスライドから最後まで]～「全てのスライド」では、複数のスライドで録音が可能です。

ポイント▶ この場合、音声ファイルは選択できません。音声のタイミングはスライドのタイミングに依存しますので、予めスライドの長さを調整しておきます。

サウンドが挿入されると、サムネイルの下部にサウンドマークが表示されます。



オブジェクトのサウンド

ビューレットビルダー7では、メッセージや形状のオブジェクトごとにサウンドファイルを定義することができます。表示と同時に再生させることができます。

サウンドの挿入

スライドに配置されているオブジェクトを選択します。

吹き出しの場合は、 [吹き出しにサウンドを挿入する...] 連動ツールバーのアイコンをクリックします。

ヒント▶ オブジェクトの種類別にアイコンが準備されており、 [メモにサウンドを挿入する...]、 [テキストボックスにサウンドを挿入する...]、 [形状にサウンドを挿入する...] が選択されているオブジェクトに応じて表示されています。

[サウンド] パネルが表示されます。



[サウンドファイル...] フォルダアイコンをクリックして既存のサウンドファイルを選択します。

[OK] ボタンをクリックします。

オブジェクトの右下にサウンドのマークが表示されます。（コンパイル後の Viewlet では表示されません）



サウンドの録音

ビューレットビルダー7では音声の録音が可能です。MP3形式を使用しています。

注意▶録音にはサウンドカードが必要です。

サムネイルビューからスライドまたは、スライドビューからオブジェクトをクリックして選択します。

[サウンド] パネルを表示します。(下図はオブジェクトの [サウンド] パネルです)

ヒント▶スライドの [サウンド] パネルの表示方法は、「[スライドのサウンド](#)」の項を、オブジェクトの [サウンド] パネルの表示方法は、「[オブジェクトのサウンド](#)」の項をご参照ください。

赤色の円 [録音] ボタンをクリックします。



カウントダウンが始まります。

ヒント▶カウントダウンの秒数設定については、「[ビューレットビルダー7の基本設定](#)」の項をご参照ください。



カウントダウンに続いてマイクを通して音声を入力します。



録音を終了するには赤色の四角形〔停止〕ボタンをクリックします。

〔OK〕ボタンをクリックします。

サウンドファイルの再生

サウンドを含むスライドまたは、オブジェクトを選択します。

〔サウンド〕パネルを表示します。（下図はスライドの〔サウンド〕パネルです）

ヒント ▶ スライドの〔サウンド〕パネルの表示方法は、「[スライドのサウンド](#)」の項を、オブジェクトの〔サウンド〕パネルの表示方法は、「[オブジェクトのサウンド](#)」の項をご参照ください。



緑色の矢印〔再生〕ボタンをクリックします。

サウンドファイルの削除

削除したいサウンドを含むスライドまたは、オブジェクトを選択します。

[サウンド] パネルを表示します。(下図はスライドの [サウンド] パネルです)

ヒント▶ スライドの [サウンド] パネルの表示方法は、「[スライドのサウンド](#)」の項を、オブジェクトの [サウンド] パネルの表示方法は、「[オブジェクトのサウンド](#)」の項をご参照ください。



赤色の× [サウンドを削除] アイコンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックします。

サウンドのエクスポート

サウンドをプロジェクト外にファイルとして出力することができます。

メニューバーから [ファイル] → [エクスポート] → [サウンド...] を選択します。

[サウンドのエクスポート] パネルが表示されます。



サウンドを含むスライドを指示するため [スライド] 欄でオプションを選択します。

[エクスポート] ボタンをクリックします。

保存先を指示します。**ヒント**▶ サウンドのエクスポートは、MP3、RAW、AIF、WAV、AU 形式がサポートされています。

画像オブジェクト

スライド上にイメージを複数配置させることができます。ビューレットビルダー7では、JPEG、GIF、TIFF、JPG、TIF、PNG および BMP の画像ファイル形式がサポートされています。これらにはイベントを定義することもできます。

画像の挿入

オブジェクトツールバーの  [画像の挿入] アイコンをクリックします。

[画像の挿入] パネルが表示されます。

ブラウザで画像ファイルを選択します。

[開く] ボタンをクリックするとスライドの中心に画像オブジェクトが表示されます。

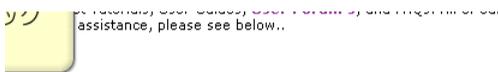
画像の編集

ポイント ▶ [画像のプロパティ] パネルで数値を変更する方法もあります。

画像の移動

スライド上の画像オブジェクトをクリックして選択します。

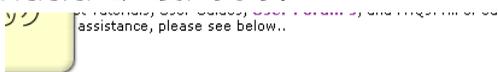
ドラッグ・アンド・ドロップで画像を移動します。このときカーソルは手の形に変わります。



サイズの変更

スライド上の画像オブジェクトをクリックして選択します。

ハンドルをドラッグ・アンド・ドロップして画像の大きさを変えます。このときカーソルは両方向矢印に変わります。



画像の透過率

スライド上の画像オブジェクトをクリックして選択します。

連動ツールバーの「不透明度 (%)」欄に値を入力します。スピンボタンで変更することもできます。



画像の重ね順

スライド上の画像オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューの「重ね順」から移動させたい場所へのコマンドを選択します。

画像の削除

スライド上の画像オブジェクトをクリックして選択します。

キーボードの「[Delete]」キーを押します。

ポイント▶ 他方法：右ボタンをクリックしてショートカットメニューから「削除」を選択します。あるいは、ボタンコマンドツールバーの  「削除」アイコンをクリックします。

影をつける



吹き出しを選択後「影のプロパティ」をクリックします。

[影なし]チェックボックスのチェックを外すと吹き出しの輪郭に影が付きます。

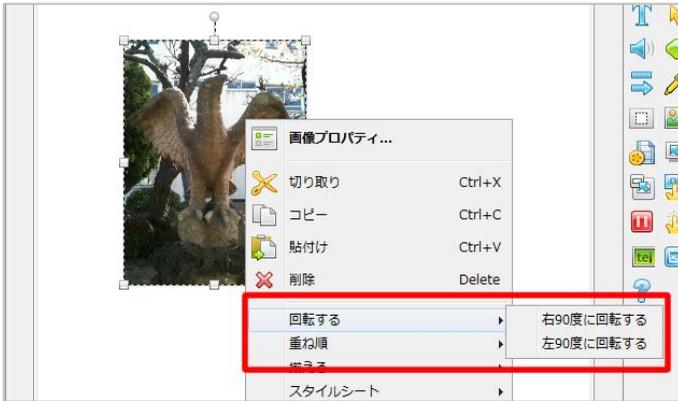
オフセット：影の方向を設定します。

ぼかしの半径：影の大きさを設定します。

不透明度：影の濃さを設定します。

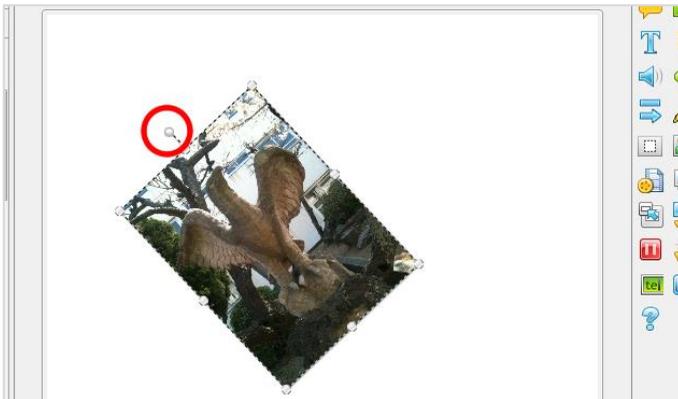
画像の回転

スライド上の画像オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューの「回転する」からコマンドを選択します。



画像を任意に回転させる

オブジェクトの基準点をドラッグして、任意に図形を回転できます。



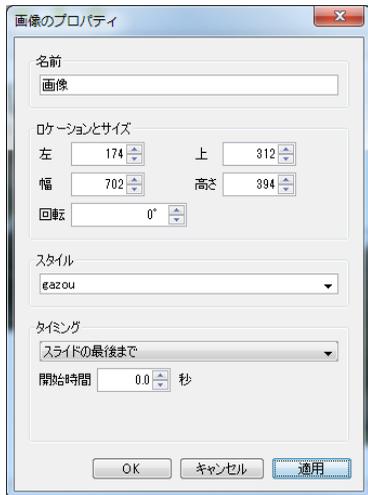
プロパティ

スライド上の画像オブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [画像プロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方：スライド上の画像オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [画像プロパティ...] を選択します。

[画像のプロパティ] パネルが表示されます。



[名前] : 画像オブジェクトの名前です。

[ロケーションとサイズ] : 位置と大きさを数値で指示することができます。

[回転] : 画像の回転角度を入力し、画像を回転できます。

[スタイル] : 画像用にスタイルを設定できます。(影のみ適応)

[タイミング] : 「[画像オブジェクトのタイミング](#)」の項をご参照ください。

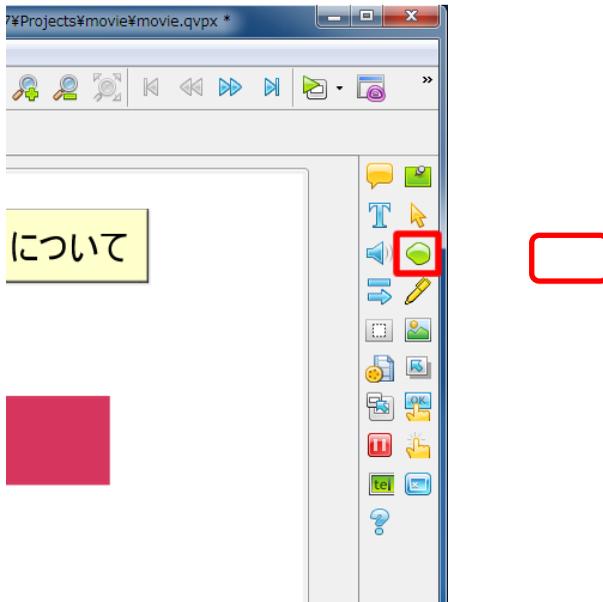
[OK] ボタンをクリックすると適用されてパネルが閉じます。

ヒント▶ 「イベントとアクション」の項をご参照ください。

形状オブジェクト

長方形、楕円形、多角形などを作成してオブジェクトとしてスライド上に配置することができます。これらにはイベントを定義することもできます。

オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。



連動ツールバーに下図のようなアイコンが表示されます。



形状オブジェクトの作成ツールには、

[[長方形ツール](#)]

[[楕円ツール](#)]

[[フリーハンドツール](#)]

[[多角形ツール](#)]

があります。

長方形ツール

正方形・長方形のオブジェクトを作成します。

オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。

続いて連動ツールバーの  [長方形ツール] アイコンをクリックします。



十字カーソルを対角にドラッグ・アンド・ドロップして長方形を作成します。



ヒント▶ キーボードの [Shift] キーを押しながらドラッグ・アンド・ドロップすると正方形を作成します。

楕円ツール

円形・楕円形のオブジェクトを作成します。

オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。

続いて連動ツールバーの  [楕円ツール] アイコンをクリックします。

十字カーソルをドラッグ・アンド・ドロップして楕円形を作成します。



ヒント▶ キーボードの [Shift] キーを押しながらドラッグ・アンド・ドロップすると円を作成します。

フリーハンドツール

不規則な形状のオブジェクトを作成します。

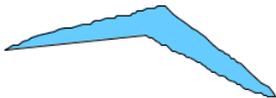
オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。

続いて連動ツールバーの  [フリーハンドツール] アイコンをクリックします。

投げ縄カーソルをドラッグして自由な形状を作成します。



カーソルをドロップした場所から始点へつながれて閉じた形状が作成されます。



多角形ツール

オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。

続いて連動ツールバーの  [多角形ツール] アイコンをクリックします。

投げ縄カーソルでスライド上をクリックします。



クリックした箇所に頂点が作られます。

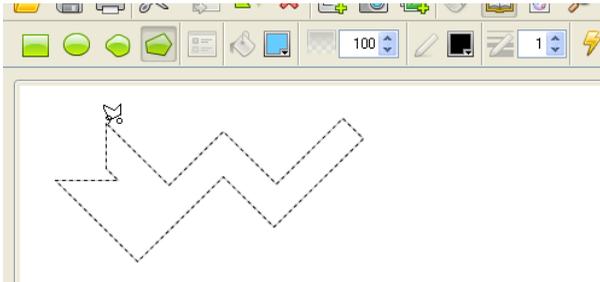
続けて頂点となる箇所をクリックしていきます。

ヒント▶ キーボードの [Shift] キーを押しながらクリックすると 45° で線を置きます。

多角形の閉じ方

始点の位置にカーソルを置くと、投げ縄カーソルの右下に [。] が表示されます。

ここでクリックすると多角形が閉じられます。



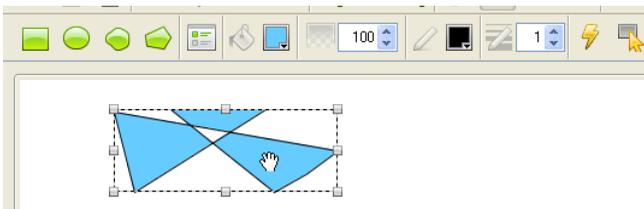
ポイント ▶ 他の方法：ダブルクリックするとその箇所から始点へとつながれて閉じた多角形が作成されます。または、キーボードの [Enter] キーを押すとその箇所から始点へとつながれて閉じた多角形が作成されます。

形状の編集

移動

スライド上の形状オブジェクトをクリックして選択します。

ドラッグ・アンド・ドロップで形状を移動します。このときカーソルは手の形に変わります。

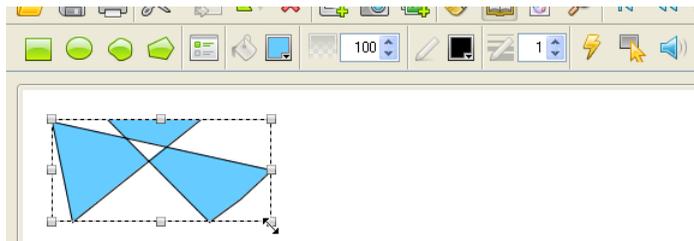


ポイント ▶ [\[形状のプロパティ\]](#) パネルで数値を変更する方法もあります。

サイズの変更

スライド上の形状オブジェクトをクリックして選択します。

ハンドルをドラッグ・アンド・ドロップして形状の大きさを変えます。このときカーソルは両方向矢印に変化しています。



ヒント▶ キーボードの [Shift] キーを押しながらドラッグ・アンド・ドロップすると幅：高さの比率を固定したまま大きさを変えることができます。

形状の重ね順

スライド上の形状オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューの [重ね順] から移動させたい場所へのコマンドを選択します。

形状の削除

スライド上の形状オブジェクトをクリックして選択します。

キーボードの [Delete] キーを押します。

ポイント▶ 他の方：右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。あるいは、ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。

影をつける



吹き出しを選択後[影のプロパティ]をクリックします。

[影なし]チェックボックスのチェックを外すと吹き出しの輪郭に影が付きます。

オフセット：影の方向を設定します。

ぼかしの半径：影の大きさを設定します。

不透明度：影の濃さを設定します。

回転

スライド上のオブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューの「回転する」からコマンドを選択します。

画像を任意に回転させる

オブジェクトの基準点をドラッグして、任意に図形を回転できます。

形状 プロパティ

スライド上の形状オブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  「形状のプロパティ...」アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方：スライド上の形状オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから「形状のプロパティ...」を選択します。

「形状のプロパティ」パネルが表示されます。



【名前】：形状オブジェクトの名前です。

【ロケーションとサイズ】：位置と大きさを数値で指示することができます。

【回転】：オブジェクトの回転角を入力し、回転できます。

【タイミング】：「[形状オブジェクトのタイミング](#)」の項をご参照ください。

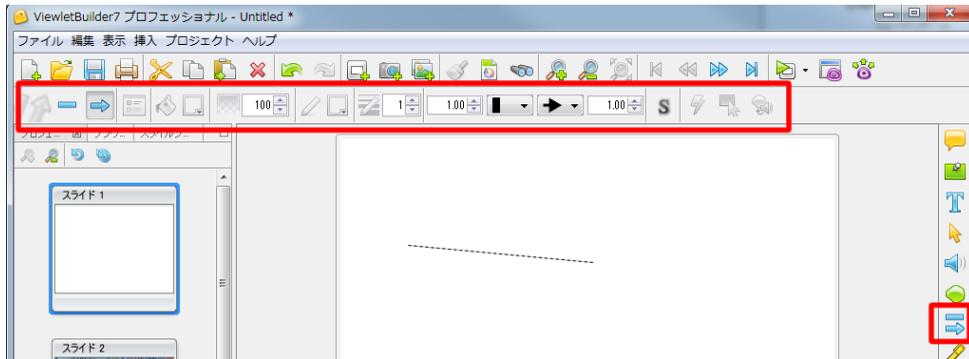
【OK】 ボタンをクリックすると適用されてパネルが閉じます。

矢印ツール

スライドに矢印をオブジェクトとして作成配置することができます。

矢印には、音声、イベントを入れることもできます。

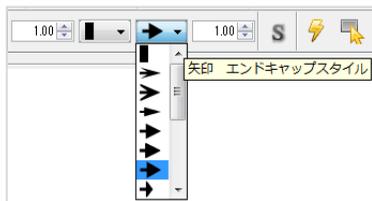
オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/ライン・矢印]をクリックします。



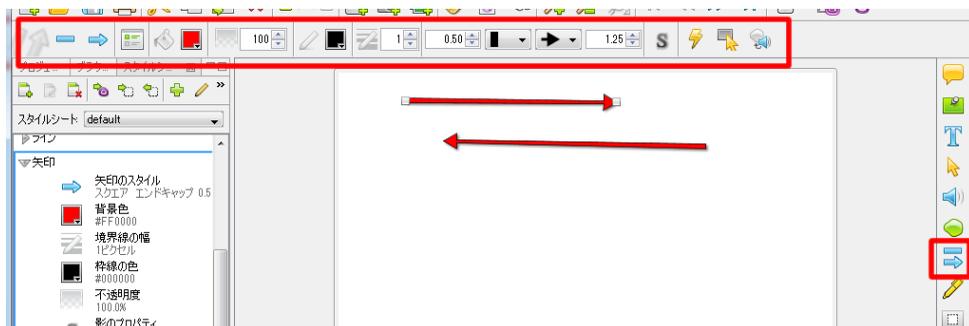
連動ツールバーから[矢印]を選択しスライドにドラッグ&ドロップしてみます。

始点、終点とも形状を編集できます。また、線の太さ、色 形状などを設定します。

矢印の形状はドロップダウンメニューから選択します。



矢印のスタイルはスタイルシートに記録することができます。

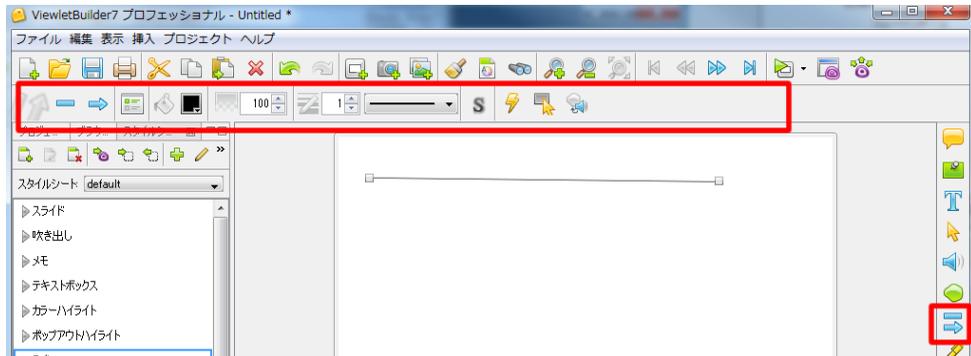


ラインツール

スライドに矢印をオブジェクトとして作成配置することができます。

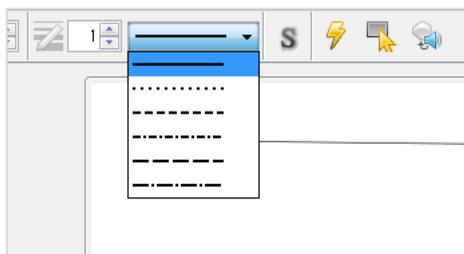
矢印には、音声、イベントを入れることもできます。

オブジェクトツールバーの  [形状の挿入] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/ライン・矢印]をクリックします。



連動ツールバーから[矢印]を選択しスライドにドラッグ&ドロップしてみます。

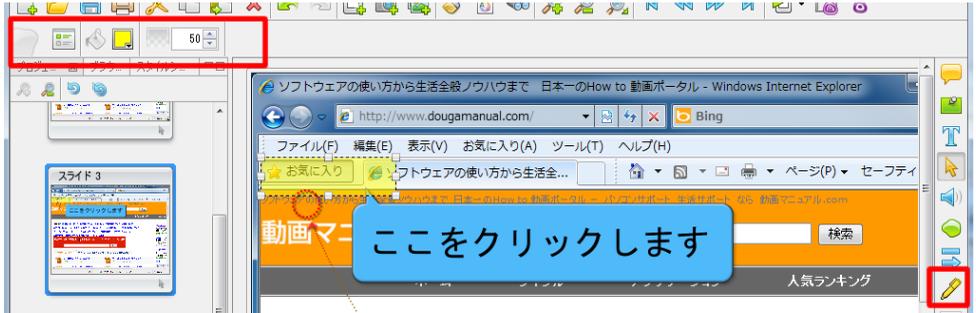
線の太さ、色、線種を設定します。



ラインのスタイルはスタイルシートに記録することができます。

カラーハイライト

スライド内の重要箇所に蛍光ペンで線を引いて目立たせるようなツールが[カラーハイライト]です。オブジェクトツールバーの [カラーハイライト] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/カラーハイライト]をクリックします。



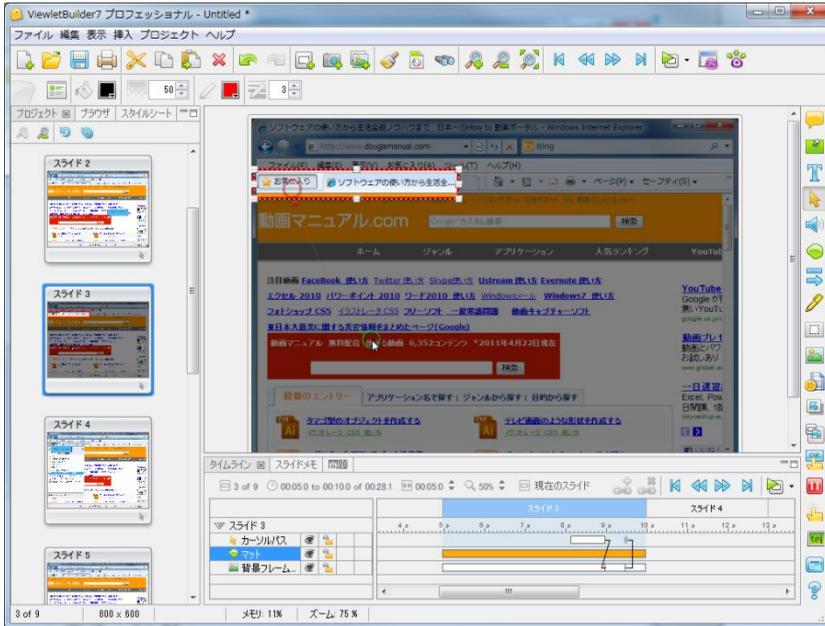
カラーハイライトの色、不透明度を設定します。

スタイルシートにスタイルを保存しておくことができます。

マット

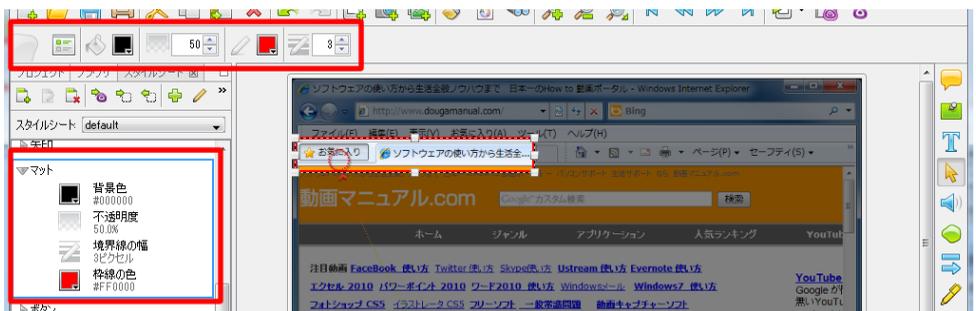
スライド内の重要箇所を目立たせるために、他の部分を暗く隠すように見せる手法です。

オブジェクトツールバーの  [マット] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/マット]をクリックします。



暗部の色と不透明度、枠の色 太さなどを設定できます。

設定した値はスタイルシートに保存できます。



オブジェクトのタイミング

オブジェクトをスライドに表示させるタイミングと時間を調整します。プロパティを設定する方法と [タイムライン] タブ上で設定する方法があります。

プロパティからの調整

画像オブジェクトのタイミング

スライド上の画像オブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [画像プロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方法：スライド上の画像オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [画像プロパティ...] を選択します。

[画像のプロパティ] パネルが表示されます。

詳細は次ページをご参照ください。

形状オブジェクトのタイミング

スライド上の形状オブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [形状のプロパティ...] アイコンをクリックします。

ポイント▶ 他の方法：スライド上の形状オブジェクトを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [形状のプロパティ...] を選択します。

[形状のプロパティ] パネルが表示されます。

詳細は次ページをご参照ください。

[タイミング] 欄でドロップダウンリストからオプションを選択します。

[タイミング手動設定]

オブジェクトの表示時間を制作者が指示します。



スライド上にオブジェクトを表示する [開始時間] と [表示時間] の秒数をキーボードから入力するかあるいは、スピンプタンで変更します。

ヒント▶ スライドが表示されてからそのオブジェクトが表示されるまでの秒差を [開始時間] とします。

[スライドの最後まで]

スライド上にオブジェクトを表示し始める [開始時間] を指示します。オブジェクトは次のスライドに移行するまでの間、表示され続けます。



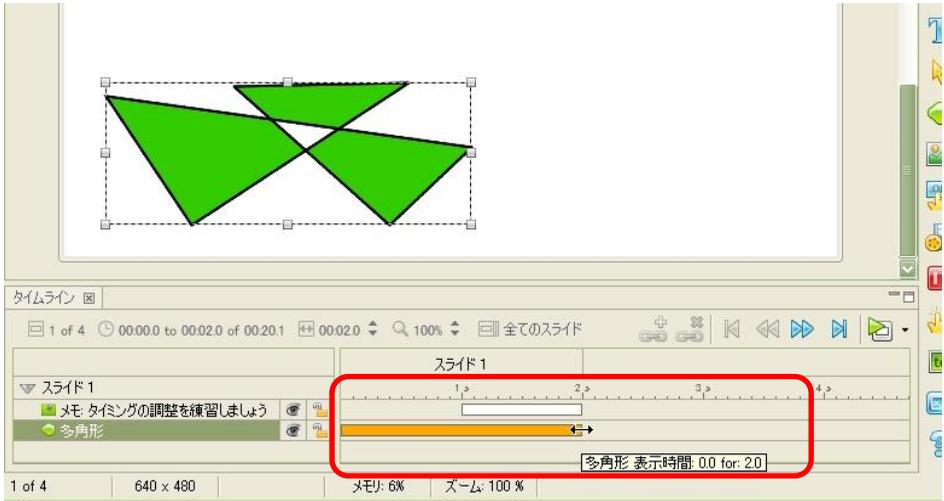
[タイムライン]タブ内での調整

スライドビュー下の [タイムライン] タブをクリックして最前面に表示します。

スライド上のオブジェクトを選択します。

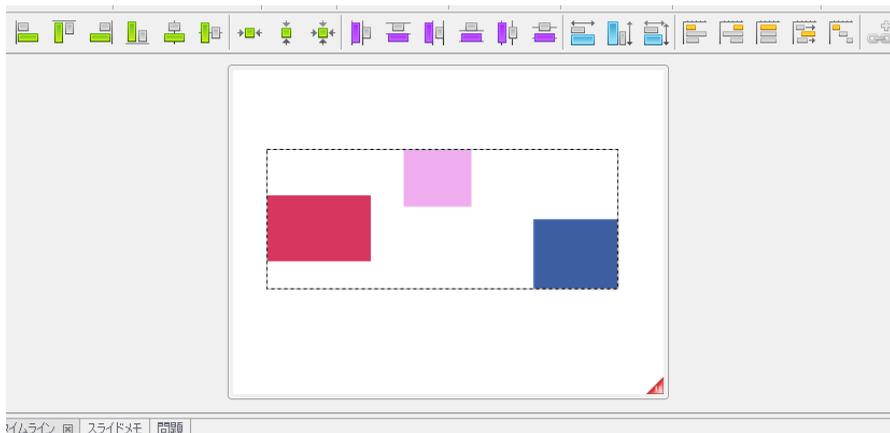
オレンジ色の長方形は選択されているオブジェクトの表示時間を示しています。

ドラッグ・アンド・ドロップで移動してタイミングを変更したり、長方形の長さを調節することで表示時間を変更したりすることができます。

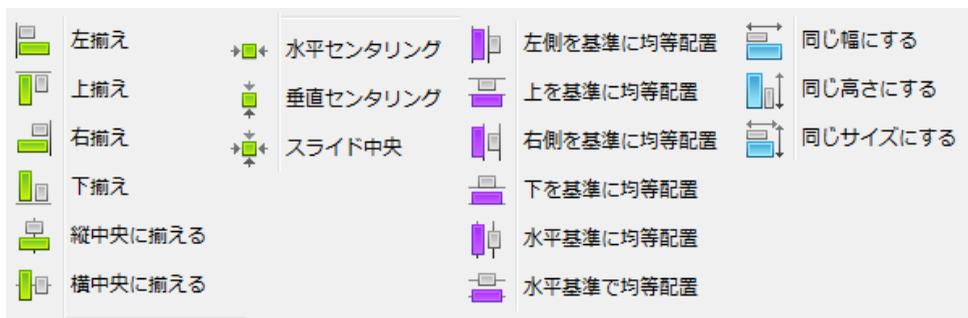


複数オブジェクトの調整

スライド上のオブジェクトのひとつをクリックして選択します。続けて [Ctrl] キーを押しながら他のオブジェクトをクリックして選択に追加します。



ポイント ▶ 他の方：オブジェクトの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [タイミング] を選択してオプションを選択します。



タイミング調整

- [同じ開始時間] : 選択されたオブジェクトを同時にスライド上に表示させます。
- [同じ終了時間] : 選択されたオブジェクトをスライド上から同時に非表示にします。
- [同じ開始 終了時間] : 同時に表示し同時に非表示にします。
- [スライド終了まで表示する] : スライドの終わりまで表示させます。
- [シークエンス時間] : 選択した順番でひとつずつ表示・非表示していきます。

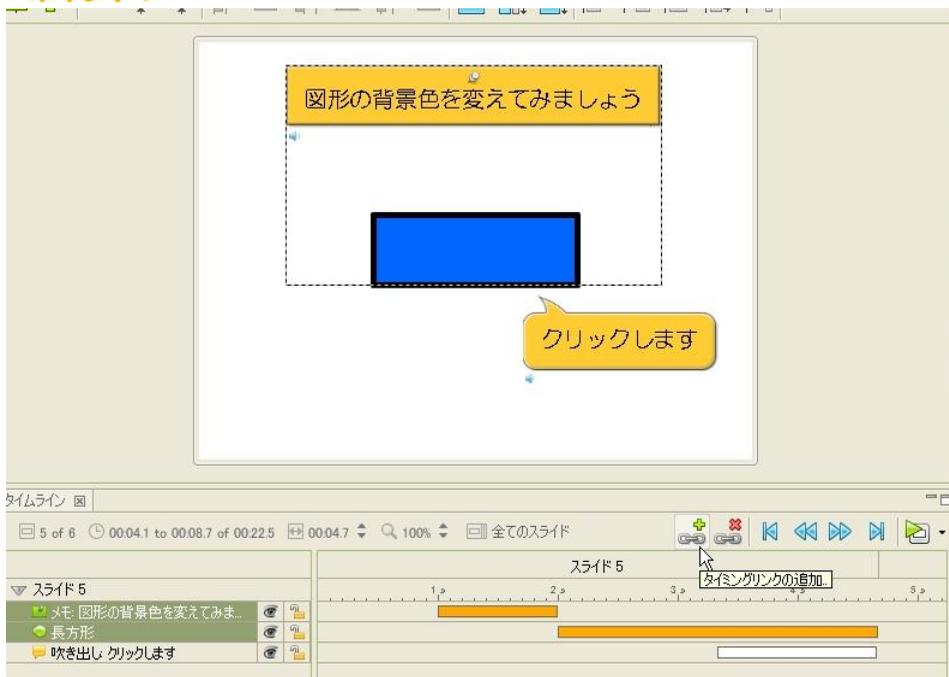
タイミングリンク

オブジェクトの表示のタイミングを相互関係で定義しておくことができます。タイムライン上の異なる2つのオブジェクトが連結されることによって、一方が変更された場合に、その関係性を維持したまま他方の要素が更新されます。

タイミングリンクの追加

スライド上の2つのオブジェクトを選択します。

ポイント ▶ このときの選択順序は重要です。注意してください。



タイムラインの右側にある、 [タイミングリンクの追加...] アイコンをクリックします。
[タイミングリンク] パネルが表示されます。

[リンクタイプ:]フィールド

タイミングリンクの方法には次の4種類があります。



タイミングリンクのタイプを選択します。

 [エンドからスタートへ] : はじめに選択されたオブジェクトの動作終了後に続けて2番目に選択されたオブジェクトを動作します。

 [スタートからエンドへ] : 2番目に選択されたオブジェクトの動作終了後に続けてはじめに選択されたオブジェクトを動作します。

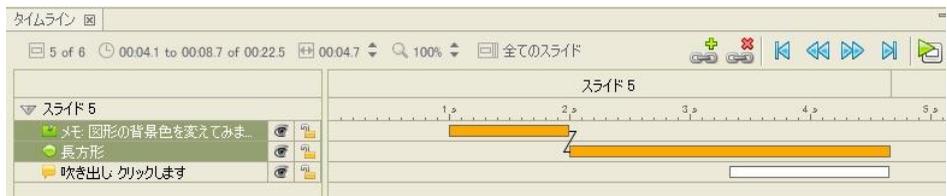
 [スタートを一致] : はじめに選択されたオブジェクトの動作開始時に2番目に選択されたオブジェクトの動作開始時を合わせます。

 [エンドを一致] : はじめに選択されたオブジェクトの動作終了時と2番目に選択されたオブジェクトの動作終了時を合わせます。

[OK] ボタンをクリックします。

指示されたオブジェクトの表示時間とタイミングが変更されます。

タイムライン上のオレンジの長方形の位置が変化します。(下図は、その一例です)



タイミングルールを手動に切り替えるためにメッセージが表示されることがあります。

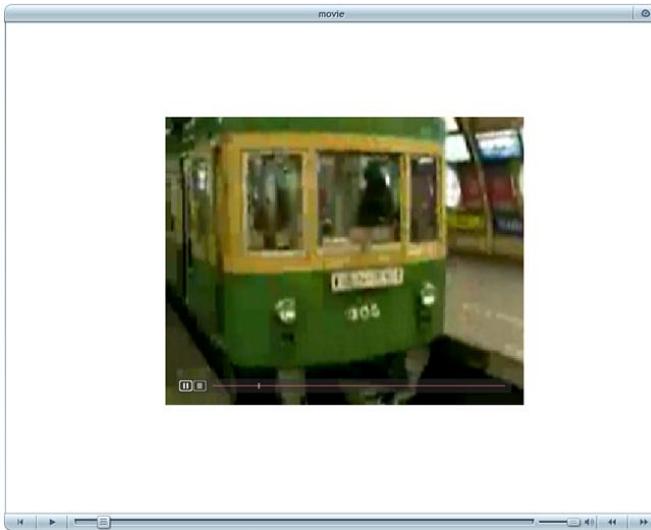
タイミングリンクの解除

解除したいオブジェクトを選択します。

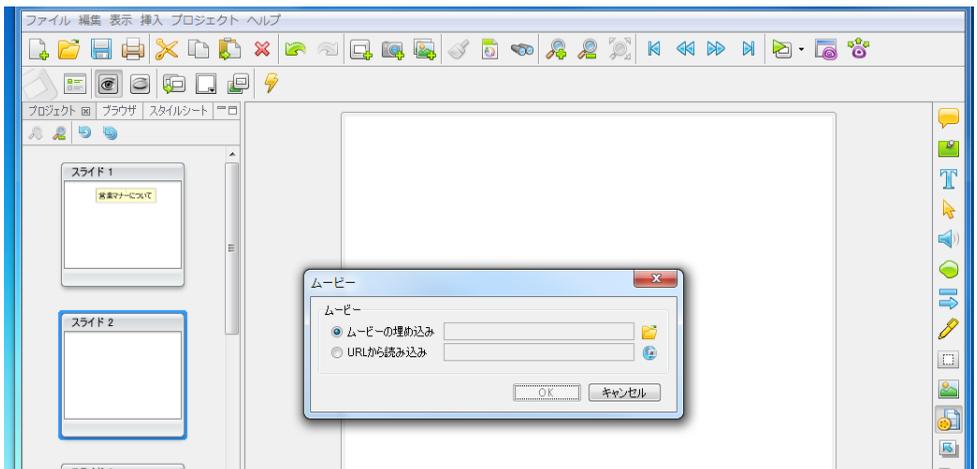
タイムラインの右側にある  [タイミングリンクを取り除く] をクリックします。

ムービーの挿入

ビューレットビルダー7ではスライド内に swf ファイルと Flv ファイルを埋め込むことができます。



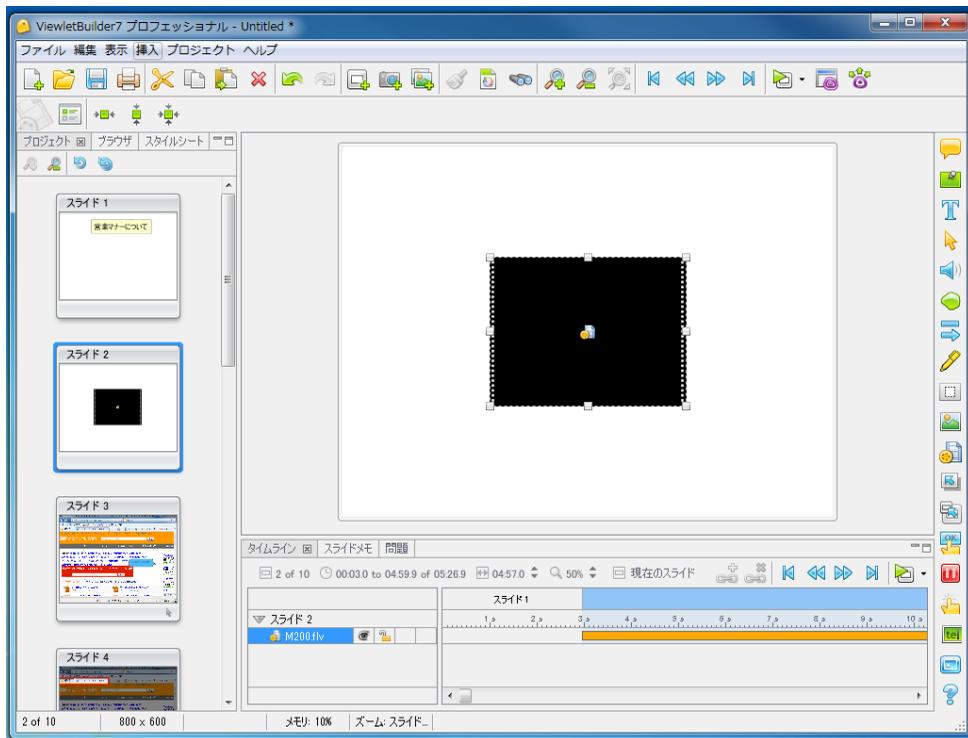
オブジェクトツールバーの  [ムービー挿入] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/ムービー...]をクリックします。



ムービーファイル（FLV ファイル、SWF ファイル）を読み込みます。

ムービーが読み込まれると黒い四角のオブジェクトが表示されます。

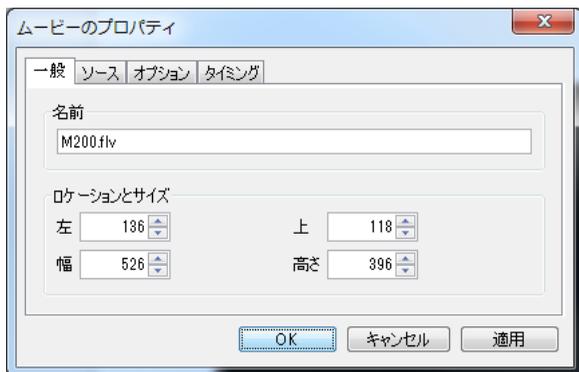
位置とサイズを調節します。



ポイント▶ タイムラインはムービーの長さが計測できる場合（一時停等が含まれずに再生する場合等）けいさくされたムービー長さがスライドに追加されます。

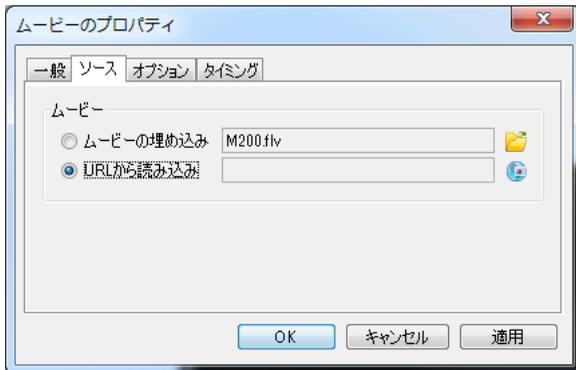
ムービーのプロパティ

ムービーオブジェクトをダブルクリックすると[ムービーのプロパティ]が開きます。

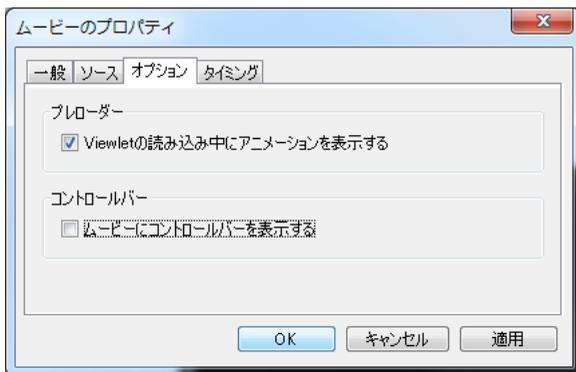


[一般タブ]：オブジェクト名と配置位置とサイズを調整します。

[ソースタブ]：ローカルにあるムービーファイルやウェブ上にあるファイルの URL を入力します。



[オプションタブ]:プリローダーの設定、コントロールバーの設定



[タイミングタブ]：ムービーの再生中にスライドを一時停止にしたり、表示時間を手動で設定します。

ポイント▶ 挿入したムービーをプレビューするには、swf にパブリッシュする必要があります。FLV にパブリッシュした場合は挿入ムービーは再生できません。

ポップアウト ハイライト

スライド内の画像を目立たせるために一部だけ拡大表示する機能です。

範囲選択された個所がポップアウトズームし、元に戻ります。



オブジェクトツールバーの  [ポップアウトハイライト] アイコンをクリックします。
もしくは[挿入/ポップアウトハイライト...]をクリックします。

拡大したい範囲をドラッグで囲みます。

ポップアウトハイライトの編集

ポップアウトハイライトを選択し、連動メニューから[エフェクトのプロパティ]  をクリックします。

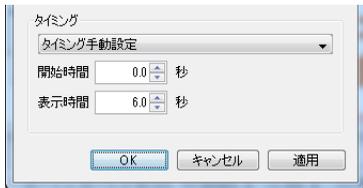
エフェクト(効果)のプロパティ



[期間]: 変化する時間 この場合量 (25%拡大) に達するまでに変化する秒数になります。

[量] 拡大サイズになります。

ポップアウトハイライトのプロパティ

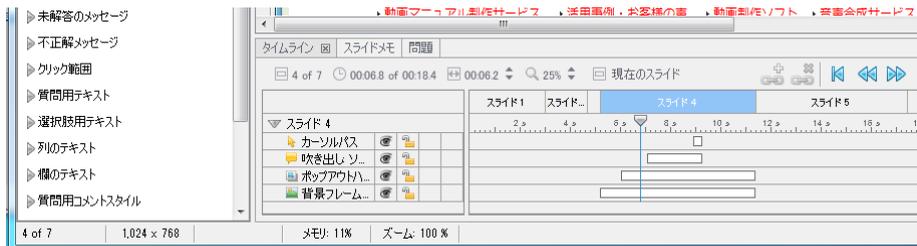


[タイミング]：ポップアウト ハイライト全体の表示時間です。エフェクトで設定した時間も含まれています。

[影のプロパティ]：ポップアウト ハイライトに影をつけることができます。

ポイント▶エフェクトのプロパティ、影のプロパティは スタイルシートに保存できません。。

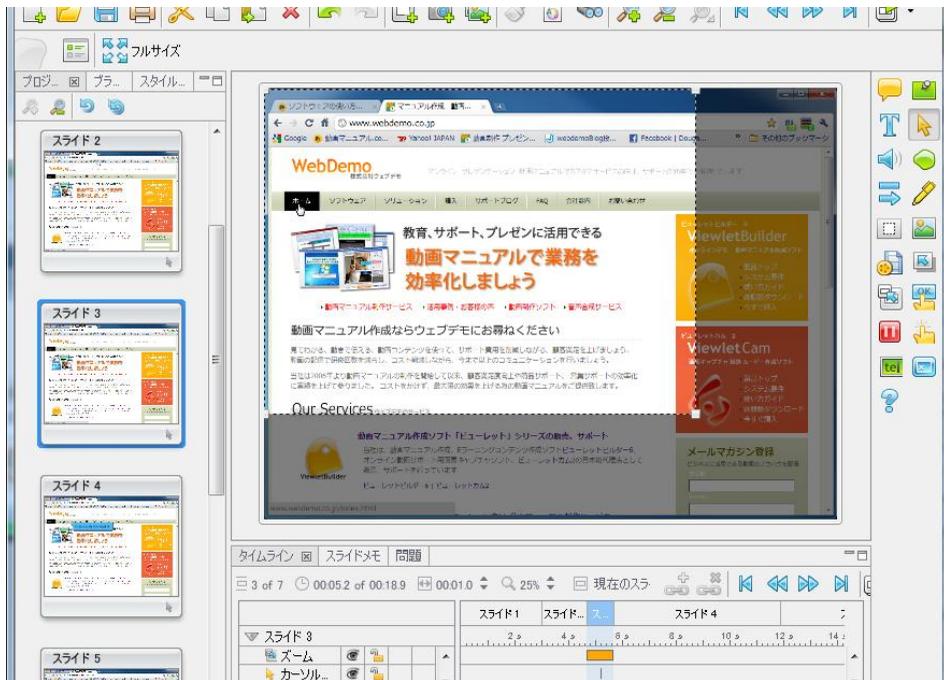
ポップアウト ハイライトのプレビュー方法



タイムラインのスライド欄にある三角ゲージをドラッグして移動させます。ポップアップの微妙なタイミングを確認して下さい。

ズームの挿入

拡大 縮小を動画の中で行います。ズームの範囲、スピード、タイミングを調整できます。



オブジェクトツールバーの  [ズーム] アイコンをクリックします。もしくは[挿入/ズーム...]をクリックします。拡大したい範囲をドラッグで囲みます。

ズームの編集方法



プロパティ アイコンをクリックします。

ズームプロパティ



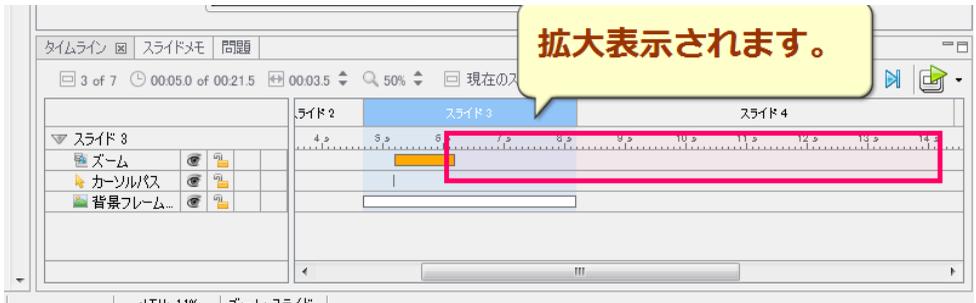
[ロケーションとサイズ] 左：上の座標と、幅 高さを入力します。

拡大サイズの縦横比は元スライドと変わりません。

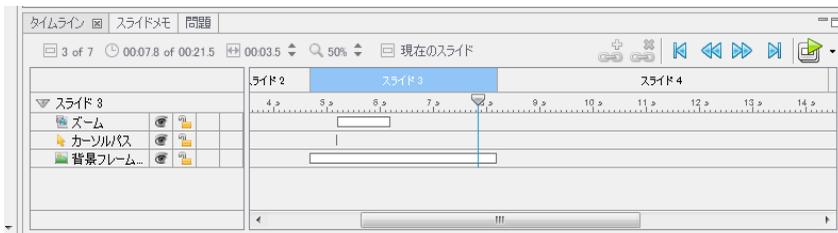
[タイミング]：開始時間 スライド表示からズーム開始までの時間です

表示時間 ズームしている時間です。

ズーム終了後は拡大した表示が次スライド以降も続きます。



ズームのプレビューと編集方法

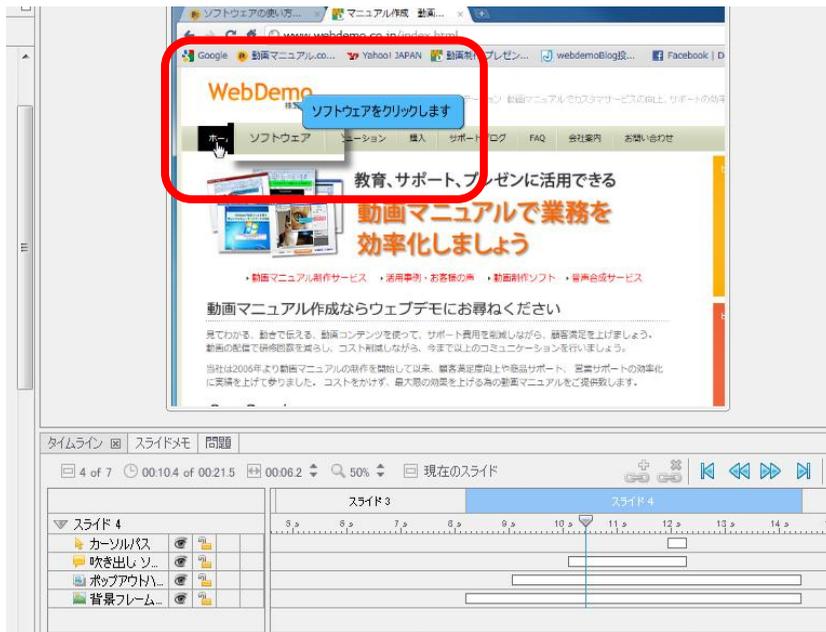


タイムラインのスライド欄にある三角ゲージをドラッグして移動させます

拡大表示に伴うオブジェクトの編集について

拡大表示後 吹き出しの位置がずれてしまうことがあります。

この場合はタイムラインから三角ゲージをドラッグし、プレビューを確認しながら、吹き出しを調整してください。



ズームの取消

タイムライン上で、ズームオブジェクトを削除します。

拡大表示をもとに戻す。

一旦拡大表示したスライドを、動画内で元の表示に戻すには[フルサイズ]をクリックします。

拡大と同じ要領でタイミングを修正します。

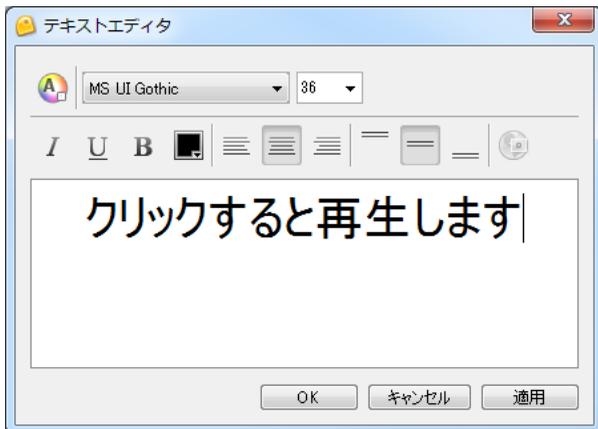
ボタンオブジェクト

ボタンオブジェクトは閲覧者と Viewlet の間の対話性を拡張するのに有効な要素です。

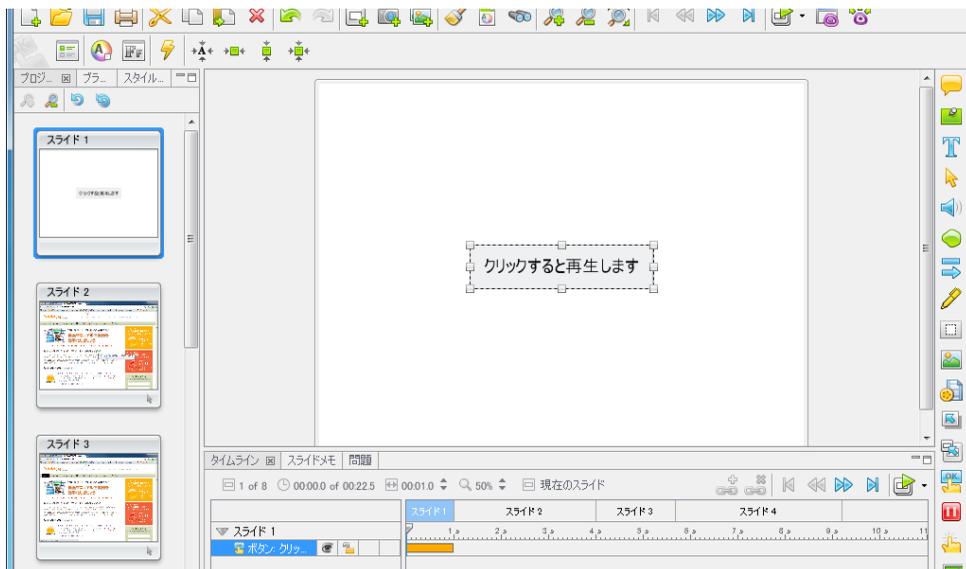
ボタンの配置

オブジェクトツールバーの  [ボタンの挿入] アイコンをクリックします。

テキストエディタが開きますので、ボタンのタイトル、フォント、大きさを設定し[OK]をクリックします



デフォルトスタイルのボタンオブジェクトがスライド上に配置されます。

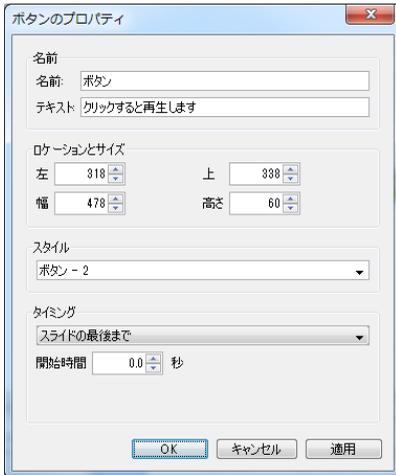


プロパティ

スライド上のボタンオブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [ボタンのプロパティ...] アイコンをクリックします。

[ボタンのプロパティ] パネルが表示されます。



ボタンのプロパティ

名前
名前: ボタン
テキスト: クリックすると再生します

ロケーションとサイズ
左: 318 上: 338
幅: 478 高さ: 60

スタイル
ボタン - 2

タイミング
スライドの最後まで
開始時間: 0.0 秒

OK キャンセル 適用

[名前] 欄の [テキスト:] フィールド: 入力した文字列がボタン内に表示されます。

[ロケーションとサイズ] 欄: 表示する位置とサイズを指示します。

ヒント▶ 数値で指示することができるので、別のスライドと位置を揃えるときなどに便利です。

[タイミング] 欄: ボタンの表示時間を調整します。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

ポイント▶ ボタンはクリックするとイベントを発生するオブジェクトです。

ボタン装着後は[イベント]を設定してください。。

ボタンの編集

ボタンのタイプ

スライド上のボタンオブジェクトを選択します。

連動ツールバーの  [ボタンスタイル...] アイコンをクリックします。

[ボタン スタイル] パネルが表示されます。スタイルを選択します。



[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

ポイント▶ ボタンのタイプ、フォント情報は、スタイルシートに保存できます。

テキストエディタで開く

ボタンの表示タイトル、フォントサイズ、 文字色などを変更します。

移動

スライド上のボタンオブジェクトを選択します。

ドラッグ・アンド・ドロップでボタンを移動します。カーソルは手の形に変わります。

サイズの変更

スライド上のボタンオブジェクトを選択します。

ハンドルをドラッグ・アンド・ドロップしてボタンの大きさを変えます。このときカーソルは両方向矢印に変化しています。

削除

スライド上のボタンオブジェクトを選択します。キーボードの [Delete] キーを押します。

イベントとアクション

ビューレットビルダー7では、スライドの進行や閲覧者の動作に合わせてスライドやオブジェクトなどの動きを指示することができます。

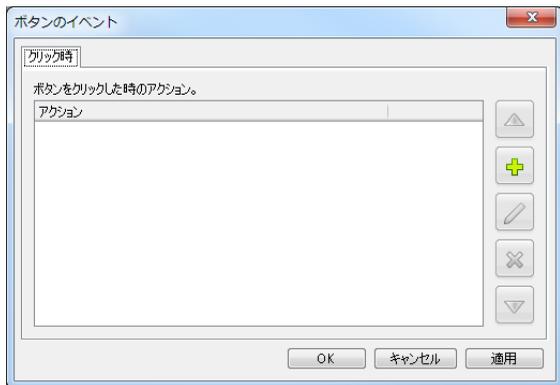
イベントとアクションの一覧

イベントとアクションはオプションとして用意されています。以下はその種類です。

イベント	イベントの種類		アクション(全イベントに共通)
ハイパーリンクのイベント	クリック時 ロールオーバー		
画像のイベント 形状のイベント	クリック時 ロールオーバー ロールアウト		スライドに移動 スライドを移動
ボタンのイベント	クリック時		スライドのリPEAT
スライドのイベント (クイズゾーンなし)	実行前 実行後 キーアクション		ウェブページを開く Viewletを再生 Viewletを一時停止
スライドのイベント (クイズゾーンあり)	実行前 実行後 キーアクション		Email To JavaScript オブジェクトを表示する
	正解の時 未解答時 タイムアウト時		オブジェクトを隠す サウンドの再生 ムービー再生
	不正解の時	全て	スコア表示
		最後のスライド以外全て	解答を判定する
		最初 2番目 3番目 最後 残り	サブミット・スコア ムービーを閉じる

ボタンのイベント

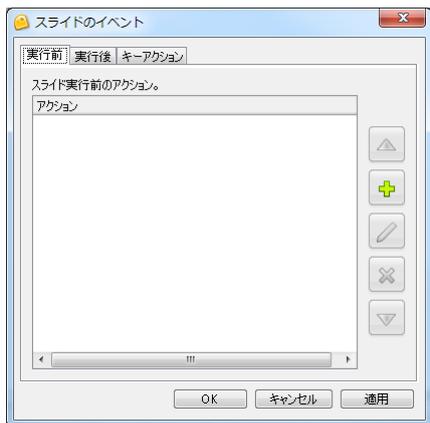
スライド上のボタンを選択し連動ツールバーの ⚡ [イベント...] アイコンをクリックします。[ボタンのイベント] パネルが表示されます。



[クリック時] タブ：閲覧者が画像オブジェクトをクリックした時のアクションです。

スライドのイベント

サムネイルビューでスライドを選択します。連動ツールバーの ⚡ [イベント...] アイコンをクリックします。[スライドのイベント] パネルが表示されます。



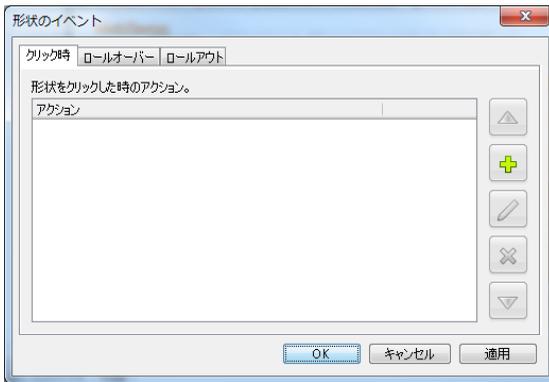
[実行前] タブ：スライドのロードのあとに指示するアクションです。

[実行後] タブ：スライドが切り替わる前のアクションです。

[キーアクション] タブ：指示したキーを閲覧者が押したときのアクションです。

画像・形状オブジェクトのイベント

スライド上の形状オブジェクトを選択します。連動ツールバーの  [イベント...] アイコンをクリックします。[形状のイベント] パネルが表示されます。



[クリック時] タブ：閲覧者が形状オブジェクトをクリックした時のアクションです。

[ロールオーバー] タブ：閲覧者がマウスマウスカーソルを形状オブジェクトの上に置いたときのアクションです。

[ロールアウト] タブ：閲覧者がマウスマウスカーソルを形状オブジェクトから離れたときのアクションです。

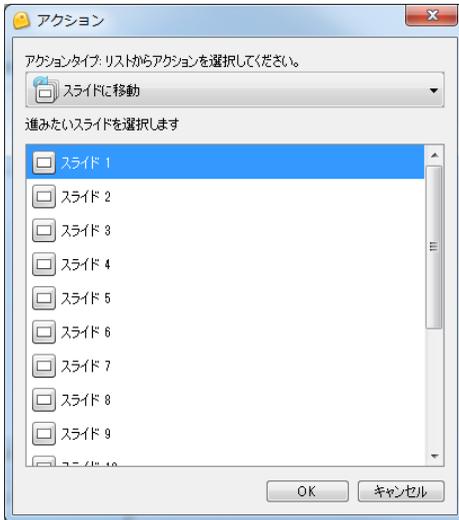
アクション

イベントに対する動作内容を指示します。

前述のイベントのパネルで、イベントのタブを選択します。

緑色の＋マーク [追加] アイコンをクリックします。

[アクション] パネルが表示されます。



[アクションタイプ] ドロップダウンリストからアクションを選択します。

アクションの種類に応じて下段にオプションが表示されます。

必要な項目の値を入力します。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

アクション一覧

アクション名	内容	備考
Email To	メールを送信する	文字は unicode で送信
JavaScript	JavaScript を入力します。	変数表から設定します。
Viewlet を一時停止	再生中のムービーを一時停止	
Viewlet を再生	ムービーを再生する	一般的なスタート用のアクション
ウェブページを開く	ウェブページにリンク	Flash のセキュリティ設定に注意
オブジェクトを表示する	オブジェクトを表示させる	画像、矩形 メッセージ等に有効
オブジェクトを隠す	オブジェクトを非表示にする	画像、矩形 メッセージ等に有効
サウンドの再生	サウンドの再生	ファイルもしくは録音した音声
サブミットスコア	採点データの送信	クイズコンテンツのみ有効
スコア表示	採点結果の表示	クイズコンテンツのみ有効
スライドに移動	指定したスライドに移動する	絶対パス
スライドのリピート	最ライドをもう一度再生する	
スライドを移動	前 or 後のスライドに移動する	相対パス
ムービーを閉じる	ムービーウィンドウを閉じます	Html を制御するコマンドです。 swf だけでは動きません
ムービー再生	挿入したムービーを再生	ムービーが読み込まれているスライドのみ有効
解答を判定する	解答を判定する	クイズコンテンツのみ有効

アクションの注意点

アクションは swf にパブリッシュした場合のみ、実行されます。FLV、そのほかの出力では動作しません。

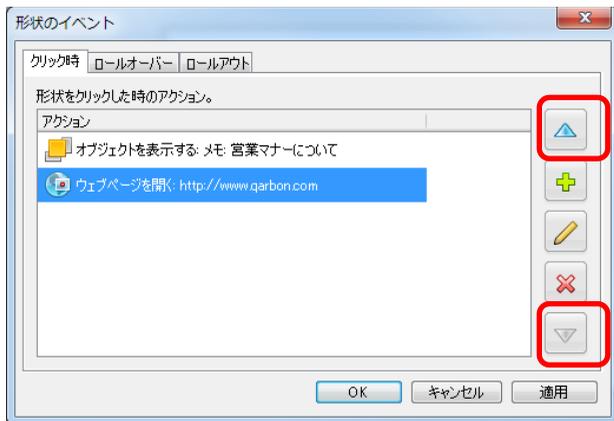
[ムービーを閉じる]は、swf+html の状態、かつ Javascript が有効な場合のみ動作します。

動作の確認はパブリッシュして行います。パソコン、OS のバージョン、セキュリティ状況によっては動作しない場合があります。予めご了承ください。

順序の変更

ひとつのスライドまたはオブジェクトに対して複数指示しているアクションはその順序を変更することができます。

イベントのタブで水色の△ [上へ] アイコンでアクションを上への順番へ移動します。下へ移動するには水色の▽ [下へ] アイコンをクリックします。



[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

アクションの編集

イベントのタブ内で内容を変更したいアクションを選択して鉛筆マーク [変更] アイコンをクリックします。

[アクション] パネルが表示されます。

[アクションタイプ:] やオプションなどを変更します。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

アクションの削除

イベントのタブ内でアクションを選択します。

赤色の×マーク [削除] アイコンをクリックします。

アクションが削除されます。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

ハイパーリンク

ビューレットビルダー7では、文字列の部分を選択してハイパーリンクを設定することができます。

ヒント▶ その他のオブジェクトに関するハイパーリンクはイベントとアクションで設定することができます。

メッセージのハイパーリンク(テキストリンク)

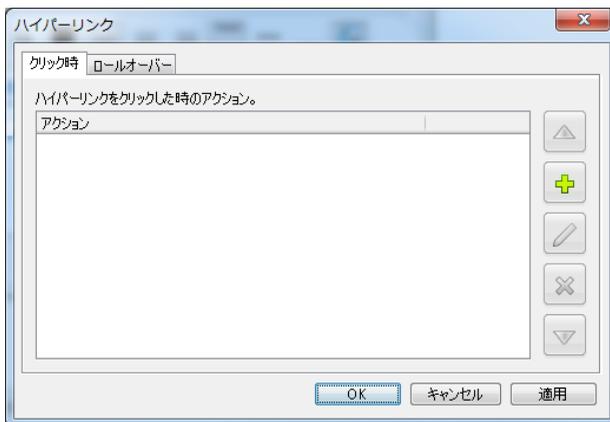
テキストボックス内の文字列に対してハイパーリンクを設定することができます。

リンクに使用する文字列を選択します。



連動ツールバーの  [ハイパーリンク...] アイコンをクリックします。

[ハイパーリンク] パネルが表示されます。



定義するイベントのタブを選択します。

緑色の+マーク [追加] アイコンをクリックします。

[アクション] パネルが表示されます。

[アクションタイプ] ドロップダウンリストから [ウェブページを開く] を選択します。

[URL] フィールドに URL を入力します。



[ウインドウサイズ] と必要な [Windows オプション] を選択します。

[OK] ボタンをクリックするとパネルが閉じて適用されます。

ポイント ▶ ハイパーリンクの指示されている文字列には青色の下線（デフォルトのスタイル）が引かれます。文字のスタイルは連動ツールバーや右ボタンのショートカットメニューから変更することができます。

インタラクティブゾーン

動画コンテンツでの対話性は閲覧者の興味を惹きつけ、関心を維持するのに大切です。ビューレットビルダー7の重要な特徴であるインタラクティブな動画を用いることによってトレーニング、マーケティング、リサーチなどにおいて必要になる情報をあつめることもできます。

インタラクティブゾーンの種類

一時停止ゾーン

このゾーンを挿入されたスライドで一時停止します。スライドの右下部に三角形の一時停止マークが表示されます。Viewlet 最盛時はこの一時停止マークは表示されず、閲覧者からは見えません。

クリック範囲型クイズゾーン

スライドの一部をクリックするための領域を配置します。たとえば閲覧者が画面上をクリックして解答するとき、その正否を判別するのにクリック範囲を配置しておきます。

テキスト型クイズゾーン

閲覧者がテキスト入力フィールドに解答を入力するタイプのクイズゾーンです。

キー入力型クイズゾーン

閲覧者のキー入力から正否を判別する形式のクイズゾーンです。

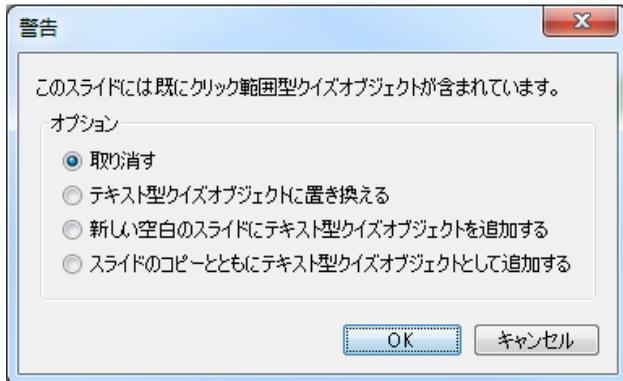
選択型クイズゾーン

選択肢から正解を選ぶ形式のクイズゾーンです。

スライドに含まれるインタラクティブゾーンの数

インタラクティブゾーンはその特性上ひとつのスライドにつきいずれかの種類をひとつ配置します。

重ねて配置しようとする時「警告」パネルが表示されます。



オプションを選択することでインタラクティブゾーンを置き換えることができます。また、新しいスライドとして挿入することもできます。

サウンドの付加

ゾーンのオブジェクトにはサウンドを付加することもできます。

ヒント▶ 「[サウンド](#)」の項をご参照ください。

応答メッセージオブジェクト

インタラクティブゾーンを作成するときは、閲覧者の解答に対しての応答を準備します。

たとえば、正解したときのメッセージオブジェクトや、不正解を知らせるメッセージオブジェクトなどです。アクションの組み合わせによって閲覧者をリンクから誘導することもできます。

クイズゾーンを挿入すると解答欄などのほかに応答に使用するメッセージオブジェクトが2または3種配置されます。

応答のメッセージオブジェクトは他のメッセージオブジェクトと同様にテキストのスタイル、メッセージのタイプを編集することが可能です。

ヒント▶ [「メッセージオブジェクトの編集」](#)の項をご参照ください。

緑色のメッセージオブジェクト：正解のとき表示されます。

ライム色のメッセージオブジェクト：解答が不完全な場合に表示されます。解答を入力していないときあるいは、選択していないときなどです。

赤色のメッセージオブジェクト：不正解の場合に表示されます。

応答オブジェクトの削除

スライドの応答オブジェクトを選択します。

キーボードから [Delete] キーをクリックします。

ヒント▶ 他の方法：ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。
あるいは、ショートカットメニューから [削除] を選択します。

注意▶ 削除の対象となったオブジェクトによっては、同時にスライド内のクイズオブジェクト全体を削除するものがあります。

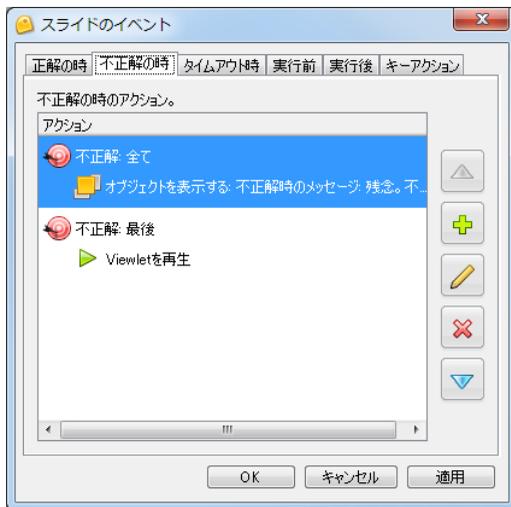
イベントとアクション

クイズゾーンにイベントとアクションを定義することもできます。

クイズゾーンを含んでいるスライドを選択します。

連動ツールバーの ⚡ [イベント...] アイコンをクリックします。

[スライドのイベント] パネルが表示されます。



イベントのタブを選択します。

緑色の+マーク [追加] アイコンをクリックします。

[アクション] パネルが表示されます。

アクションを選択してオプションを設定します。

[OK] ボタンをクリックします。

スコアリング

インタラクティブゾーンでは閲覧者の入力、解答に対して制限時間を設けたり、得点を設定したりすることが可能です。

スコア設定

クイズゾーンを含むスライドを選択します。

連動ツールバーの  [スコア設定...] アイコンをクリックします。

[スコア] パネルが表示されます。



スコア

得点

 問題の得点:

1

解答回数

 解答回数:

3

再解答を許可する

時間

解答の制限時間を設定する

時間 分 秒

0 0 0

OK キャンセル

[得点] 欄：正解に対する配点を設定します。

[解答回数] 欄：解答を許される回数の上限を設定します。これに達すると不正解とします。

[再解答を許可する] チェックボックス：Viewlet を連続して再生したとき、同じクイズに対して再び解答することができるようにするにはこれをオンにします。

[時間] 欄：解答までの制限時間です。チェックボックスをオンにすると制限時間内に解答しない場合不正解となります。

[OK] ボタンをクリックすると適用されてパネルが閉じます。

クリック範囲型クイズゾーン

スライドの一部に配置される、閲覧者のクリックによって動作する領域です。この領域を閲覧者がクリックしたとき正解となります。



おめでとう、正解です。

残念。不正解です。

- クリックの領域を示すオブジェクト
- 2つの応答メッセージオブジェクト

以上のものが含まれます。

配置

クイズゾーンを配置するスライドを選択します。

オブジェクトツールバーの  [挿入 クリック範囲型クイズ] アイコンをクリックします。

デフォルトのクリック範囲と3種類の応答メッセージオブジェクトがスライド中央に配置されます。

ポイント ▶ 応答のメッセージオブジェクトは他のメッセージオブジェクトと同様にテキストのスタイル、メッセージのタイプを編集することが可能です。

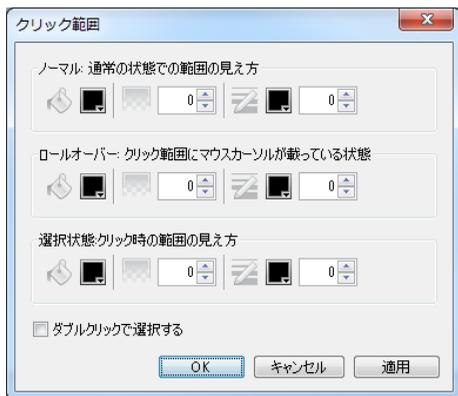
クリック範囲のプロパティ

Viewlet として再生されたときのクリック範囲の背景色、不透明度、境界線の色と線の太さをそれぞれ状況別に変更することができます。

クリック範囲をダブルクリックします。

ポイント▶ 他の方法：クリック範囲を選択して連動ツールバーの  [クリック範囲の変更...] アイコンをクリックします。あるいは、クリック範囲を右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [クリック範囲の変更...] を選択します。

[クリック範囲] パネルが表示されます。



[ノーマル] 欄：下記2つの状態以外での見え方。

[ロールオーバー] 欄：クリック範囲に閲覧者のマウスカーソルが載っている状態での見え方。

[選択状態] 欄：閲覧者がクリック範囲をクリックしたときの見え方。

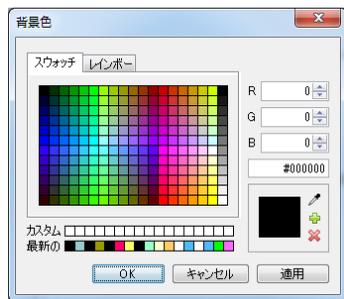
[ダブルクリックで選択する] チェックボックス：閲覧者が回答するときシングルクリックではなくダブルクリックを使用します。

【背景色】



■ 【背景色】 アイコンをクリックします。

【背景色】 カラーパレットが表示されます。



カラーを選択します。

【OK】 ボタンをクリックすると背景色として適用されてパネルが閉じます。

【不透明度】



不透明を100として不透明度を入力します。

【境界線】



境界線の太さを入力します。

ヒント▶ 単位は pixel です。

■ 【境界線色】 アイコンをクリックします。

【境界線色】 カラーパレットが表示されます。

カラーを選択します。

【OK】 ボタンをクリックすると適用してパネルを閉じます。

クリック範囲の編集

移動

スライド内のクリック範囲を選択します。

ドラッグ・アンド・ドロップでクリック範囲を移動します。このときカーソルは手の形に変わります。

サイズ変更

スライド内のクリック範囲を選択します。

ハンドルをドラッグ・アンド・ドロップしてクリック範囲の大きさを変えます。このときカーソルは両方向矢印に変化しています。

クイズオブジェクトの削除

スライド内のクリック範囲を選択します。

キーボードの [Delete] キーを押します。

ポイント ▶ 他の方法：ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。あるいは、クリック範囲の上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。

クイズオブジェクト全体が削除されます。

テキスト入力型クイズゾーン

閲覧者が解答欄に文字列を入力する形式のインタラクティブゾーンです。

おめでとう、正解です。

解答が不完全です。もう一度お願いします。

残念、不正解です。

- テキストを入力するフィールド
- 3つの応答メッセージオブジェクト

以上のものが含まれます。

配置

クイズゾーンを配置するスライドを選択します。

オブジェクトツールバーの  [挿入 テキスト型クイズ] アイコンをクリックします。

デフォルトのテキスト入力フィールドと3種類の応答メッセージオブジェクトがスライド中央に配置されます。

クイズゾーンの編集

テキスト入力フィールドの編集

テキスト入力フィールドをダブルクリックします。

ポイント▶ 他の方：テキスト入力フィールドを選択して連動ツールバーの

 [正解の編集...] アイコンをクリックします。

あるいは、テキスト入力フィールドの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [正解の編集...] を選択します。

[変更 テキストフィールド] パネルが表示されます。



[正解] フィールド：正解を入力します。

ポイント▶ 複数の正解を用意するには、改行して入力します。

[確定キー:]：閲覧者が解答の入力を確定するための動作をドロップダウンリストから選択します。

注意▶ 日本語入力システムの変換機能で使用するキーと重複しないようにします。

ヒント▶ [確定キー:] ドロップダウンリストで [None] を選択したときは、入力を確定するためにボタンオブジェクトなどを追加しておきます。

ボタンオブジェクトの [クリック時] のイベントに [解答を判定する] アクションを定義しておきます。これで閲覧者の解答の正否が判定されます。

[大文字小文字を区別する]：正解が固有名詞などの場合区別する必要があります。

[右端で折り返す]：入力された内容がテキスト入力フィールドの長さよりも長くなった場合に右端で折り返して表示させるにはこのチェックボックスをオンにします。

[入力文字列を伏せ字にする]：閲覧者がテキストフィールドに入力した文字をパスワード入力の際のように伏せ字にする機能です。

テキスト入力フィールドの移動

スライド内のテキスト入力フィールドを選択します。

ドラッグ・アンド・ドロップでテキスト入力フィールドを移動します。このときカーソルは手の形に変わります。

サイズ変更

スライド内のテキスト入力フィールドを選択します。

ハンドルをドラッグ・アンド・ドロップしてテキスト入力フィールドの大きさを変えます。このときカーソルは両方向矢印に変化しています。

クイズオブジェクトの削除

スライド内のテキスト入力フィールドを選択します。

キーボードの [Delete] キーをクリックします。

ポイント ▶ 他の方法：ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。あるいは、テキスト入力フィールドの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。

クイズオブジェクト全体が削除されます。

キー入力型クイズゾーン

指定されたキーを閲覧者が押したかどうかを判定することができます。



- キーストロークオブジェクト
- 解答に対する3つの応答のメッセージオブジェクト

以上のものが含まれます。

配置

クイズゾーンを配置するスライドを選択します。

オブジェクトツールバーの  [挿入 キー入力型クイズ] アイコンをクリックします。

キーストロークと3つの応答メッセージのオブジェクトがスライド中央に配置されます。

キーストロークの定義

キー入力型クイズゾーンを含むスライドを選択します。

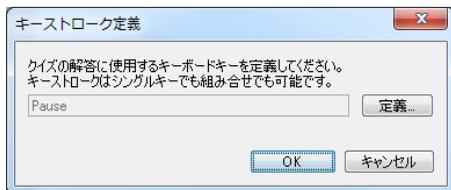
連動ツールバーの  [キーストローク定義...] アイコンをクリックします。

ポイント ▶ 他の方：右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [キーストローク定義...] 選択します。

[キーストローク定義] パネルが表示されます。(下図参照)

[定義...] ボタンをクリックします。

[何かキーを押してください。] の文字が点滅します。



キーボードから任意のキーを押します。

シングルキーおよび組み合わせでの定義が可能です。

[OK] ボタンをクリックすると確定してパネルを閉じます。

選択型クイズゾーン

選択肢のあるクイズ形式のインタラクティブゾーンです。

質問をここに入力してください。

- 選択 1
- 選択 2
- 選択 3

解答

おめでとう、正解です。

解答が不完全です。もう一度お願いします。

残念、不正解です。

- 問いのためのメッセージオブジェクト
- 解答のための選択肢とチェックボックス
- 解答を確定するためのボタンオブジェクト
- 3つの応答メッセージオブジェクト

以上のものが含まれます。

配置

クイズゾーンを配置するスライドを選択します。

オブジェクトツールバーの  [挿入 選択型クイズ] アイコンを選択します。

メッセージオブジェクトとチェックボックス、ボタンオブジェクト、応答メッセージのオブジェクトがスライド中央に配置されます。

質問のメッセージオブジェクトの編集

質問のメッセージオブジェクトをダブルクリックします。

ポイント▶ 他の方：右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [メッセージ編集...] を選択します。

メッセージ内のカーソルが点滅します。

メッセージを編集します。

完了したら、オブジェクトの外側でクリックして選択を解除します。

選択肢の追加

スライド内の選択肢オブジェクトのひとつを選択します。

連動ツールバーの  [選択肢を追加] アイコンをクリックします。

スライド内に新しく選択肢オブジェクトが配置されます。

選択肢の削除

選択肢オブジェクトを選択します。

キーボードの [Delete] キーをクリックします。

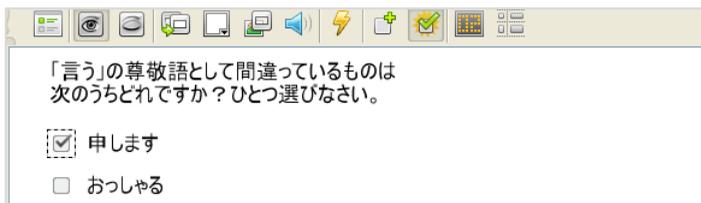
ポイント ▶ 他の方法：ボタンコマンドツールバーの  [削除] アイコンをクリックします。あるいは、選択肢オブジェクトの上で右ボタンをクリックしてショートカットメニューから [削除] を選択します。

選択肢オブジェクトが削除されます。

正否の設定

正解に設定する選択肢のチェックボックスをダブルクリックします。

チェックマークが表示されます。



チェックマークを取り消すには、ダブルクリックします。

ポイント ▶ 連動ツールバーの  [正解の編集...] アイコンをクリックすることでも正否の設定を切り替えることができます。

複数の正解

正解とする選択肢全てに上記と同様の方法でチェックマークを表示させます。

選択肢のメッセージオブジェクトの編集

[質問のメッセージオブジェクトの編集](#)方法と同様です。

解答確定のボタンオブジェクトの編集

スライド内の解答のボタンオブジェクトを選択します。

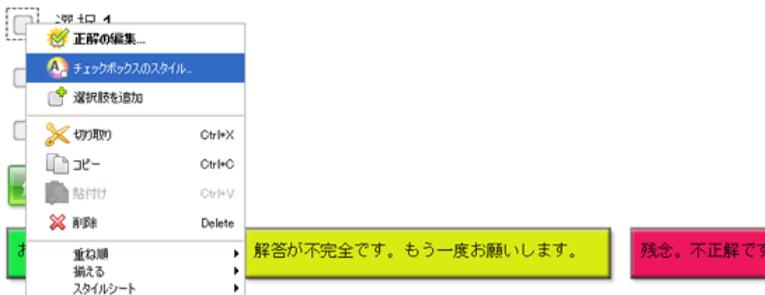


連動ツールバーからボタンのスタイル、テキスト、フォントサイズ、位置を変更できます

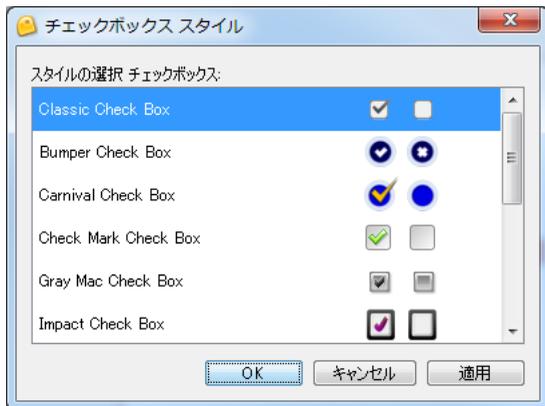
ヒント▶ ボタンのスタイルやイベントとアクションについては、「[ボタンオブジェクトの編集](#)」の項をご参照ください。

チェックボックスのスタイルを変更する

チェックボックスを右ボタンでクリックしてショートカットメニューから [チェックボックスのスタイル] を選択します。



[チェックボックス スタイル] パネルが表示されます。



スタイルを選択し [OK] ボタンをクリックします。

ラジオボタンのオブジェクトがスライド上に配置されます。

質問をここに入力してください。

- 選択 1
- 選択 2
- 選択 3

解答

おめでとう、正解です。

解答が不完全です。もう一度お願いします。

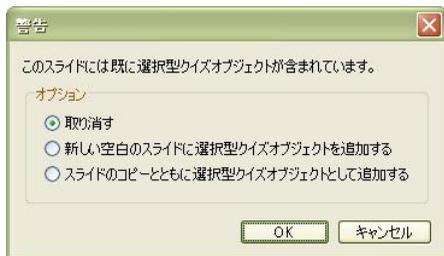
残念、不正解です。

正否の設定はラジオボタンのダブルクリックで行います。

クイズゾーンの削除

スライド内の質問や選択肢のすべてを削除するには、オブジェクトツールバーの  [挿入 選択型クイズ] アイコンを選択します。

[警告] パネルが表示されます。



[取り消す] オプションを選択します。

[OK] ボタンをクリックするとスライド内のクイズ全体が削除されます。

一時停止ゾーン

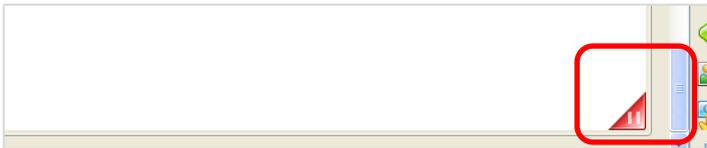
Viewlet の再生を中断させるために使用します。

たとえば、閲覧者がハイパーリンクをクリックする必要のあるときなどに画面を停止させておきます。

一時停止ゾーンの挿入

オブジェクトツールバーの  [挿入 一時停止] アイコンをクリックします。

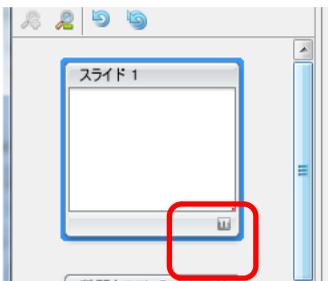
赤色の三角形がスライドの右下に表示されます。



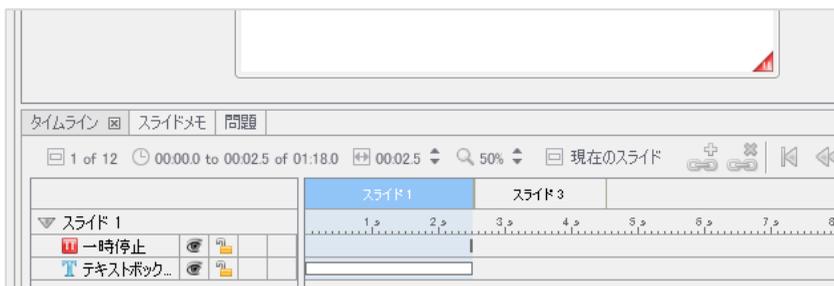
この三角形の表示されたスライドの箇所で再生が一旦停止します。

Viewlet ではこの三角形は表示されません。

プロジェクトタブ スライドに一時停止のマークが表示されます

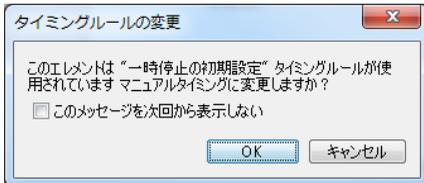


タイムラインに[一時停止レイヤ]ができ、一時停止オブジェクトが表示されます。



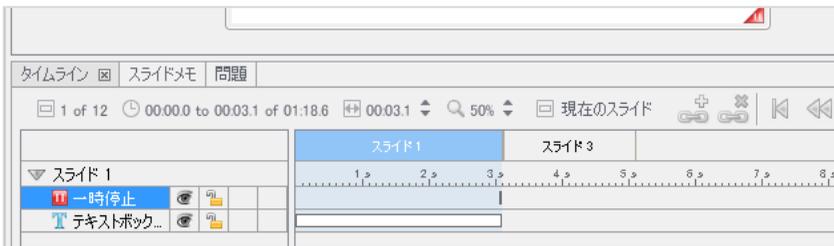
一時停止ゾーンの編集

タイムライン上で一時停止オブジェクトを移動して、オブジェクトのタイミングを変更します。[タイミングルールの変更] パネルが表示されます。

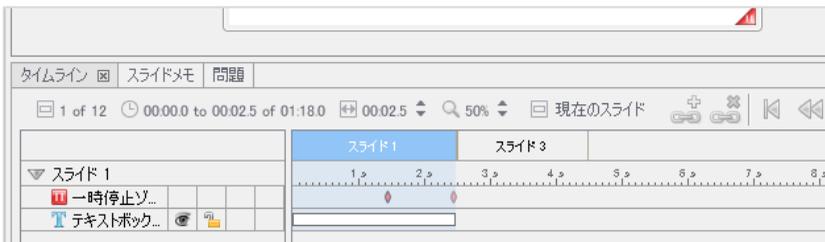


[OK] ボタンをクリックすると一時停止マークが取り消されます。

一時停止ゾーンの削除



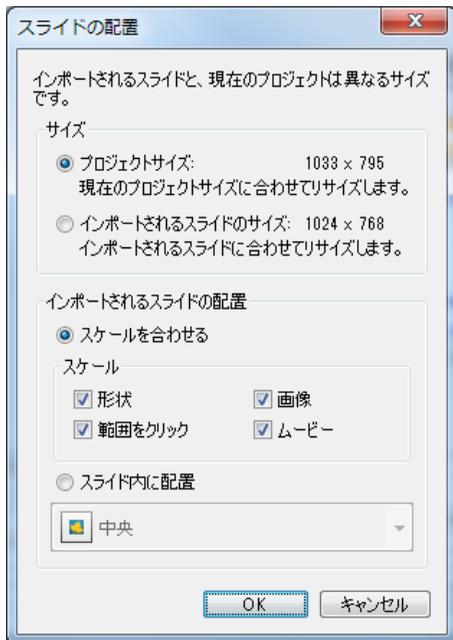
タイムラインよりレイヤごと削除します。



一時停止オブジェクトが2 つ以上ある場合はオブジェクトごと、マウスで指定して削除します。

解像度の違うプロジェクトの設定

サイズの違うプロジェクトをインポートする場合はインポート先、もしくはインポートするスライドサイズに合わせてリサイズします。



[OK] ボタンをクリックします。

XML ファイルのインポート

エクスポートした XML ファイルのキャプションを別の言語に翻訳して取り込むなどの作業に大変便利です。

注意 ▶ この機能を有効に使用するためには、スライドに含まれるメッセージオブジェクトがインポートしようとする XML の内容と一致している必要があります。

メニューバーから [ファイル] → [インポート] → [テキスト (キャプション) のインポート...] を選択します。

XML ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

エクスポート

ビューレットビルダー7には以下のエクスポートオプションが準備されています。

- [XML 形式での出力](#)
- [サウンドの出力](#)

XML ファイルの出力

メニューバーから [ファイル] → [エクスポート] → [テキスト (キャプション) ...] を選択します。

ファイルの保存先を選択します。ファイル名を入力します。

[保存する] ボタンをクリックします。

メッセージオブジェクトに含まれるテキストが出力されます。

サウンドの出力

ビューレットビルダー7のプログラムのフォルダ以外の場所に保存先を作成しておきます。

メニューバーから [ファイル] → [エクスポート] → [サウンド...] を選択します。

[サウンドのエクスポート] パネルが表示されます。



サウンドを含むスライドを選択します。

[エクスポート] ボタンをクリックします。

ファイルの保存先を選択します。ファイル名を入力します。

[保存する] ボタンをクリックします。

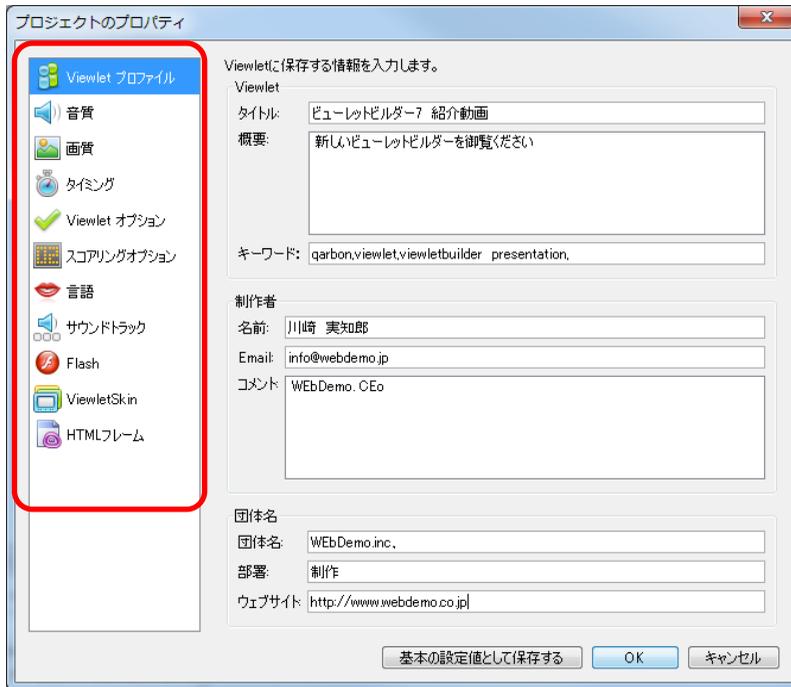
プロジェクトのプロパティ

Viewlet の作成に必要な各種項目の設定を行ないます。

プロパティは、新しいプロジェクトの作成時にも反映させることができます。

ボタンコマンドツールバーの  [プロジェクトのプロパティ...] アイコンをクリックします。

[プロジェクトのプロパティ] パネルが表示されます。



このパネルでは、以下の 11 項目を確認・設定することができます。これらはパネル左のナビゲーションメニューから選択することで編集が可能です。

[\[Viewlet プロファイル\]](#)

[\[音質\]](#)

[\[画質\]](#)

[\[タイミング\]](#)

[\[Viewlet オプション\]](#)

[\[スコアリングオプション\]](#)

[\[パッケージング\]](#)

[\[言語\]](#)

[\[Flash\]](#)

[\[Viewlet Skin\]](#)

[\[HTML フレーム\]](#)

【Viewlet プロフィール】

パブリッシュによって Viewlet に保存される内容です。

【[プロジェクトのプロパティ](#)】 パネルのナビゲーションメニューから [Viewlet プロファイル] を選択します。

プロジェクトのプロパティ

Viewlet プロファイル

Viewlet に保存する情報を入力します。

Viewlet

タイトル: ビューレットビルダー7 紹介動画

概要: 新しいビューレットビルダーを御覧ください

キーワード: qarbon,viewlet,viewletbuilder presentation,

制作者

名前: 川崎 実知郎

Email: info@webdemo.jp

コメント: WEbDemo. CEo

団体名

団体名: WEbDemo.inc,

部署: 制作

ウェブサイト: http://www.webdemo.co.jp/

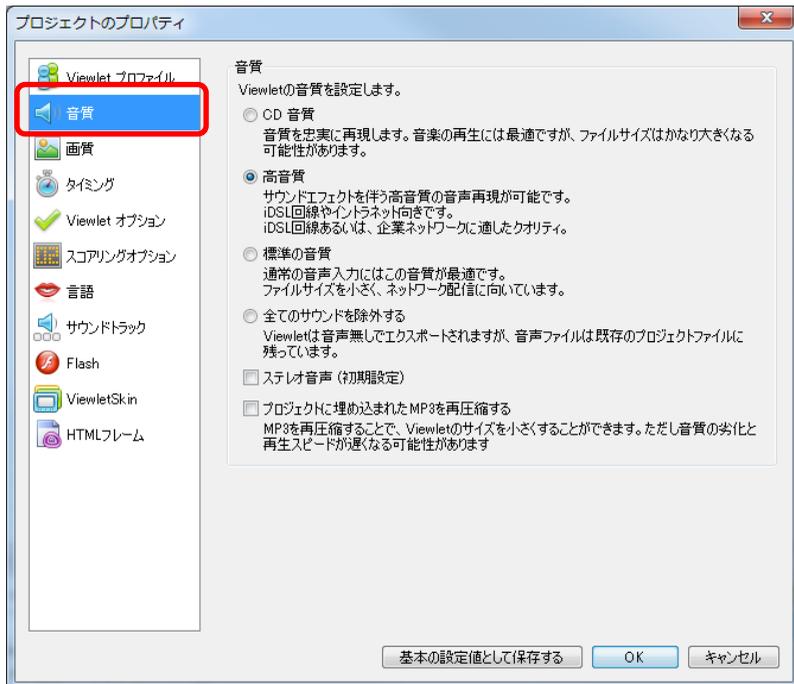
基本の設定値として保存する OK キャンセル

それぞれは空欄でも登録可能です。

[音質]

作成される Viewlet の音質を選択します。

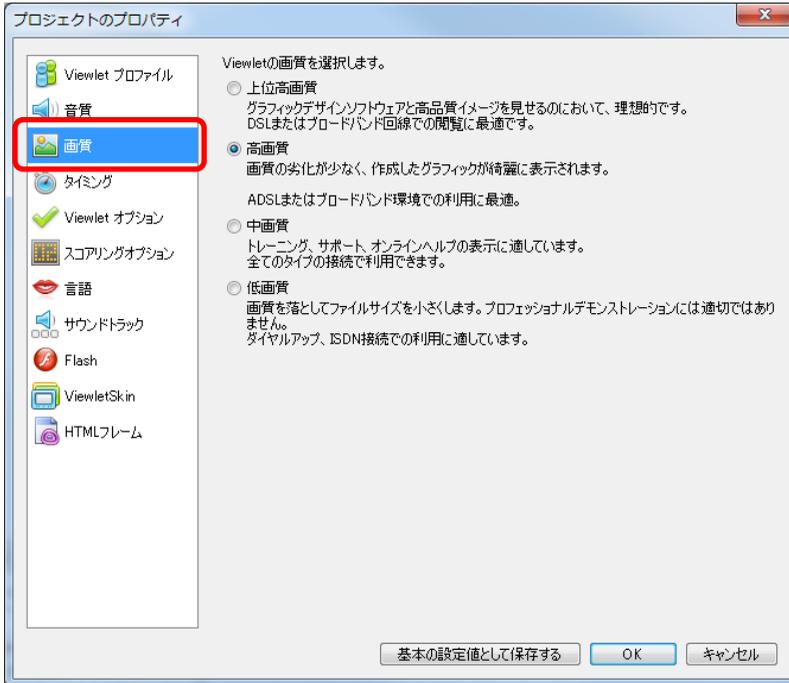
[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [音質] を選択します。



[画質]

作成される Viewlet の画質を選択します。

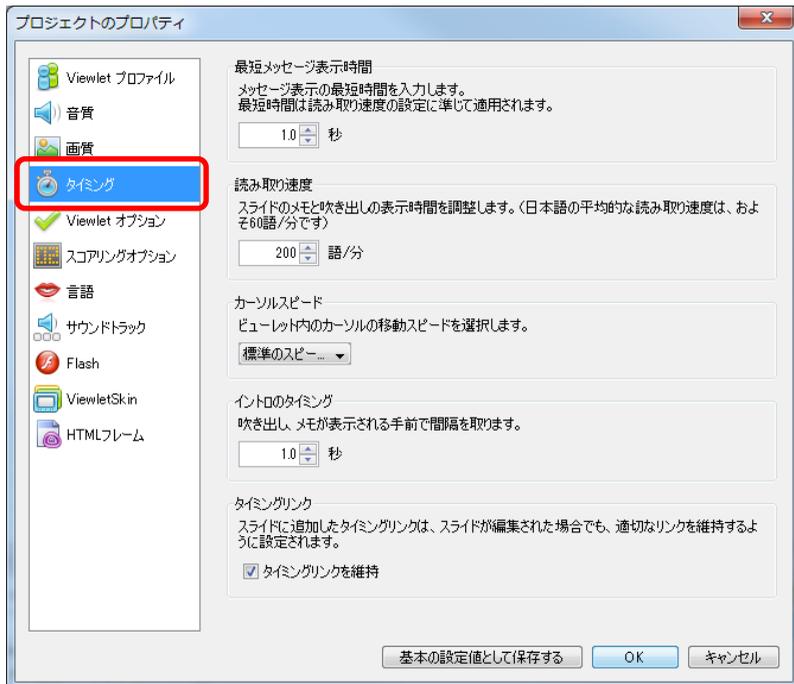
[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [画質] を選択します。



[タイミング]

表示時間に関する設定を行ないます。

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [タイミング] を選択します。

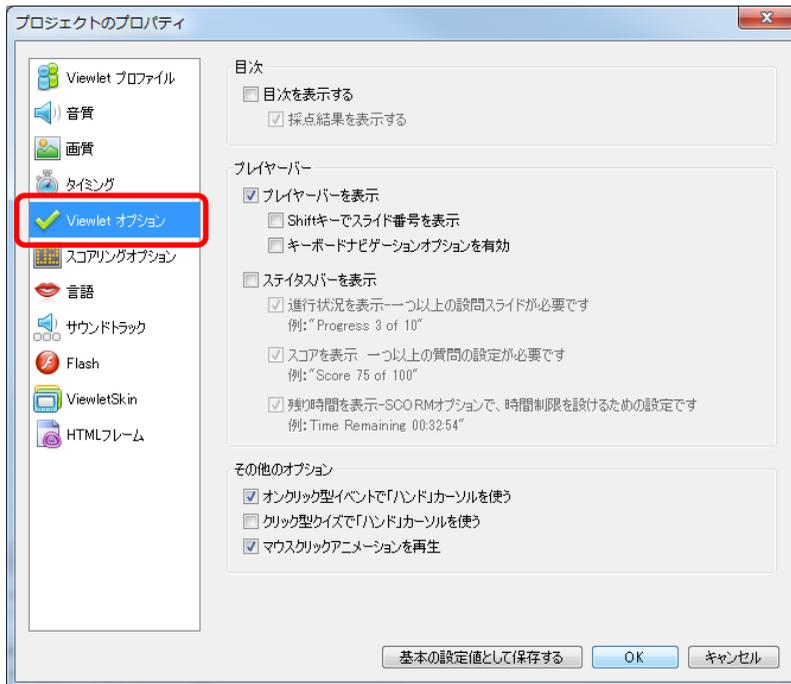


[タイミングリンク] 欄: [タイミングリンクを維持] チェックボックスをオンにすると、スライドが編集された場合でもタイミングリンクの定義を維持させることができます。

[Viewlet オプション]

Viewlet の作成に必要なオプションを設定します。

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから
[Viewlet オプション] を選択します。



[プレイヤーバー]欄

[プレイヤーバー 表示] : プレイヤーバーを表示し、キーボードでコントロールできるように設定できます。

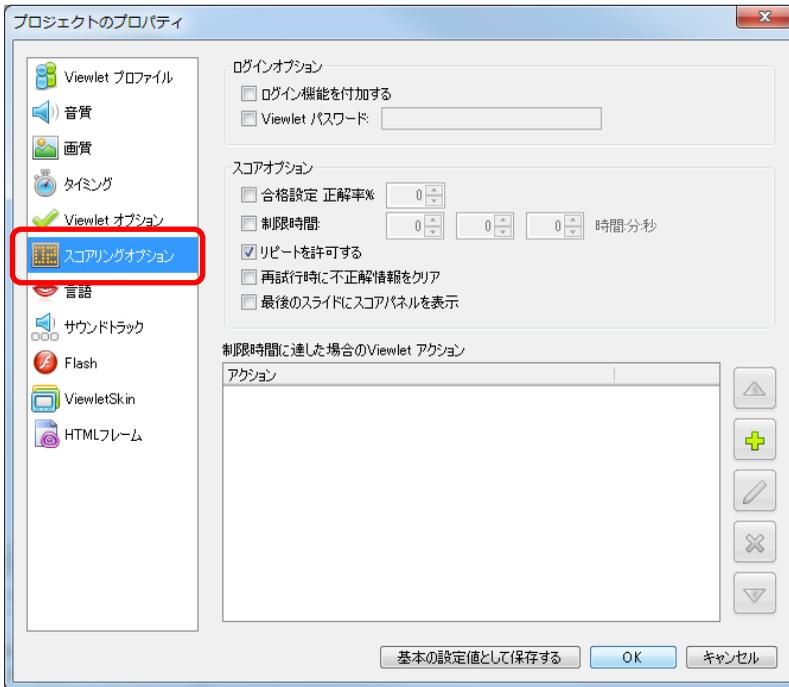
[その他のオプション]欄

[マウスクリックアニメーションを再生] : クリック時の赤いサークルアニメーションを表示します。チェックを外すと非表示になります。

[スコアリング オプション]

得点と合否の判定、パスワード ログインに必要なオプションを設定します。

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [スコアリングオプション] を選択します。



[ログインオプション]欄

[ログイン機能を付加する] : Viewlet を再生する前にログインプロンプトを表示します。

[Viewlet パスワード] : [ログイン機能を付加する] オプションがオンに設定されている場合、閲覧者はパスワードを入力してムービーを再生します。(下図は一例です)



ポイント ▶ Viewlet のログインプロンプトでは [ユーザー名] 入力フィールドも表示されますがこれは任意です。1 文字以上入力します。

[スコアオプション]欄

[回答：合格設定%]：何%問題を正解すると合格になるのかを設定します。

[リポートを許可する]：Viewlet の終わりにスコア表示したときに [リポート] ボタンを表示します。スコア表示しない場合も Viewlet の最初に戻るためのボタンを有効にします。
(下図はスコア表示の一例です)

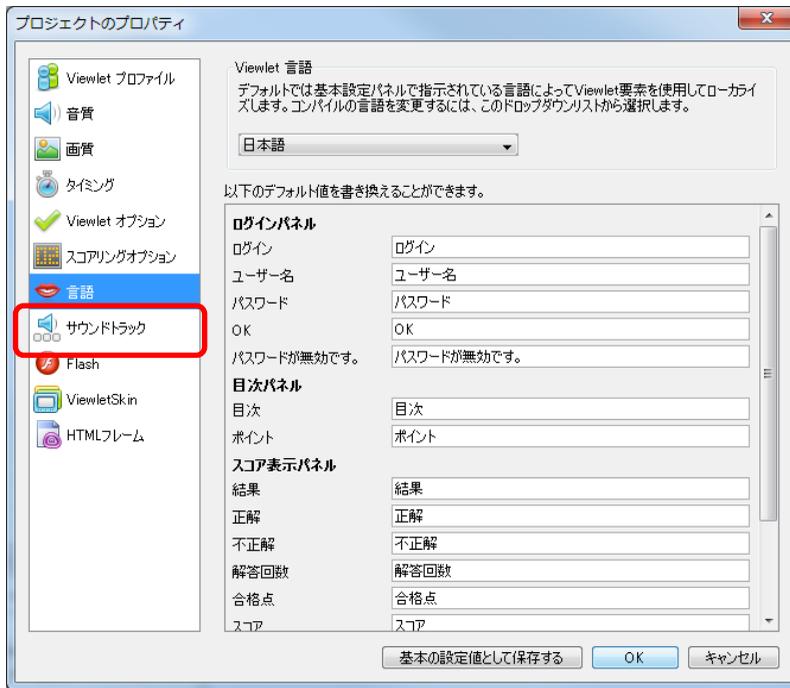


[制限時間に達した場合の Viewlet アクション]

解答の制限時間の設定がある場合、それを越えたときの Viewlet のアクションを指示することができます。

[言語]

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューの [言語] を選択します。



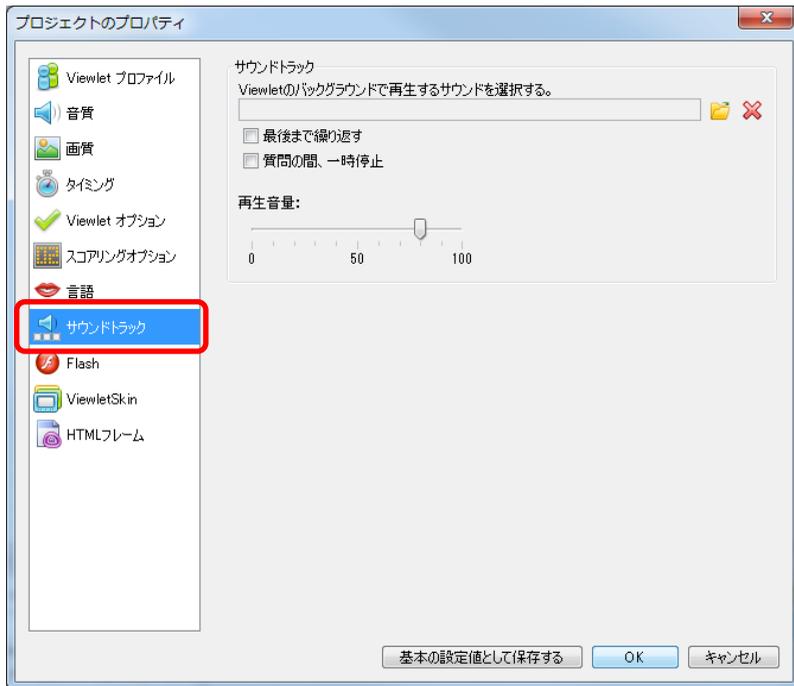
パブリッシュ時に付加される項目のテキストをここで編集することができます。編集可能な箇所は下図の通りです。

ログインパネル		スコア表示パネル	
ログイン	ログイン	結果	結果
ユーザー名	ユーザー名	正解	正解
パスワード	パスワード	不正解	不正解
OK	OK	解答回数	解答回数
パスワードが無効です。	パスワードが無効です。	合格点	合格点
目次パネル		スコア	スコア
目次	目次	合格	合格
ポイント	ポイント	不合格	不合格
		不合格	不合格
		閉じる	閉じる
		リポート	リポート

[サウンドトラック]

Viewlet の BGM 作成に関する設定です。

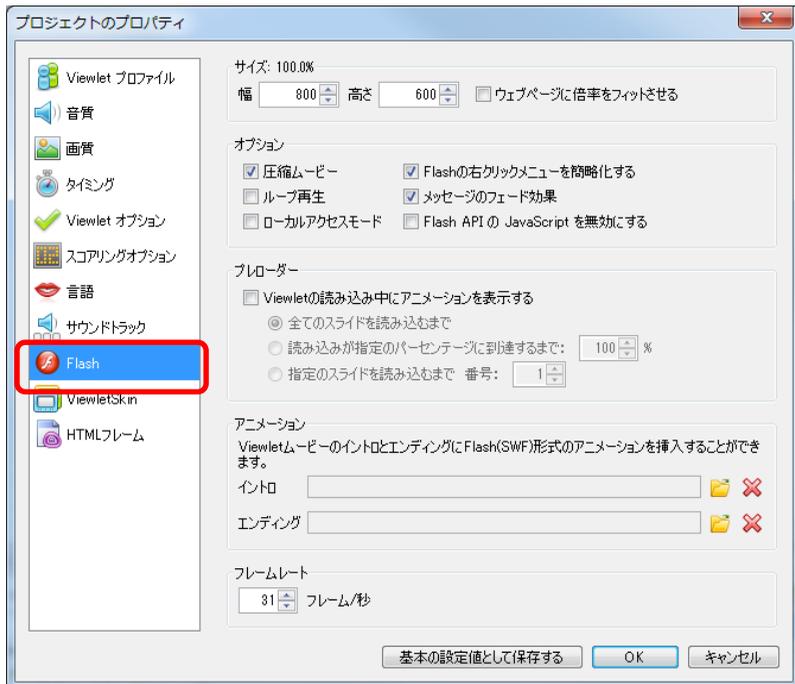
[[プロジェクトのプロパティ](#)] パネルのナビゲーションメニューから [サウンドトラック] を選択します。



[サウンドトラック] 欄：BGM ファイルを選択します。

[Flash]

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [Flash] を選択します。



【ウェブページに倍率をフィットさせる】：閲覧者の使用するブラウザの大きさに合わせて Viewlet の表示倍率が変わります。

【圧縮ムービー】：ファイルサイズをより小さくします。

【Flash の右クリックメニューを簡略化する】：右ボタンをクリックしたときに表示されるショートカットメニューの項目を減らします。

【ループ再生】：スライドが終了すると始めに戻り自動再生を繰り返します。

【メッセージのフェード効果】：メッセージオブジェクトの表示と非表示の際にフェード処理を施します。

【ローカルアクセスモード】：Viewlet からローカルのファイルにアクセスすることができます。

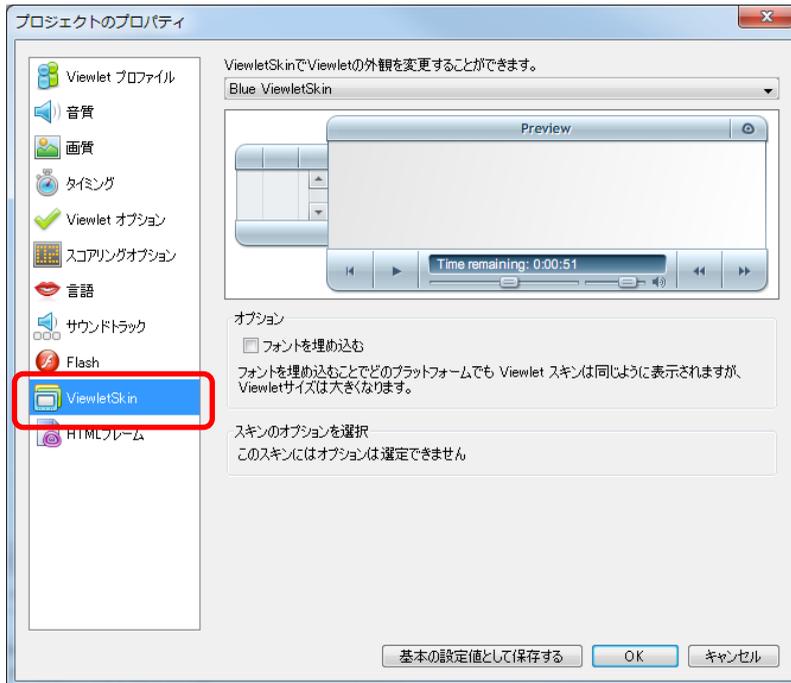
〔プレローダー〕 欄：プレローダーは、Viewlet をロードする間に処理の経過状況をプログレスバーで画面上に表示させるアニメーションです。

〔アニメーション〕 欄：Viewlet 本編の始めと終わりに別のアニメーションを付加する機能です。あらかじめ用意された SWF ファイルを選択します。

[ViewletSkin]

Viewlet を表示するデザインスキンを選択することができます。

[プロジェクトのプロパティ] パネルのナビゲーションメニューから [ViewletSkin] を選択します。



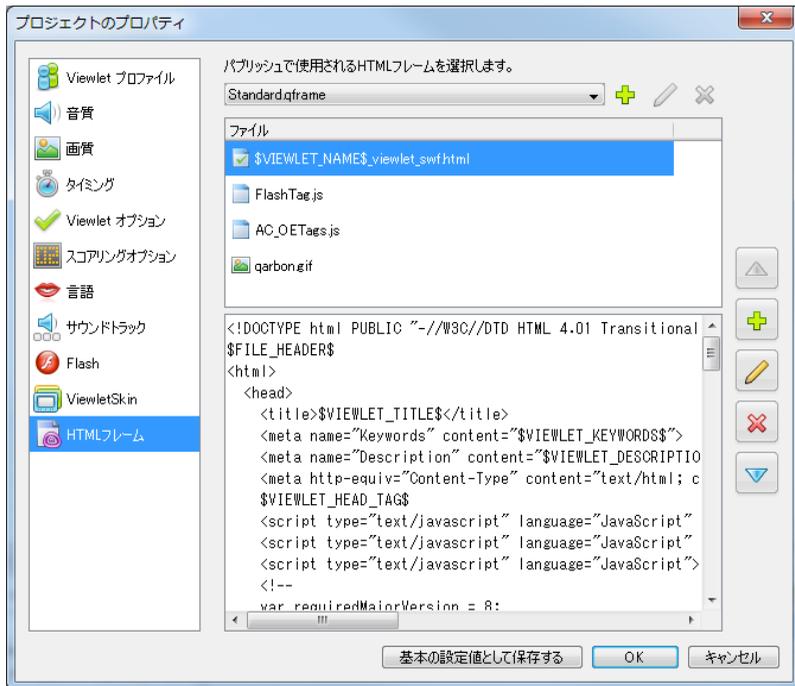
[スキンのオプションを選択]欄

スキンの種類によっては、パネルの色を変更できるタイプもあります。

[HTML フレーム]

Viewlet の HTML フレームを編集することができます。

[[プロジェクトのプロパティ](#)] パネルのナビゲーションメニューから [HTML フレーム] を選択します。



[パブリッシュで使用されるHTMLフレームを選択] : ドロップダウンリストからデフォルトのフレームを選択します。

ポイント ▶ 通常は[Standard. Qframe]を利用ください。

HTML フレームの追加

ドロップダウンリストの右にある緑色の+マーク [HTML フレームを追加] アイコンをクリックします。

名前の変更

ドロップダウンリストの右の鉛筆マーク [HTML フレーム名の変更] アイコンをクリックします。

HTML フレームの削除

ドロップダウンリストで選択して右端の赤色の×マーク [HTML フレームの削除] アイコンをクリックします。確認のパネルが表示されます。

ファイルの追加

縦に並んでいるアイコンから緑色の+マーク [追加] アイコンをクリックします。
表示されるメニューから追加するファイルを選択します。

コーディング

[ファイル] 欄でファイル名をダブルクリックします。
[リソースプロパティ] パネルで編集することができます。

リソースの削除

[ファイル] 欄でファイルを選択します。
縦に並んでいるアイコンから赤色の×マーク [削除] アイコンをクリックします。
削除されます。

注意 ▶ ファイルを削除する前に確認してください。削除すると元に戻せません。

プロジェクトのプロパティを保存する

[[プロジェクトのプロパティ](#)] パネルの全てのオプションを設定・確認して [OK] ボタンをクリックします。

また、初期設定として以降同じ内容を使用するには、[基本の設定値として保存する] ボタンをクリックします。

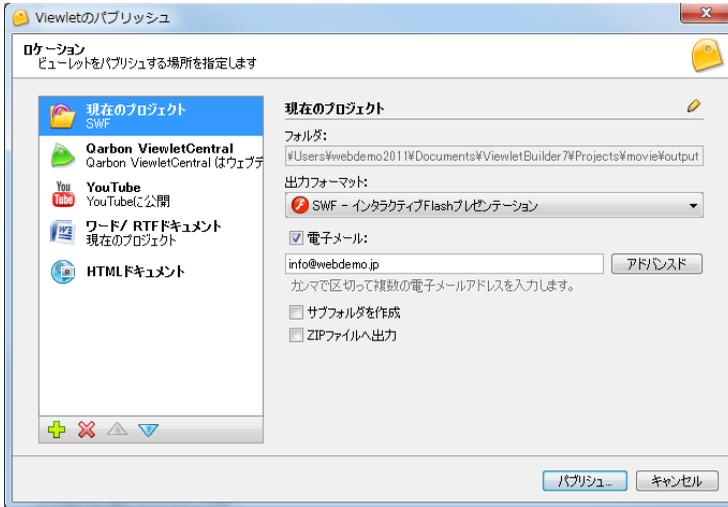
Viewlet のパブリッシュ

閲覧するためのムービーを作成することをパブリッシュと呼びます。

プロジェクトを開きます。

ボタンコマンドツールバーの  [Viewlet のパブリッシュ...] アイコンをクリックします。

[Viewlet のパブリッシュ] パネルが表示されます。



パブリッシュとは

プロジェクトデータを動画や画像、リッチテキストデータに出力することです。

ビューレットビルダー7では基本出力として flash 形式 (SWF) とともに

Flash ビデオ形式 (FLV) “YouTube “公開、ワード用リッチテキスト形式、

画像形式、PDF にも出力できます。。

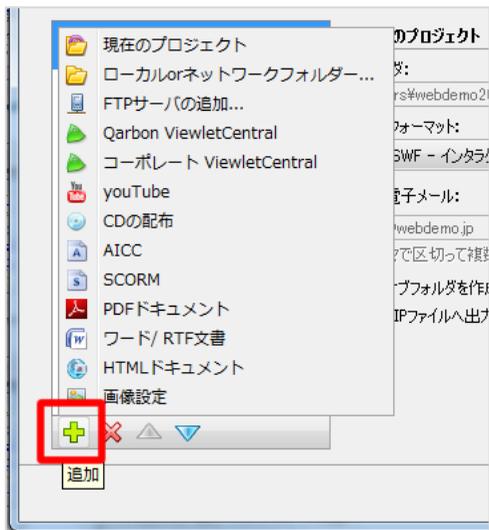
保存場所の追加・変更

[Viewlet のパブリッシュ] ダイアログの [追加] ボタンで中央のリストにロケーションを追加することができます。



追加ボタンをクリックし[ローカル or ネットワークフォルダー...]をクリックします。

フォルダを選択し、[フォルダの選択]をクリックします。

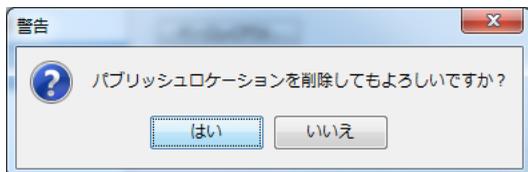


パブリッシュする形式もこのリストから選択します。

ロケーションの削除

リストからロケーションを選択して赤色の×マーク [削除] アイコンをクリックします。

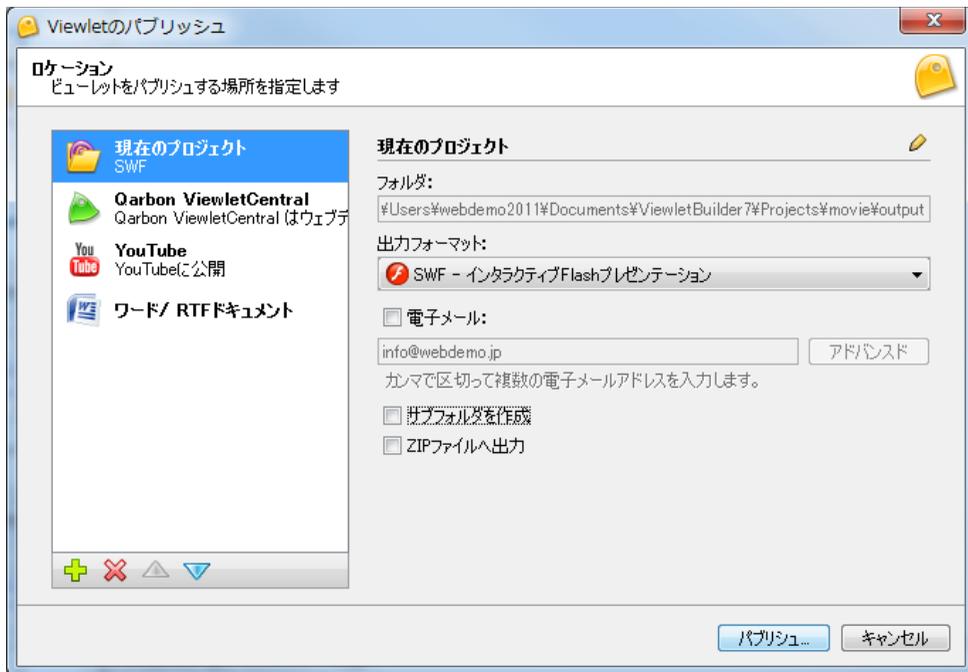
[警告] パネルが表示されます。確認して [はい] ボタンをクリックします。



Flash 形式にパブリッシュ

SWF 形式の Flash ムービーに出力します。ビューレットビルダー7 では基本的に swf 形式で出力します。

ボタンコマンドツールバーの  [Viewlet のパブリッシュ...] アイコンをクリックします。
[Viewlet のパブリッシュ] パネルが表示されます。



現在のプロジェクトを選択します。

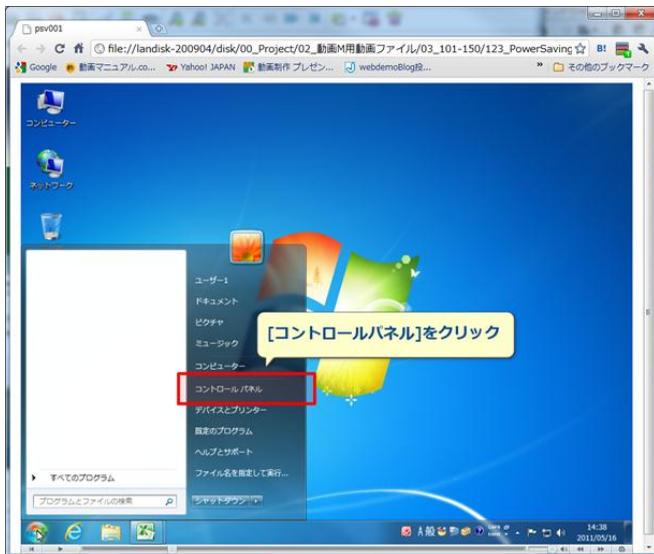
[出力フォーマット]で[SWF]を選択します。[パブリッシュ]をクリックします



[表示] をクリックすると、htm が開きムービーのプレビューが始まります。

[ブラウズ]をクリックすると、フォルダが開きます。

Flash はウェブブラウザ上で表示し、ボタンやクイズなどのインタラクティブコンテンツが動作します。



[ブラウザ]では以下のような複数のファイルが作成されます。起動する場合は Html ファイルをクリックします (html から swf ファイルを呼び込みます)。



注意 ▶ 作成されるファイルがプロジェクトの設定やコンテンツによって変化します。

パブリッシュで作成されたファイルは削除や移動せずにフォルダ単位で保存してください。

[電子メール]チェックボックスにチェックを入れ、メールアドレスを入力すると閲覧状況が入力されたメールに送信されます。

送信元メールアドレスは[scoring@qarbon.com]より送られます。コンテンツサーバーがインターネットに繋がっている必要があります。

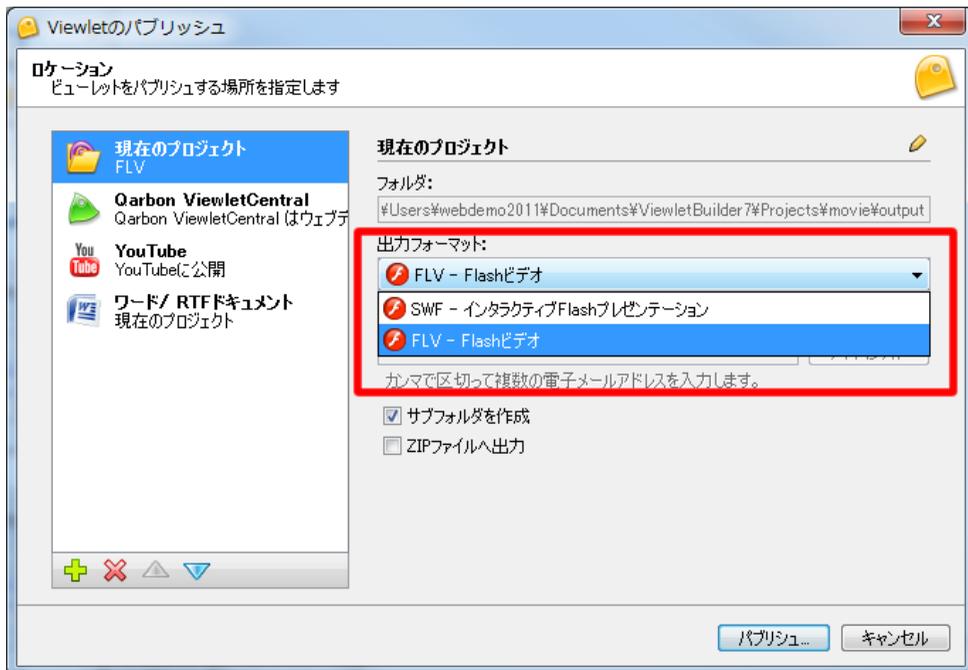
[サブフォルダを作成] ファイルをサブフォルダに作成します。

[ZIP ファイルへ出力] ファイルフォルダを zip 形式で圧縮します。

FLV 形式でパブリッシュ

FLV とは Flash video 形式の動画ファイルで、flashPlayer 上で再生されることを前提として開発された動画フォーマットです。Youtube やニコニコ動画などのポータルサイトでも採用されているフォーマットです。

現在のプロジェクト選択後、[出力フォーマット]をFLV—flash ビデオに設定します



。[パブリッシュ]をクリックします



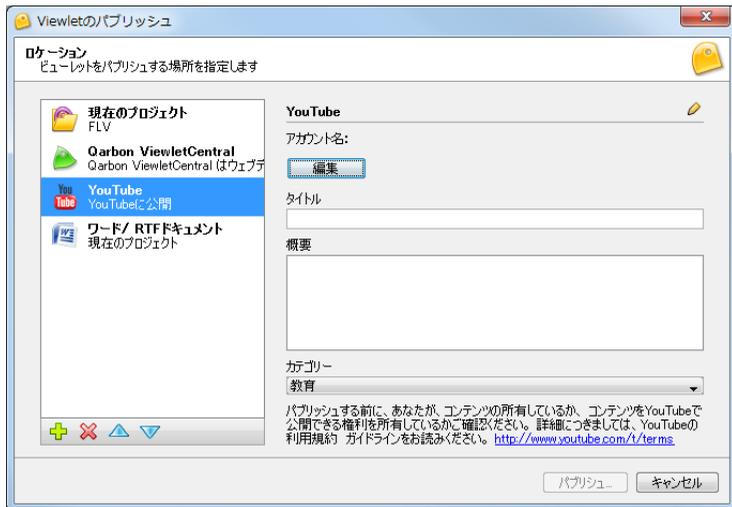
ファイル形式 Flv がパブリッシュされました。

注意 ▶ Flv を閲覧するには、AdobeMediaPlayer、GOMplayer などのソフトウェアが必要です。

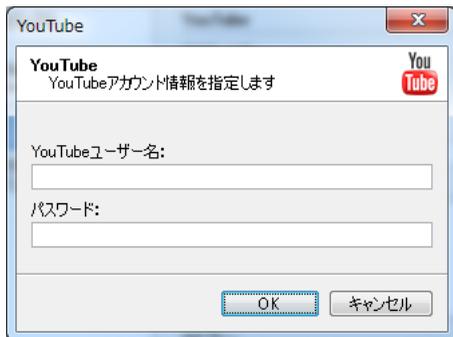
YouTube に公開

世界最大の動画サイト「YouTube」に動画を up する機能です。予め YouTube のアカウントを取得しておきましょう。

[YouTube]をクリックします



[アカウント名:] [編集]をクリックします。

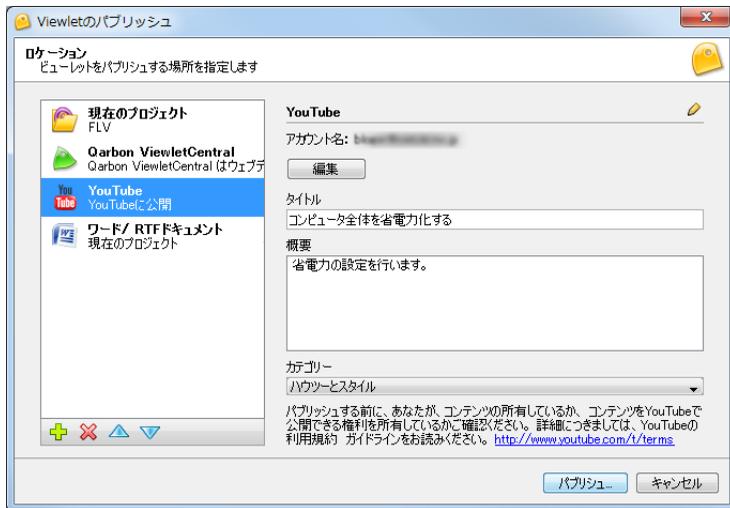


YouTube のアカウントを入力し [OK]をクリックします。

アカウントが登録できました。

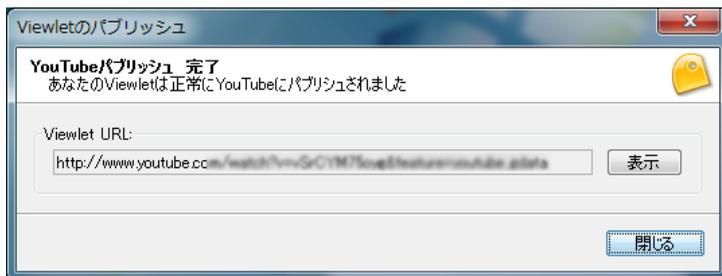
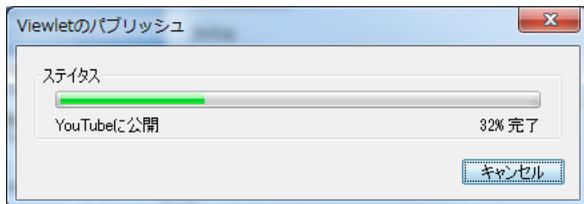
タイトル 概要を入力し、カテゴリーも選択します。

完了したら、[パブリッシュ]をクリックします



注意 ▶ タイトル等の修正は YouTube から行えます。

Youtube に公開します。



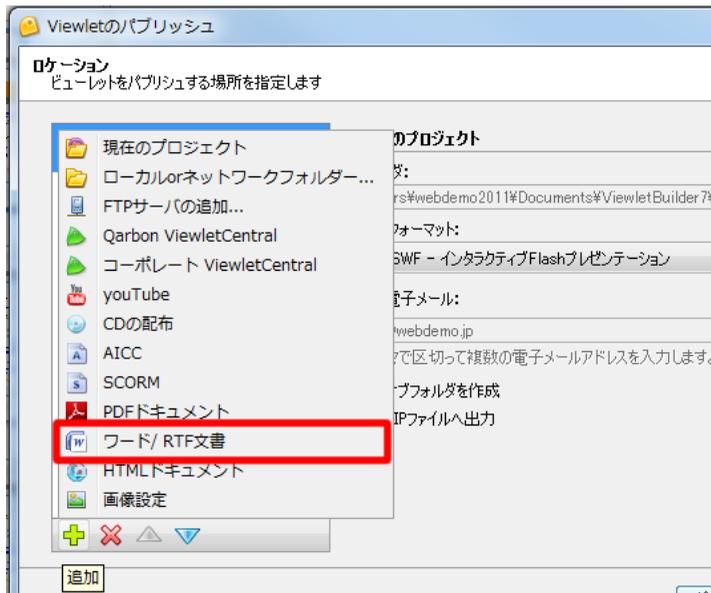
パブリッシュ完了したら、[表示]から確認できます。

注意 ▶ コンテンツの所有、公開の権利、著作権につきましては Youtube のガイドラインをお読みください。 <http://www.youtube.com/t/terms>

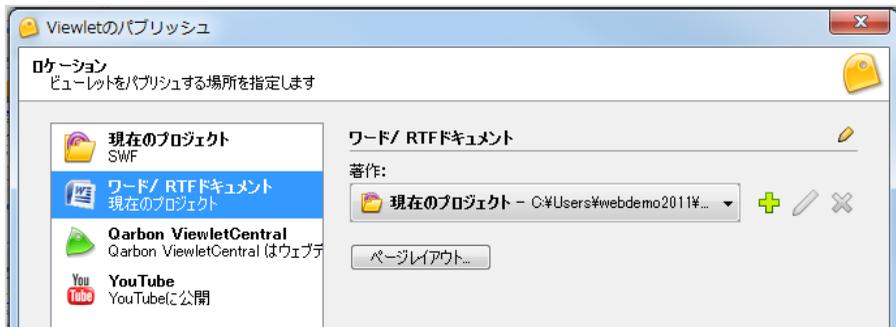
ワードに出力する

Micrisoft Word で編集できるように rtf (リッチテキストフォーマット (Rich Text Format) の文書ファイル) で出力します。

[ロケーションの追加]から[ワード/RTF 文書]を選択します。



ワード出力の設定を行います



出力先 : [現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[ページレイアウト] RTF 出力のレイアウトを変更できます。ボタンをクリックします。

印刷レイアウト



[レイアウトタイプ]：スライドビューレイアウトを選択します。

[ヘッダー]： タイトル欄にタイトルを入力します。

日付・時間を表示する スライドの境界線を表示 チェックボックスで設定します。

[レイアウト]： スライドの表示枚数を横 縦で設定します。印刷の向きも設定します。

[オプション]： スライドの吹き出し、カーソルなどの表示を出力するか設定できます。

[フッタ]： ページ番号有無を設定します。

[スライド]： スライドの出力範囲を設定します。

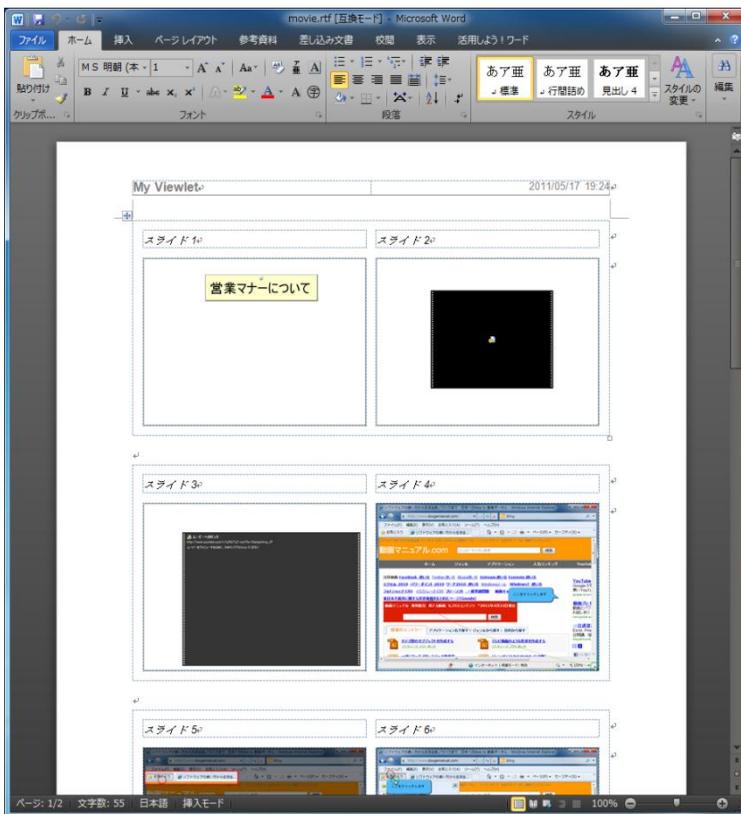
設定ができれば[OK]をクリックします。

[パブリッシュ]をクリックします。

ワード/RTF ドキュメントパブリッシュ終了

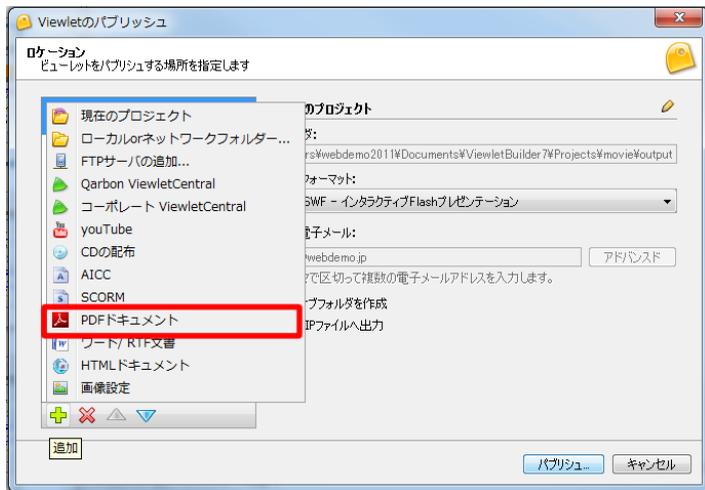


[表示]をクリックするとWordで開きます。(パソコンにインストールされている場合)

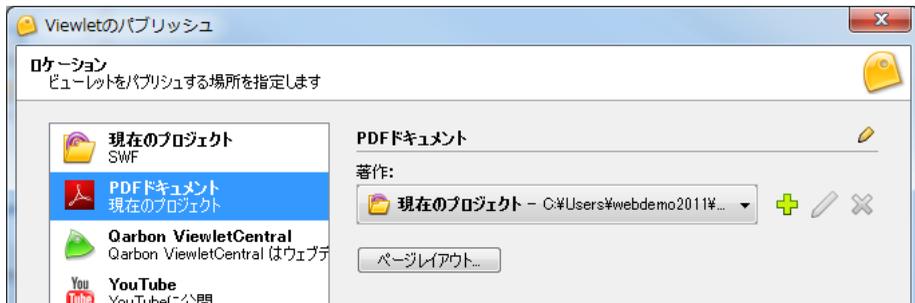


PDF に出力する

PDF で出力する方法です。[ロケーションの追加]から[PDF ドキュメント]を選択します。



PDF 出力の設定を行います



出力先：[現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[ページレイアウト] PDF 出力のレイアウトを変更できます。ボタンをクリックします。

ワードに出力する編の印刷レイアウト以降を御覧ください。

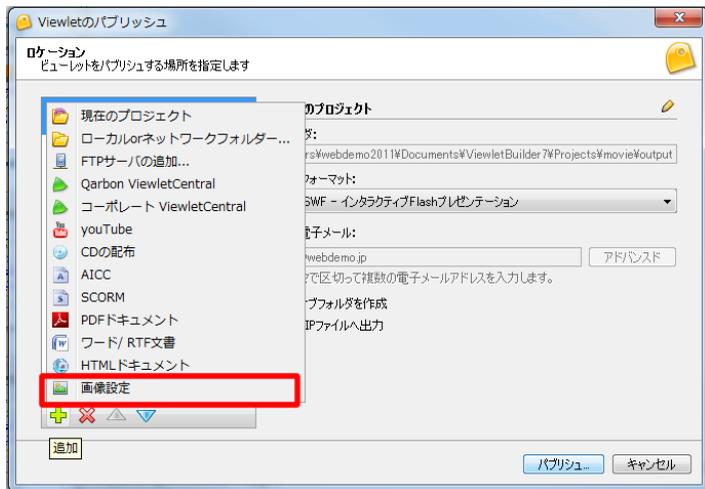
注意 ▶ PDF をご覧になるには adobe Reader が必要です。

設定ができれば[OK]をクリックします。

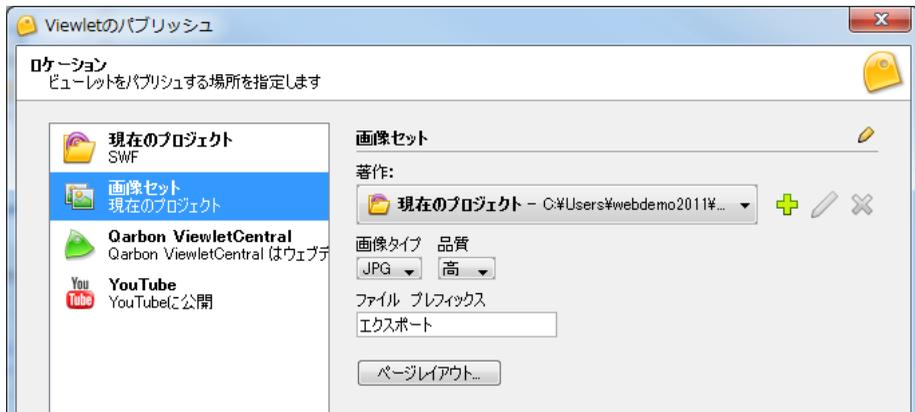
[パブリッシュ]をクリックします。

画像に出力する

スライドを画像で出力する方法です。[ロケーションの追加]から[画像設定]を選択します。



PDF 出力の設定を行います



出力先：[現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[画像タイプ]：ファイル拡張子（BMP、JPG、PNG、TIFF）から選択します。

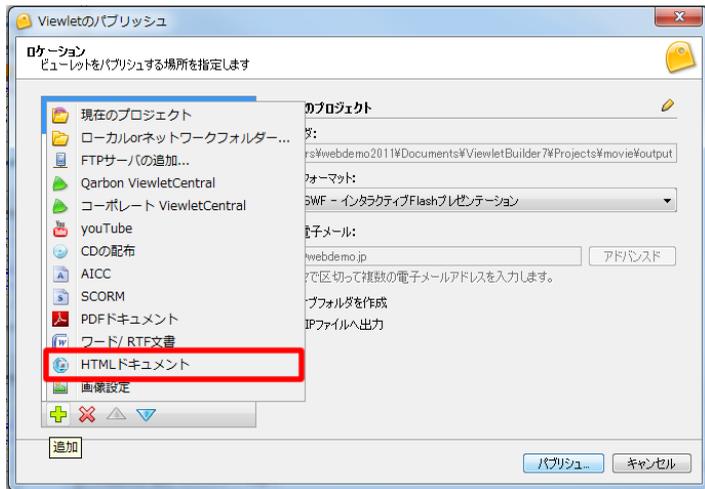
[ファイルプレフィックス]：ファイル名の最初に固定の名前を付けます。

[ページレイアウト] PDF 出力のレイアウトを変更できます。

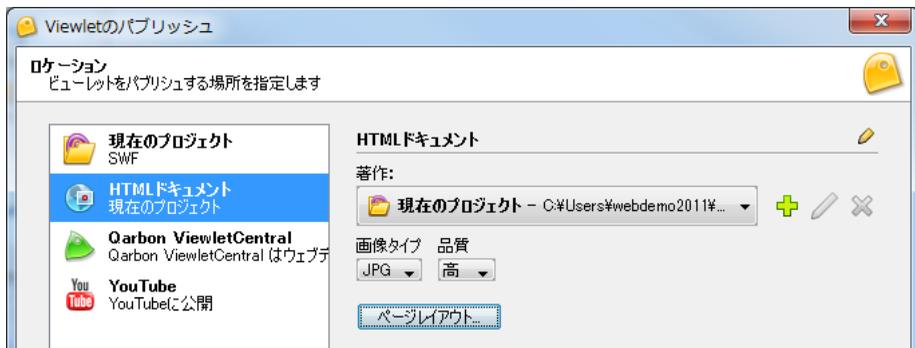
[パブリッシュ]をクリックし、画像を出力します。

HTML に出力する

スライドを画像で出力する方法です。[ロケーションの追加]から[HTML ドキュメント]を選択します。



HTML ドキュメントの設定を行います



出力先：[現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[画像タイプ]：ファイル拡張子（BMP、JPG、PNG、TIFF から選択します）。

[ページレイアウト] PDF 出力のレイアウトを変更できます。ボタンをクリックします。

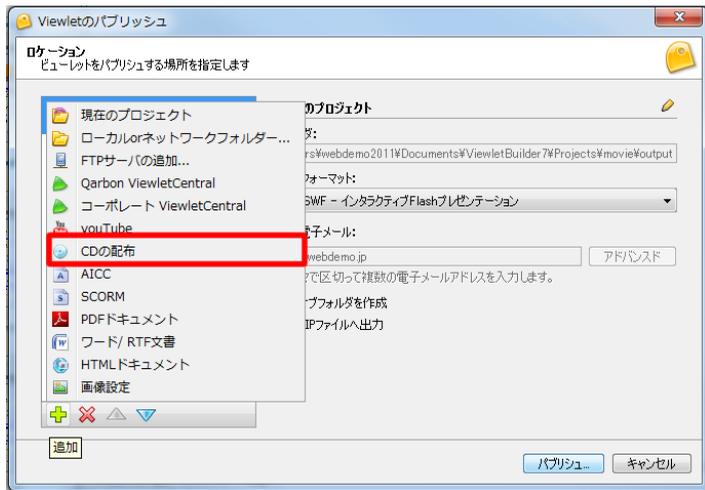
ワードに出力する編の印刷レイアウト以降を御覧ください。

[パブリッシュ]をクリックし、html を出力します。

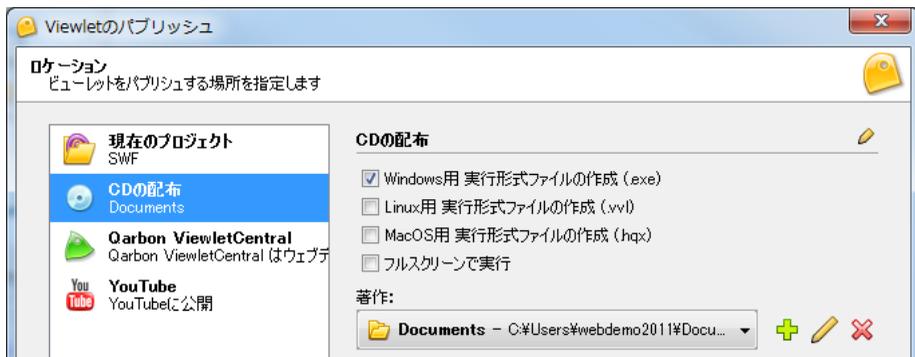
注意 ▶ HTML ドキュメントは html とスライド画像データで構成されます。

EXE 形式 hqx 形式で出力する

実行形式の Exe (Mac OS X では hqx) で出力する方法です。フルスクリーンでオートデモをプレゼンする場合にも使えます。[ロケーションの追加]から[CD の追加]を選択します



出力の設定を行います



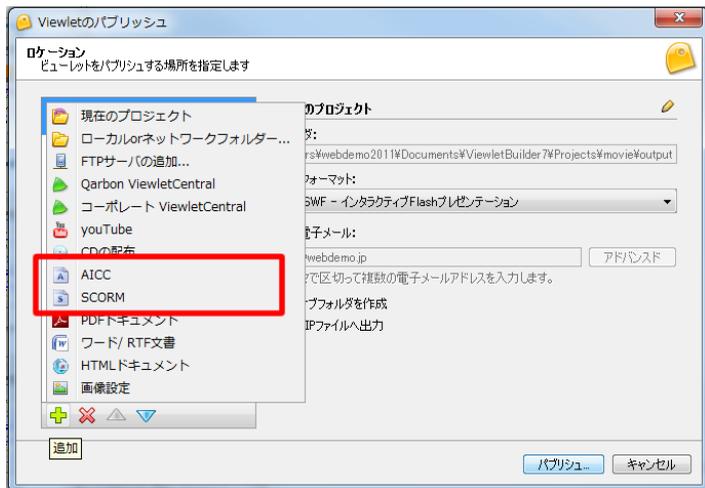
[CD の配布] : EXE、VVL、hqx から作成する形式を選択します。

[現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[パブリッシュ]をクリックし、出力します。

SCORM 形式 AICC 形式で出力する

SCORM 形式 AICC 形式で出力する方法です。[ロケーションの追加]から[SCORM]もしくは[AICC]を選択します



SCORM の設定を行います



[SCORM] : SCORM2004、SCORM1.2 から作成する形式を選択します。。

Zip 形式に圧縮します。

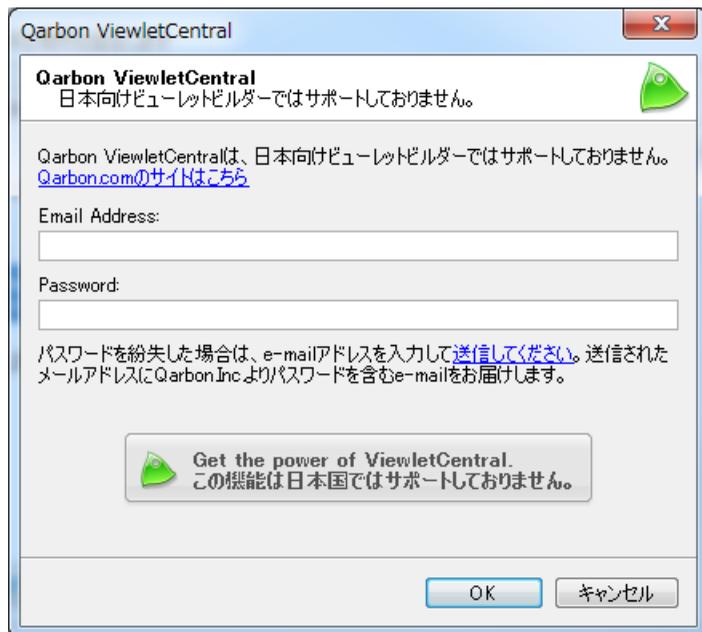
[アドバンスド] : 2004 1.2 それぞれのオプション設定を行います。

[現在のプロジェクト-]を変更します。[+]アイコンから出力先を追加できます。

[パブリッシュ]をクリックし、出力します。

Qarbon ViewletCentral とコーポレート ViewletCentral について

ViewletCentral は ViewletBuilder 開発元 USQarbon.com の提供する、有償 Flash サーバーサービスです。日本国内でのサポートはしておりません。

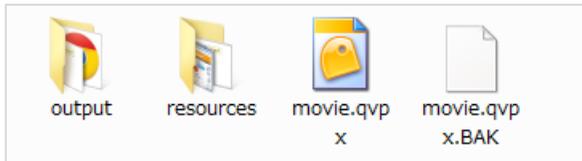


何卒 ご理解のほど よろしくお願い致します。

ビューレットビルダー7プロジェクトを構築するファイル

ビューレットビルダー7のプロジェクトを構築するファイルは[プロジェクト名]。フォルダにまとめられます。

初期設定では ViewletBuilder7/Projects/の下に（project 名）フォルダで格納されています。例：プロジェクト名：movie フォルダ：movie



.qvp(x)(ファイル)

スクリーンショット、出カイメージ、音声などのパスを含むソースファイルです。

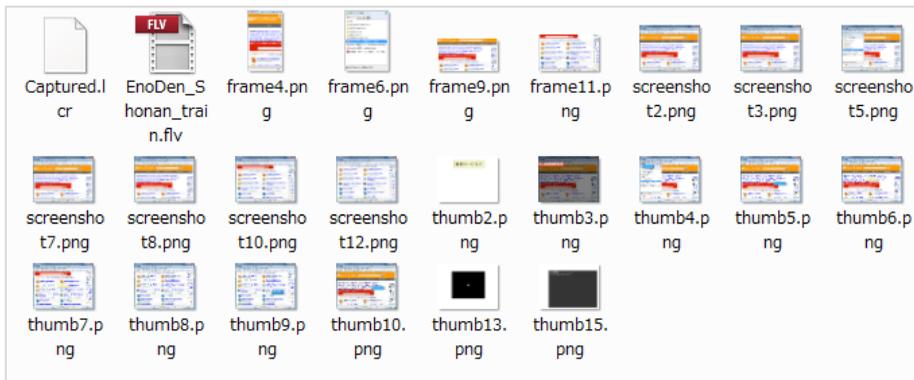
このファイルは、ビューレットビルダーの内部でプロジェクトとして開かれます。

.qvq.BAK(ファイル)

プロジェクトのバックアップ・ソースファイルです

Resource フォルダ

qvpx に関連付けられた画像、音声、カーソル情報 (.cr) が入っています。



output フォルダ

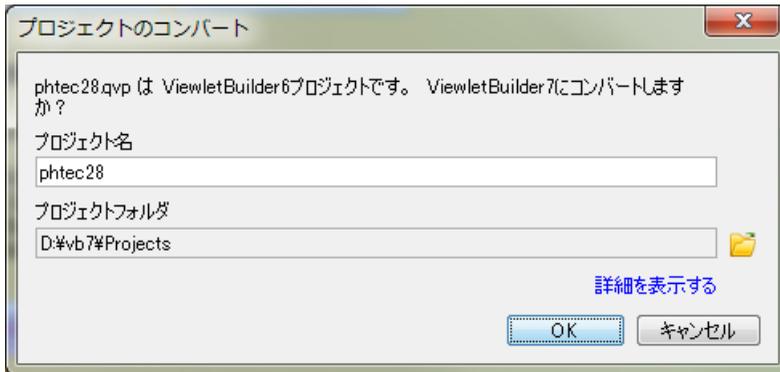
パブリッシュされたデータが格納されています。

注意 ▶ リソースデータを移動するときは、qvpx ファイルだけでなく、resources フォルダファイルも一緒に移動します。

旧ファイルのデータを読み込む

ビューレットビルダー6のデータを読み込む

ファイル読み込みから[qvp]データを読み込みます。

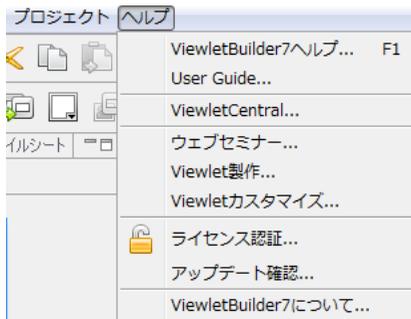


ファイルは ViewletBuilder7 プロジェクトにコンバートされます。

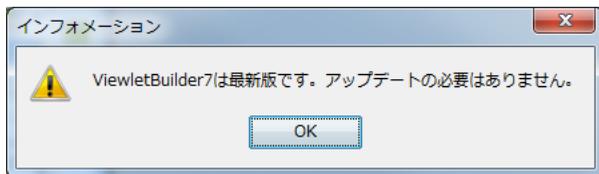
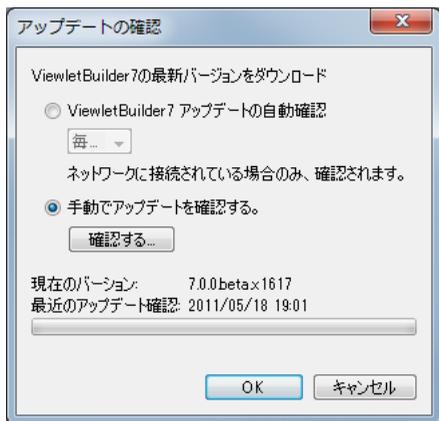
ソフトウェアアップデート

ビューレットビルダー7ではサポートの由夢にかかわらず、原稿のバージョンのアップデート版を配信しています。弊社ウェブサイト、メールマガジンにて告知いたします。

最新版の確認 ヘルプメニューから[アップデート確認]をクリックします。



[手動でアップデートする]にチェックを入れ [確認する]をクリックします



アップデートが必要な場合は弊社サイトより[日本語版アップデートソフト]をダウンロードしてください。

<http://www.webdemo.co.jp/softwaredownload.html>

ビューレットビルダー・サポートデスク

サポートサービス

ソフトウェア購入から 1 年 ビューレットビルダー7 の操作に関するご質問を承っております。2 年目以降は有償になります。

受付時間帯：

	月	火	水	木	金	土日	祝祭日	夏季休業 年末年始休業
午前	午前 10 時から 午前 12 時まで					サポート業務は 行なっていません。		
午後	午後 1 時から 午後 5 時まで							

E-mail：help@webdemo.jp

ライセンスコードを元にしたサポート ID をご記入の上 お問い合わせください。

ビューレット以外のソフトウェア、ハードウェアのご質問、無記名、承諾なきデータ添付などの問い合わせメールにはお答えできない場合があります。

保守料金、お申込み：株式会社 ウェブデモ サポートまでお問い合わせください。

最新情報

ビューレットビルダー7の最新情報はこちらで確認できます。

<http://www.webdemo.co.jp/vb7/>

動画マニュアル.com

仕事で使う定番パソコンソフト、フリーソフト、インターネット活用法、さらに日常生活での便利ノウハウまで、皆様のちょっとした疑問に、わかりやすい解説付きムービーでお答えする本格的、実用的な動画ポータルサイトです。

<http://www.dougamanual.com/>

こちらからビューレットビルダーの操作方法のムービーを見ることができます。

制作のヒントにどうぞご活用ください。

各種サービスのご案内

セミナー

株式会社ウェブデモは、無料セミナーを開催してお客様の Viewlet 活用をより有益に有意義にさせていただこうと考えております。

開催日程・会場などについては、随時弊社ウェブサイトで発表しています。

<http://www.webdemo.co.jp/>

予約の必要な場合があります。ご確認の上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また弊社発行のメールマガジンでもお知らせしています。

最新情報・得する情報満載のメールマガジン登録は上記サイト内で承っております。

トレーニング

ビューレットビルダー7の操作方法を株式会社ウェブデモのスタッフから学べるトレーニングはご要望に応じて有償にて承ります。

株式会社ウェブデモ

電話：（代表）0467-58-0365

ムービー制作サービス

インタラクティブな Flash 形式のコンテンツを短期間・低コストにて作成いたします。

e-ラーニング、社内マニュアル、動画プロモーションに最適です。

インターネットでの配信、CD-ROM での配布が可能です。

お客様のニーズに沿った制作を承ります。お気軽にご相談ください。

株式会社ウェブデモ

電話：（代表）0467-58-0365

ビューレットビルダー7ユーザーズガイド

西暦 2011 年 5 月 25 日初版発行

発行

株式会社ウェブデモ

代表取締役 川崎実知郎

〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町 4-27 井上ビル2F

<http://www.webdemo.co.jp/>

電話：（代表）0467-58-0365 ファクス：（代表）0467-58-0505